

ふちゅ〜る

No.32

令和4年度 静岡市文化財年報

2023

静岡市教育委員会

はじめに

文化財は、過去の長い歴史の中で生まれ伝わってきたものである。私たちは、それらの文化財を通して、先人達の知恵を知ることにより、現在を生き、さらに未来を切り拓いていく方法を模索し実践することができる。

こうしたことから、静岡市の文化財保護事業を紹介する本書のタイトルには、本市の古い地名である「府中（ふちゅう）」と、未来を表す「Future（仏語、フューチャー）」を重ね合わせ、「ふちゅ〜る」としている。

本書が、文化財保護と歴史理解につながり、よりよい静岡市の発展に少しでも貢献できれば幸いである。

※「府中」という地名は、かつて古代駿河國の国府がおかれていたことに由来した古代～近世の地名であり、静岡の歴史的背景を表すものである。

例 言

- 1 本書は、令和4年度に静岡市が実施した埋蔵文化財の発掘調査、文化財の指定や管理、文化財の調査・普及・啓発活動など、文化財保護事業の年報である。
- 2 本書の編集は、静岡市観光交流文化局文化財課が行った。
- 3 本書掲載の埋蔵文化財発掘調査の概要については、順不同に掲載した。
- 4 本書掲載の埋蔵文化財発掘調査の概要に記載した遺跡番号については、『静岡市遺跡地名表』静岡市教育委員会 2021を使用した。
- 5 図面に使用した高度は海拔高度で表し、方位は座標北とした。
- 6 本書の執筆については、文化財課（令和4年度）内の埋蔵文化財係・文化財保護係・三保松原文化創造センターが分担し、事業担当者の氏名を文末に明記した。
- 7 本書に掲載した発掘調査は、一部で調査資料の整理が継続中のものがあるため、今後の整理作業の進展によっては本書の記載内容に変更が生じる可能性がある。
- 8 本書に掲載した発掘調査資料は、静岡市観光交流文化局文化財課で全て保管している。

目 次

I 埋蔵文化財発掘調査

1 令和4年度埋蔵文化財発掘調査の概要	
(1) 宮川遺跡	3
(2) 曲金C遺跡	6
(3) 稲川遺跡	10
(4) 小鹿古墳群・堀ノ内A遺跡	15
(5) 駿府城内遺跡（鷹匠一丁目地点）	22
(6) 駿府城内遺跡（西草深町地点）	25
(7) 登呂遺跡	29
(8) 国指定史跡小島陣屋跡	33
2 出土遺物の寄贈	39

II 文化財の新指定・登録

1 新指定文化財「清水灯台」	40
2 新登録文化財「ユネスコ無形文化遺産風流踊 有東木の盆踊」	41

III 有形・無形文化財の調査と保護・助成

1 静岡市古文書調査事業	42
2 由比北田の天王船流し調査事業	43
3 令和4年度 助成事業一覧	44
4 令和4年度 助成事業紹介	45

IV 文化財の広報・普及・啓発事業

1 三保松原文化創造センター事業	46
2 静岡市文化財保存活用地域計画	50
3 「駿府九十六ヶ町」町名碑の設置事業	51
4 文化財サポーター事業	52
5 文化財特別公開事業	53
6 家康手植蜜柑活用事業	55
7 大神楽祭2023	56
8 静岡市文化財展	58
9 埋蔵文化財センター事業	59
10 国指定史跡賤機山古墳の公開・活用	61
11 遺跡公開・現場説明	62
12 国指定史跡小島陣屋跡整備事業	63

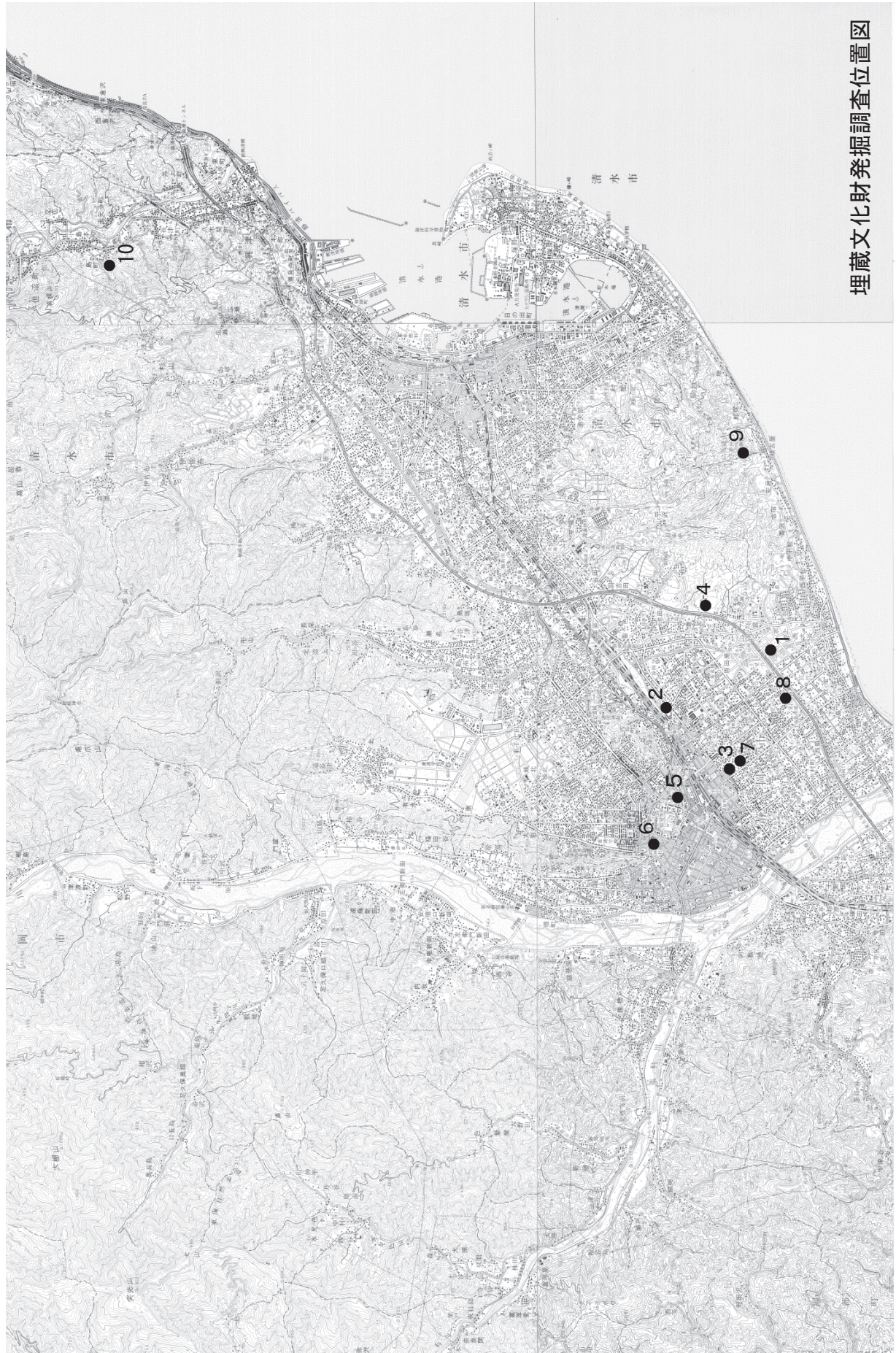
V 受贈図書一覧	65
----------	----

I 埋蔵文化財発掘調査

1 令和4年度埋蔵文化財発掘調査の概要

No.	遺跡名	調査地点	調査原因	事業主体	実施期間	調査区分	調査面積	時代・時期	主な遺構(上段)・遺物(下段)
1	宮川遺跡	駿河区大谷、宮川地内	道路整備	静岡市	R04.04.25～ R04.08.31	本調査	570㎡	弥生末期～ 古墳前期、 奈良・平安	竪穴住居、土坑、溝状遺構、井戸跡、杭列 弥生土器、土師器、須恵器、土製品、木製品、石器、石製品
2	曲金C遺跡	駿河区曲金二丁目	施設建設	静岡市	R04.05.09～ (R04.12)	本調査	1200㎡	弥生時代後 期～古墳時 代後期	建物跡、溝、古墳、祭祀跡、水田跡 弥生土器、石器、土師器、須恵器、玉、滑石製模造品、木製品
3	稲川遺跡	駿河区中田一丁目	集合住宅建設	民間	R04.05.16～ R04.05.25	本調査	84㎡	奈良	柱穴、ピット(小穴) 土師器、須恵器
4	小鹿古墳群・ 堀之内A遺跡	駿河区小鹿字中段	宅地造成	民間	R04.06.16～ R04.06.24	本調査	47㎡	縄文中期	土坑、ピット(小穴) 縄文土器、石器
5	駿府城内遺跡	葵区鷹匠一丁目	福祉施設建設	民間	R04.07.13～ R04.08.12	本調査	42㎡	古墳・古代・ 中世	小穴、柱穴 土師器、須恵器、灰釉陶器、陶器
6	駿府城内遺跡	葵区西草深町	集合住宅建設	民間	R04.09.20～ R04.10.31	本調査	96㎡	近世、中世	石列遺構、土坑、小穴 陶磁器、銭貨
7	ケイセイ遺跡	駿河区中田二丁目	個人住宅建設	民間	R04.10.04～ R04.10.24	本調査	25㎡	古墳後期 ～中世	土坑、ピット 土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗
8	登呂遺跡	駿河区登呂四丁目	事務所建設	民間	R05.02.01～ R05.02.20	本調査	16㎡	弥生後期	水田跡 なし
9	史跡久能山	駿河区根古屋	内容確認	静岡市	R05.03.15～ R05.03.27	確認調査	5㎡	近世・近代	土間、礎石、石組み水路 瓦
10	小島陣屋跡	清水区小島本町	史跡保護	静岡市	R04.09.09～ R05.03.31	確認調査	30㎡	近世	水路 小皿、瓦片

令和4年度に実施した埋蔵文化財の試掘・確認調査の全容については、『静岡市内遺跡群発掘調査報告書(令和4年度)』2023年3月24日静岡市教育委員会刊行で報告済みである。
本書では、上記調査のうち、主要遺構の確認された1～6、8、10について概要を報告する。



埋藏文化財発掘調査位置図

みやがわ いせき
(1) 宮川遺跡 (第6次)

遺跡番号 B124
所在地 静岡市駿河区大谷・宮川地内
調査原因 道路改良工事
調査期間 令和4年4月25日から
令和4年8月31日まで
調査面積 570㎡
担当者 文化財課 主 査 天石夏実
主任主事 毛利舞香



調査位置図 国土地理院 1:25000「静岡東部」

遺跡の概要 宮川遺跡は、静岡市駿河区大谷・宮川の、有度丘陵の先端部に位置する、縄文時代から近世にかけての複合遺跡である。

これまでに5回の発掘調査を行っており、大型の方墳であるアサオサン古墳を含む宮川古墳群や、隣接する片山廃寺跡へ瓦を供給したと考えられる宮川瓦窯跡小段地点が確認されている。

調査の概要 調査の結果、弥生時代末期から古墳時代前期初頭、奈良・平安時代の2時期の遺構・遺物を確認した。掘り込みを伴う遺構の検出は少なく、自然の落ち込みとその縁に沿うような形で、遺物集中が見られた。

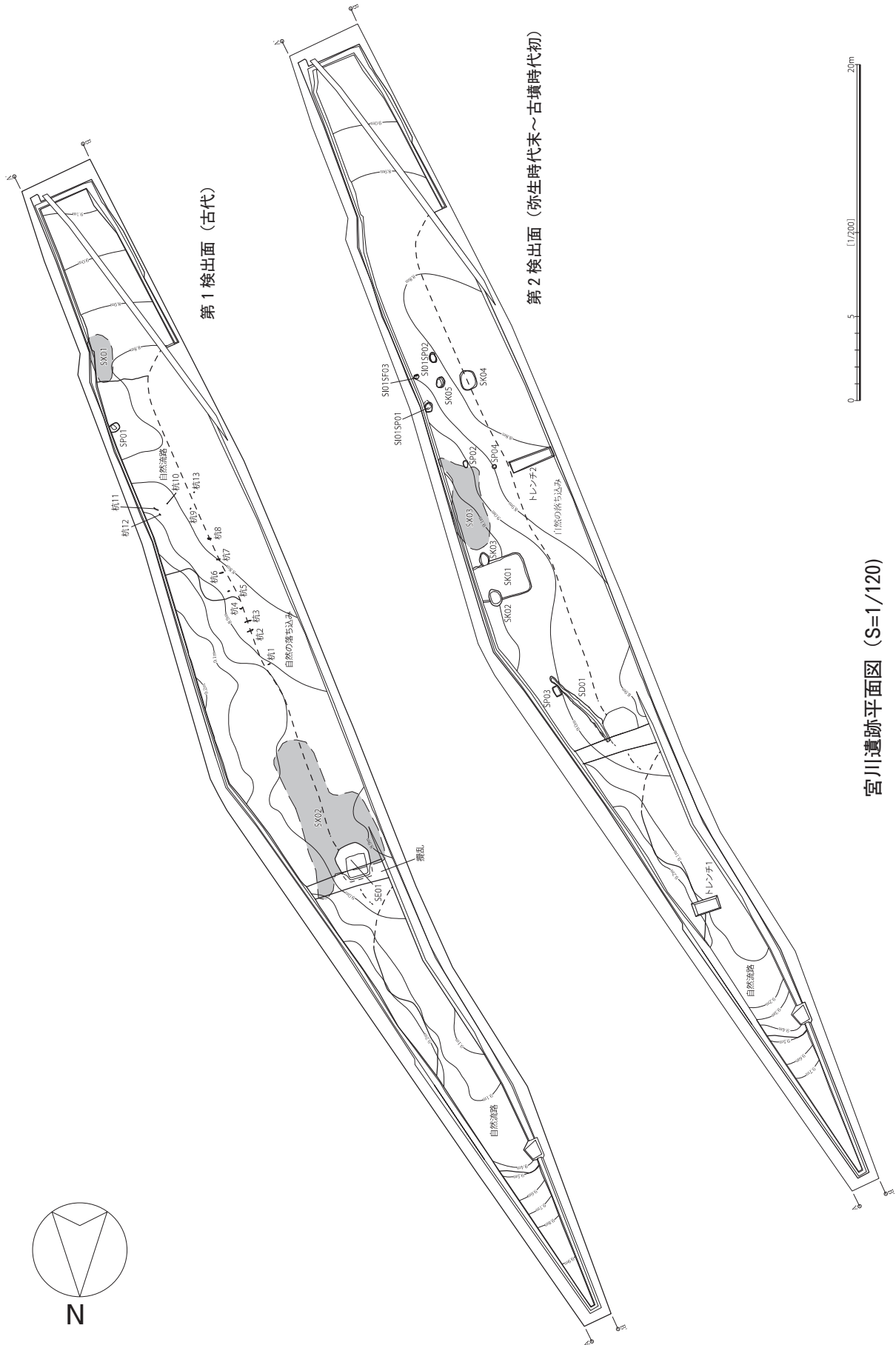
奈良・平安時代の遺構は、調査区北側で建築部材と考えられる木製品と土師器坏38点を検出した(SX01)。掘り込みは伴わず、自然流路に沿って廃棄されたものと考えられる。一緒に出土した灰釉陶器の年代から、9世紀初頭の遺構と考えられる。また、調査区中央部の自然の落ち込み沿いに、木製品や桃の種を伴って、土師器・須恵器が集中する遺構(SX02)を確認した。土器に摩滅は見られず、一定期間にまとまって廃棄されたものと考えられる。土器の型式から、8世紀から9世紀初頭にかけての遺構と考えられる。土器集中に隣接して、方形の井戸枠(SE01)も確認されている。建築部材を転用して造られており、出土遺物から井戸の使用期間は8世紀末から12世紀初頭にかけてと推定される。

弥生時代末期から古墳時代前期初頭にかけての遺構は、自然流路の河床で、焼土を伴う地床炉と礎板を伴う柱穴が確認されており、竪穴住居と考えられる(SI01)。ただし、自然流路によって大きく削平されている。また、土坑や溝状遺構が検出されているが、時期を特定できる遺物が出土したものはなかった。そのほか、調査区中央の東側で土器集中が確認されており、登呂式土器や大廓式の大壺が検出された。

まとめ 今回の発掘調査では、初めて宮川遺跡の低湿地部の調査を行った。これまでの宮川遺跡での調査はすべて丘陵上であったため、低地部の様子が明らかとなったことは大きな成果であった。

また、注目すべき点としては、SX02の土器集中の中から、墨書土器や宮川瓦窯産の小型鉢・鉄鉢形須恵器が検出されていることが挙げられる。宮川瓦窯は片山廃寺へ瓦を供給した窯であり、転用材も含め、大型の建築部材が多数検出されていることから、今回の調査地点は、北側に近接する片山廃寺跡と関連する集落であった可能性が高い。駿河国分寺である片山廃寺と周辺集落の関係を考えるうえで、古代の集落域が確認されたことは、重要なことといえる。

(毛利 舞香)





1. 調査区全景写真



2. 調査区全景（北から）



3. SX01検出状況



4. SX02検出状況



5. SE01検出状況



6. SX02木製品出土状況



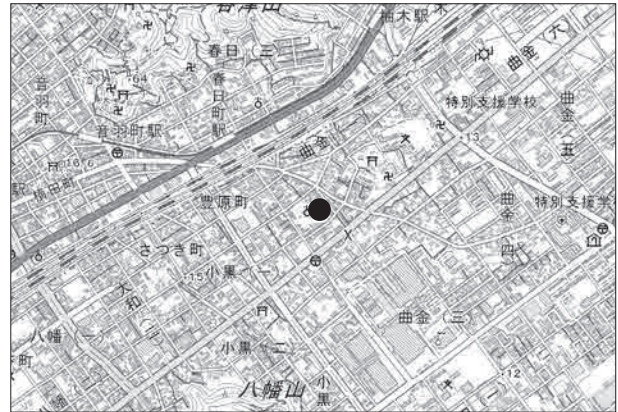
7. 出土遺物集合写真（古代）



8. 出土遺物集合写真(弥生時代末～古墳時代初頭)

(2) 曲金C遺跡

遺跡番号	B142
調査位置	静岡市駿河区曲金二丁目
事業名	市環境保健研究所建設
調査期間	令和4年5月9日から 令和5年3月24日まで
調査面積	約1,200㎡
担当者	文化財課 主査 天石夏実



調査位置図 国土地理院 1:25000 「静岡東部」

遺跡の概要 曲金C遺跡は、静岡平野のほぼ中央、JR静岡駅の西北西約1.5kmに位置する、弥生時代後期から古墳時代にかけての複合遺跡である。今回の発掘調査地点で市施設の建設に伴い試掘調査を行ったところ新たに発見された遺構であり、工事前に発掘調査を行い記録保存することとなった。

調査の成果 発掘調査では、大きく4面（時期）の生活面が確認された。

第1検出面（現地表下約1.5m；標高約12.5m）では、調査区の北側で古墳時代後期（6世紀前半頃）の水田跡が見つかった。水田は幅30～80cmほどの畦で区画されたもので、調査区内で70以上の区画を検出した。区画は長方形のものと同正方形に近いものがあり、一辺の長さが1.2m～4.2mで、1区画の面積は最大で約10.9㎡、最小で3.1㎡である。調査区の南側は下層（第3面）に古墳墳丘（盛土）がある影響で地形が高く、水田が造られなかったと考えられる。

第2検出面（現地表下約1.8m；標高約12.2m）では、古墳時代中期（5世紀後半）の遺物集積や井戸が見つかった。第2検出面は、調査区北端部、中央部、南東部が高く、それらの間が低い地形で、遺物集積は調査区の南西隅（遺物集積1）と中央（遺物集積2）の2箇所で見つかった。遺物集積2は、北に向かって緩やかに下がる斜面の6m×3mほどの範囲に、1,200点余りの完形土器や小玉、滑石製模造品（鏡や剣などを模して作られた滑石製の祭祀具）、鉄製品などが集積しているもので、遺物集積1でも約800点の土器や小玉などが集積していた。いずれも無造作に廃棄されたものではなく、整理して置かれたような出土状況であり、何らかの祭祀が行われた跡と考えられる。出土した小玉は、周辺に散乱していたものも含めて5000点以上に上る。土器集積の他、井戸跡1基などが見つかった。

第3検出面（現地表下約1.9m；標高約12.1m）では、古墳時代前期（4世紀後半）の古墳1基と溝状遺構、井戸跡が見つかった。古墳以外の遺構は、古墳時代中期（5世紀代）に降る可能性がある。古墳は調査区南東部で見つかった。調査区外へ続くため正確な大きさはわからないが、一辺約10mの方墳と考えられる。方形の盛土の周りに溝が掘られていた。墳頂部には埋葬主体部が造られていた。棺を納める墓壇は長さ（南北方向）約2m、幅約0.6mである。棺は残存していなかったが、わずかに木棺の痕跡が確認された。棺内には北に頭を向けた2体の人骨（歯）が検出された。副葬品はなかった。

第3検出面の地形も第2検出面と同様な起伏のある地形で、これらは古墳時代前期または中期に、盛土による造成工事によって形成された可能性があり、盛土と考えられる土層は厚い箇所60～70cmあり、土の中からは、弥生時代後期から古墳時代前期の土器片が多数出土している。

第4検出面（現地表下約2.6m）では、弥生時代後期の集落跡（居住域及び水田域の一部）が見つかった。居住域部分では溝や建物跡（柱穴）などが、水田域（調査区南西端）では水路や杭列で補強された畔などが土器類などの遺物とともに見つかった。

まとめ 今回の調査で最も注目されるものは、古墳時代中期の祭祀跡（遺物集積）である。同様の遺構は静岡県内外でも検出例は多くない。また、これまで静岡平野では古墳の検出例はほぼ丘陵上に限られていたが、今回発見された方墳は数少ない低地での発見例となった。さらに、平野南部の登呂遺跡などから1 km以上離れた地点での集落跡の検出は、静岡平野における弥生時代の集落の展開を考える上で貴重な調査例となった。現在、発掘調査報告書作成に向けて資料整理作業を進めており、今後さらに調査資料の検討を加えていくところである。

(天石 夏実)



1. 古墳時代後期全景；水田跡（西から）



2. 古墳時代中期全景（上空から）



3. 祭祀跡 SI01 (古墳時代中期)



4. 祭祀跡 SI02 (古墳時代中期)



5. 古墳 (古墳時代前期)



6. 古墳の埋葬主体部（墓壙）



7. 被葬者の歯



8. 弥生時代後期遺構検出状況



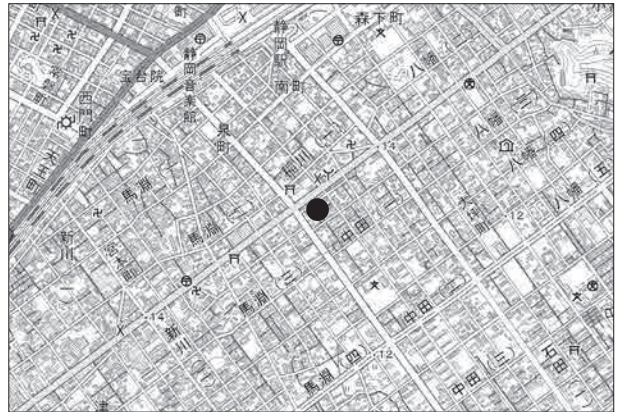
9. 水路、杭列（水田畦畔）(弥生時代後期)



10. 土層堆積状況（調査区西壁）

(3) ^{いながわ いせき}稲川遺跡

遺跡番号 B71
所在地 静岡市駿河区中田一丁目
調査原因 集合住宅建設
調査期間 令和4年5月16日から
令和4年5月25日まで
調査面積 約84m²
担当者 文化財課 主査 天石夏実
副査 渡井英誉



調査位置図 国土地理院 1：25000「静岡東部」

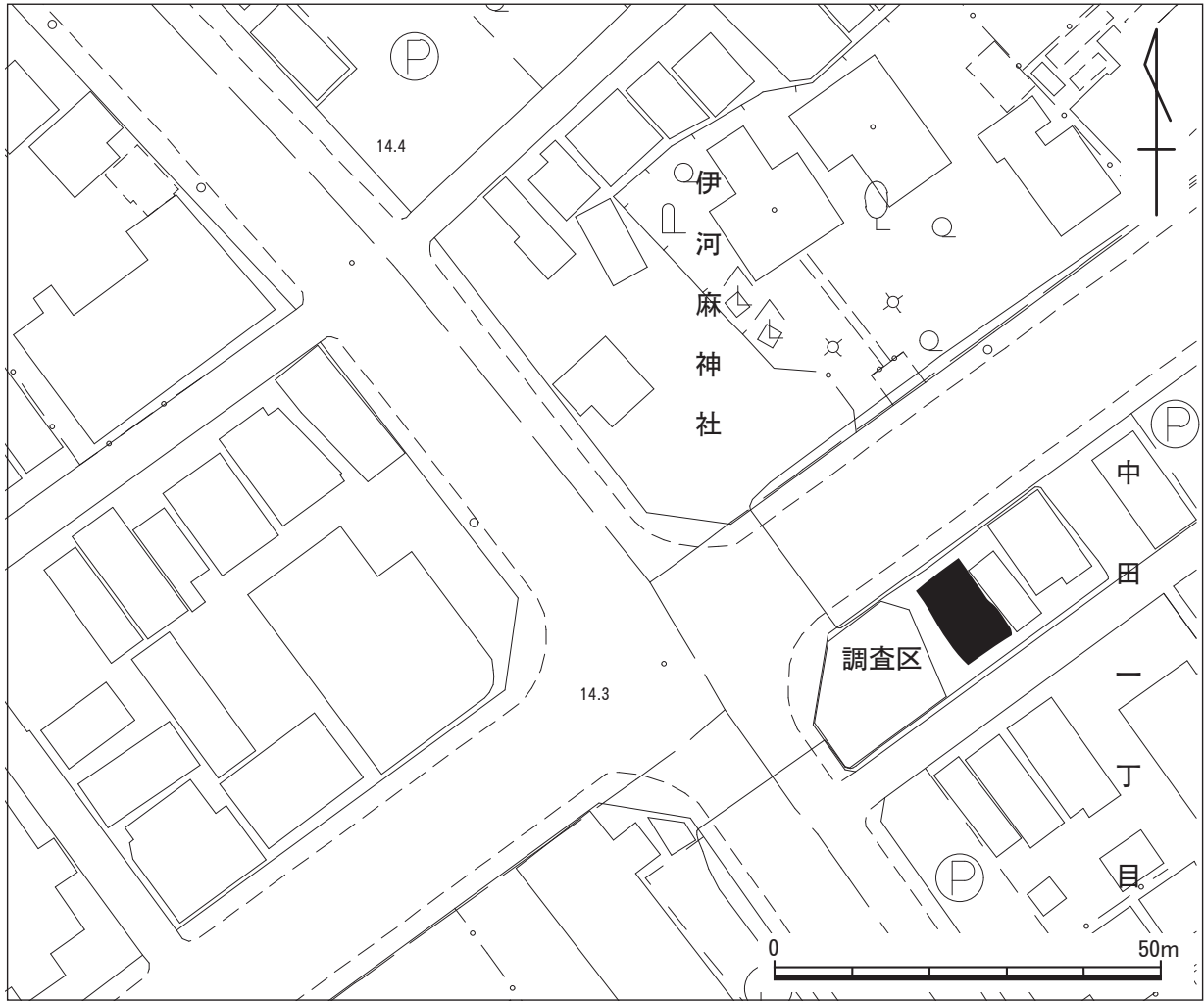
遺跡の概要 稲川遺跡は、静岡平野の中央、JR静岡駅の南南東約500mに位置する古代の遺跡である。過去に小規模な調査が行われ、遺構・遺物が発見されているが、遺跡の詳細はよくわかっていない。今回集合住宅建設に伴って発掘調査を実施することとなった。

調査の成果 現地地表下1m前後までの造成土（I層）、近現代の水田土（II層）、時期不明の自然堆積土（III層）を除去すると、奈良、平安時代の生活層と考えられる暗褐色土層（IV層）が堆積しており、同時期の土器が多く出土した。IV層を除去したV層上面で遺構の検出を行った。

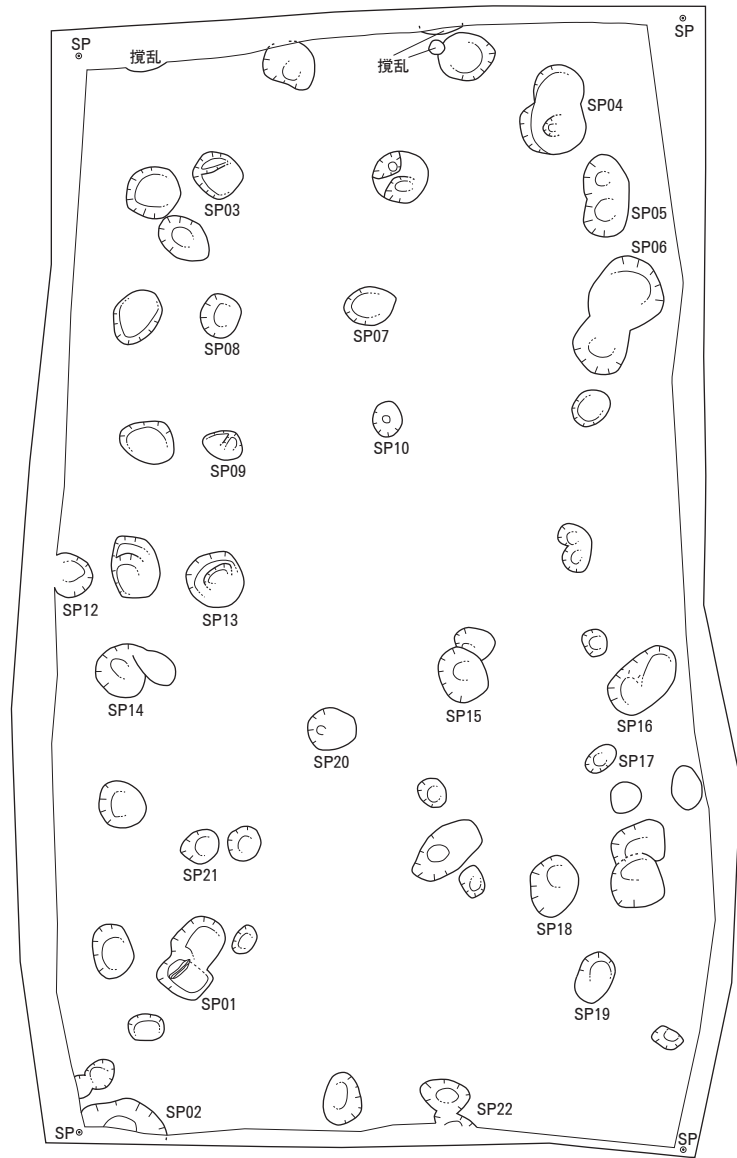
遺構検出作業の結果、約50基の小穴・土坑を確認した。小穴の平面形は円形、楕円形、隅丸方形で、大きさは直径約30cm～約80cmである。検出面からの深さは5～15cm程度のもが多い。建物の柱穴の可能性もあるが、建物を想定できるような小穴の組み合わせは確認できなかった。SP01は、断面が幅30cm、厚さ8cmほどの角材を据えたもので、角材は柱根である可能性があるが、SP01と組み合わせるような柱穴は確認できなかった。また調査区南東隅で確認されたSP02は、調査区外へ続いたため全貌は明らかでないが、直径1m以上の土坑とみられる。遺構の時期は、出土遺物から奈良時代を中心とした時期であり、少ないながらも古墳時代後期（7世紀）や平安時代のもも含まれる。

まとめ 稲川遺跡は古代（平安時代）の遺跡であるが、これまで遺跡の詳細な内容は分かっていなかった。今回の調査地点は式内社（延長5年（927）にまとめられた延喜式神名帳に記載された神社）である伊河麻神社の南東30m足らずの位置にあたる。伊河麻神社の境内地は元の範囲からかなり縮小しており、今回の調査地点も過去には境内地であった可能性があり、今回見つかった遺構は伊河麻神社に関連したものである可能性がある。

(天石 夏実)



第1図 調査区位置図 (S=1/1000)

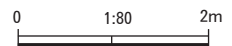
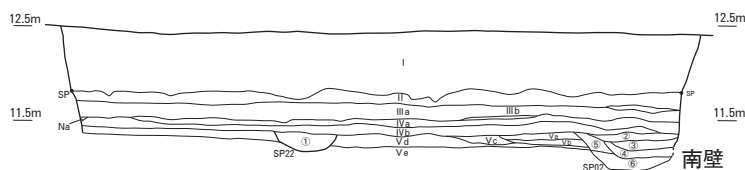
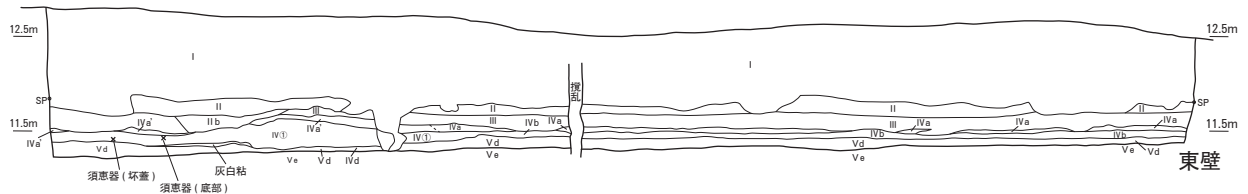
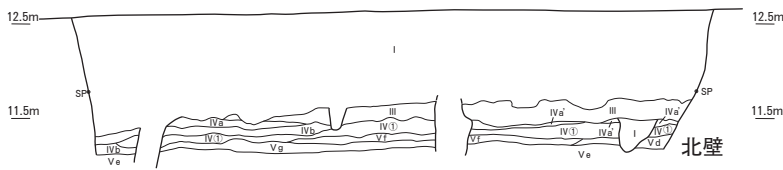


土層説明

- I 暗灰色砂質土 礫混層(造成土)
- II 暗灰色粘質シルト(造成前水田土)
- IIIa 灰色粘質シルト
- b 灰色粘土 しまり弱い
- IVa 暗褐色粘土
- b 暗褐色粘質シルト 礫を少量含む } 遺物包含
- Va 灰褐色粘土 Φ1~2cm大の礫を含む
- b 暗灰褐色粘土
- c 暗灰色粘質シルト
- d 暗灰褐色粘質シルト 礫混層
- e 砂礫 Φ10cm大
- IIb 暗灰色砂礫シルト互層 ガラス片含む
- IVa' IVaより粘性弱い
- IV① 淡褐色粘質土 Φ5~10cm大の礫を多く含む
しまりあり
- Vf 灰色粘土
- Vg 灰色粘土+礫

SP02覆土

- ① 灰褐色粘質シルト+砂礫
- ② 暗灰褐色粘土 Φ2~10cm大の礫を含む
- ③ 灰褐色粘土 粘性強い
- ④ 暗灰褐色粘土 粘性強い
- ⑤ 灰褐色粘土 小礫をわずかに含む
- ⑥ 暗灰褐色粘土 粘性強い
小礫と(自然)木様の有機物を多く含む



第2図 全体図・土層図



1. 全景（南西から）



2. 調査区北壁土層断面



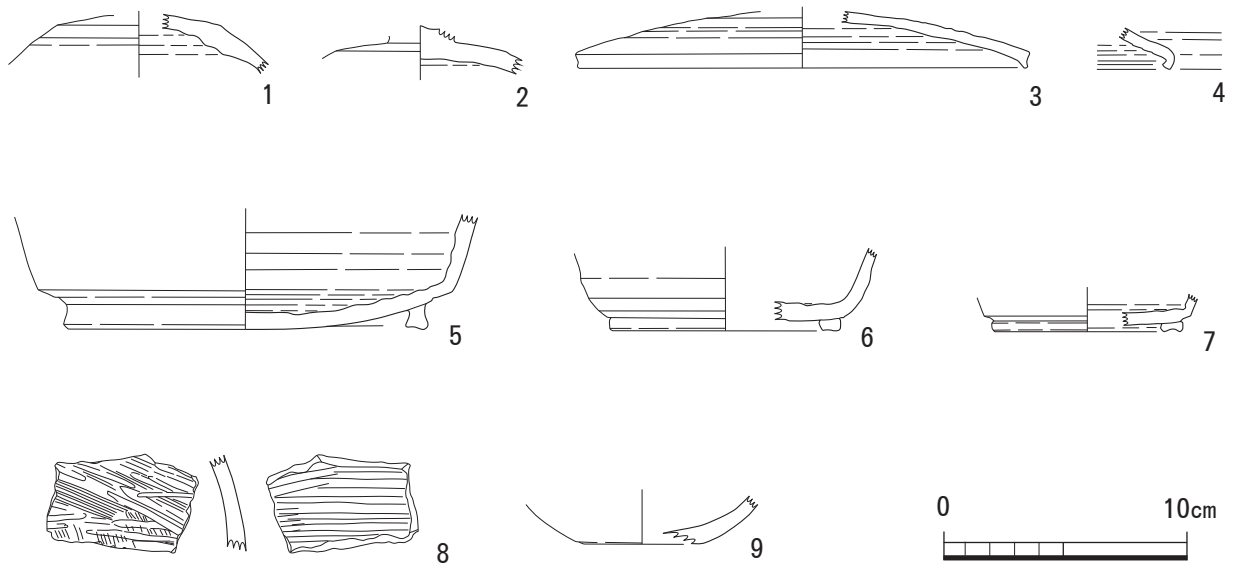
3. 調査区南壁土層断面



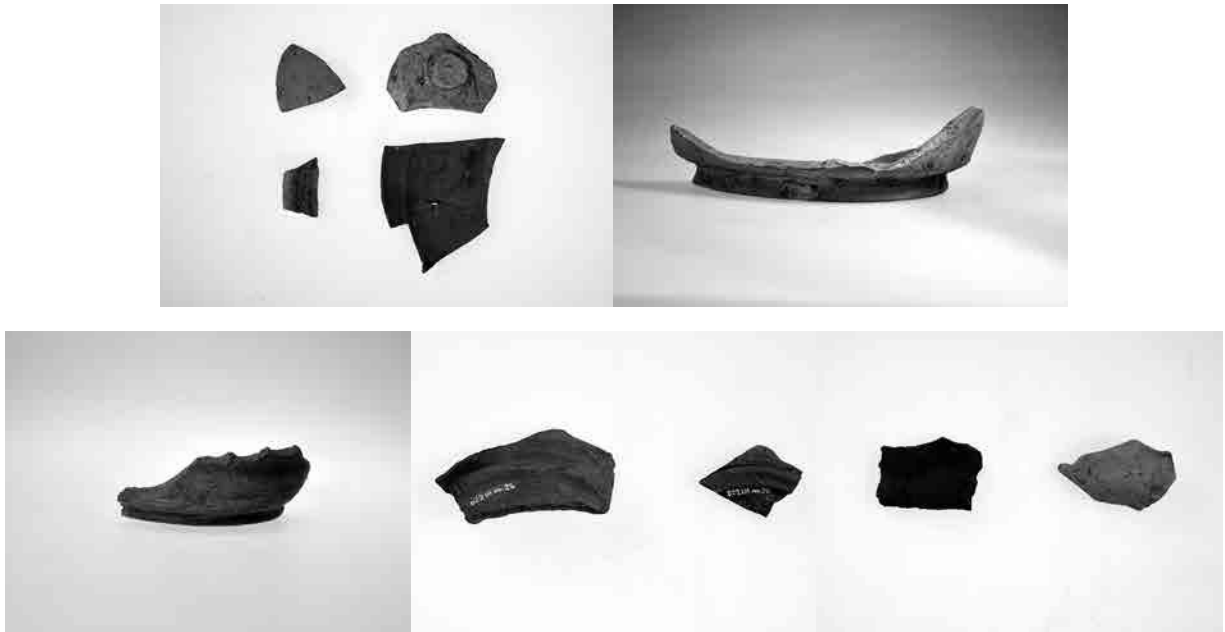
4. SP01（東から）



5. SP02 土層断面（調査区南壁）



第3图 出土遺物実測図



6. 出土遺物

（4）おしかこふんぐん ほりのうち いせき 小鹿古墳群・堀ノ内A遺跡

遺跡番号 B108・B106
所在地 静岡市駿河区小鹿1377番3
調査原因 宅地造成
調査期間 令和4年6月16日から
令和4年6月24日まで
調査面積 約47m²
担当者 主 査 天石夏実・菊田 宗
主 事 松原草太
会計兼任職員 渡井英誉



調査位置図 国土地理院 1：25000「静岡東部」

遺跡の概要 堀ノ内A遺跡は、静岡清水平野の南に位置する標高307.2mの丘陵「有度山」うどやまの西麓に位置する。

静岡市駿河区小鹿字堀ノ内一帯は、昭和5年に刊行された静岡懸史第1巻に紹介されているように、古くから縄文時代の遺物が採集される場所として知られていた地域である。

調査の概要 令和4年5月30日に確認調査を実施し、縄文時代の遺構（小穴）と遺物が出土したことから、今回の造成工事によって遺跡の保護に影響がある擁壁を設置する箇所を対象に発掘調査を行った。

調査地の地形は、東から西に向かったの緩斜面でSP03（北区）辺りを境に傾斜が急になっている。遺構検出は、確認調査の結果を踏まえ、第7図基本土層序第Ⅲ層上面（一部は第Ⅳ層上面）で行った。

検出遺構 検出した遺構は、土坑2基（石組遺構1基を含む）、小穴11基であり、東区の北側に集中している。遺構の掘り込み面は東壁で確認でき、第9層（基本土層序第Ⅲ層）からのものであった。

注目すべき遺構として石組遺構がある。縁を人頭大の川原石（円礫）で囲んだもので、内部は、播鉢状に窪む。底部には土器や礫敷きはなかった。掘り方は礫下4cm程にあり上端の形状は不定形な円形である。内部壁面は焼土化しておらず、石組みの礫にも被熱の痕跡は見られない。また、遺構覆土中にも炭化物・灰・焼土は確認できなかったが、覆土と遺構の南に位置する第3図第3層中から比熱して赤色化した礫が3点出土している。また、縁辺の礫は、西側の一部が存在しない。礫が抜かれた可能性または石組炉に取り付く様な小穴があったのかもしれない。

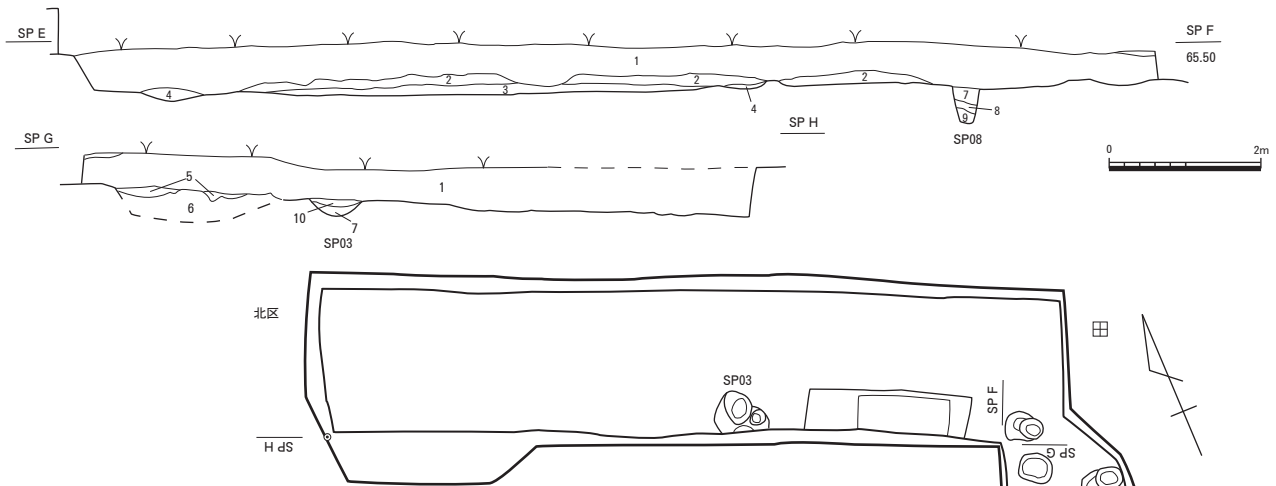
その他に見つかった11基の小穴には、深さ20cm程の浅いものと、80cm程度の深いものがあった。

出土遺物 出土遺物は、縄文土器（破片76点）、打製石斧（2点）、石皿、磨石、敲石（いずれも1点）、黒曜石（3点）及び石器の剥片である。縄文土器は中期中葉のものが殆どで、中期後葉（No.17）と後期の可能性があるもの1点（未掲載）が出土している。大半を占める中期中葉の土器は、勝坂系と呼ばれる中部関東系のもの、北屋敷系と呼ばれる東海系のものがあり、勝坂系の点数が多い。

まとめ 縄文時代の石組遺構は炉跡であることが多いが、今回見つかったものは、火を受けた痕跡がないことから、どのような遺構なのか不明である。また、住居跡など遺構の性格を明らかにできたものはなかったが、小穴などが集まっていることや出土遺物量からも調査地点付近は居住域であったと考えられる。

第6図に示すように、調査地点付近は、これまでの調査で遺構が見つかった地点と見つからなかった地点がある。D地点では、これまで十分に調査対象としていなかった下層の黄色土から、縄文時代でも古い早期の遺物が出土したことから、調査深度の検討も含め、調査の精度を高めて、データ収集を継続していきたい。

（菊田 宗）



第1図 土層注記

<東区西壁 S.P.E-F、北区南壁 S.P.G-H>

暗褐色土（表土・耕作土） 粒子が粗く、0.5~1cm大の小石を多く含む。

暗黒褐色土（耕作土） 粒子の細かい層で、しまりは弱い。0.5~1cm大の小石を少量含む。

3. 黒色土 細かい砂質の層で、粘性に富む。しまりが強い。

4. 黒色土 3層に類似するが、しまりが弱くなり、黒色味も弱くなる。

5. 暗褐色土（6層から4層への漸移層） 粒子の粗く、しまりは弱い。2~3cm大の小石の混入が多い。

6. 黄褐色土（地山） 礫を多く含む、粘質も強い。粒子は粗く、しまりは弱い。

第7図 基本土層序との対応 1層・2層=基本土層序Ⅰ層 3層・4層=基本土層序Ⅱ層

5層=基本土層序Ⅲ層 6層=基本土層序Ⅳ層

<SP08覆土>

7. 黒褐色土 粒子の細かい層で、しまりが強い。炭化物を含む。

8. 黒褐色土 7層に類似するが、黒色味が増し、粒子が細くなる。粘性に富む。

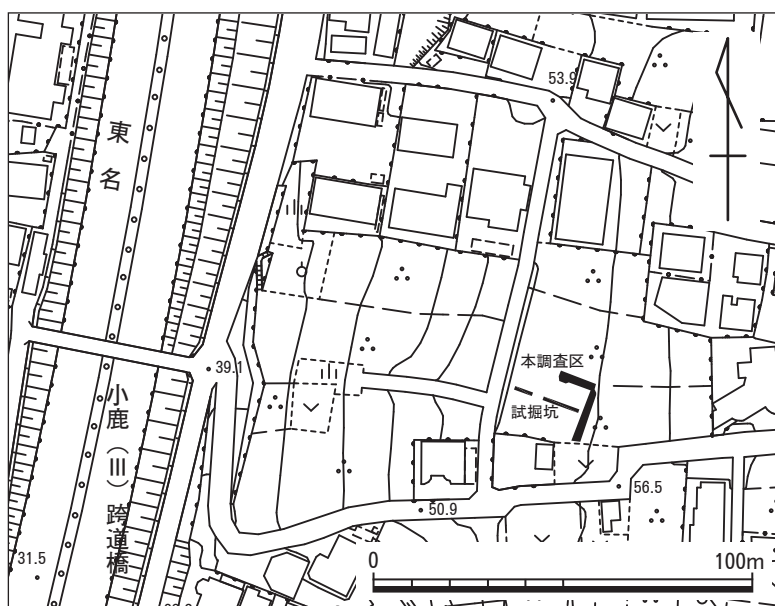
9. 淡黒褐色土 7層より粒子が粗く、しまりが弱くなる。黄褐色土のブロックを含む。

<SP03覆土>

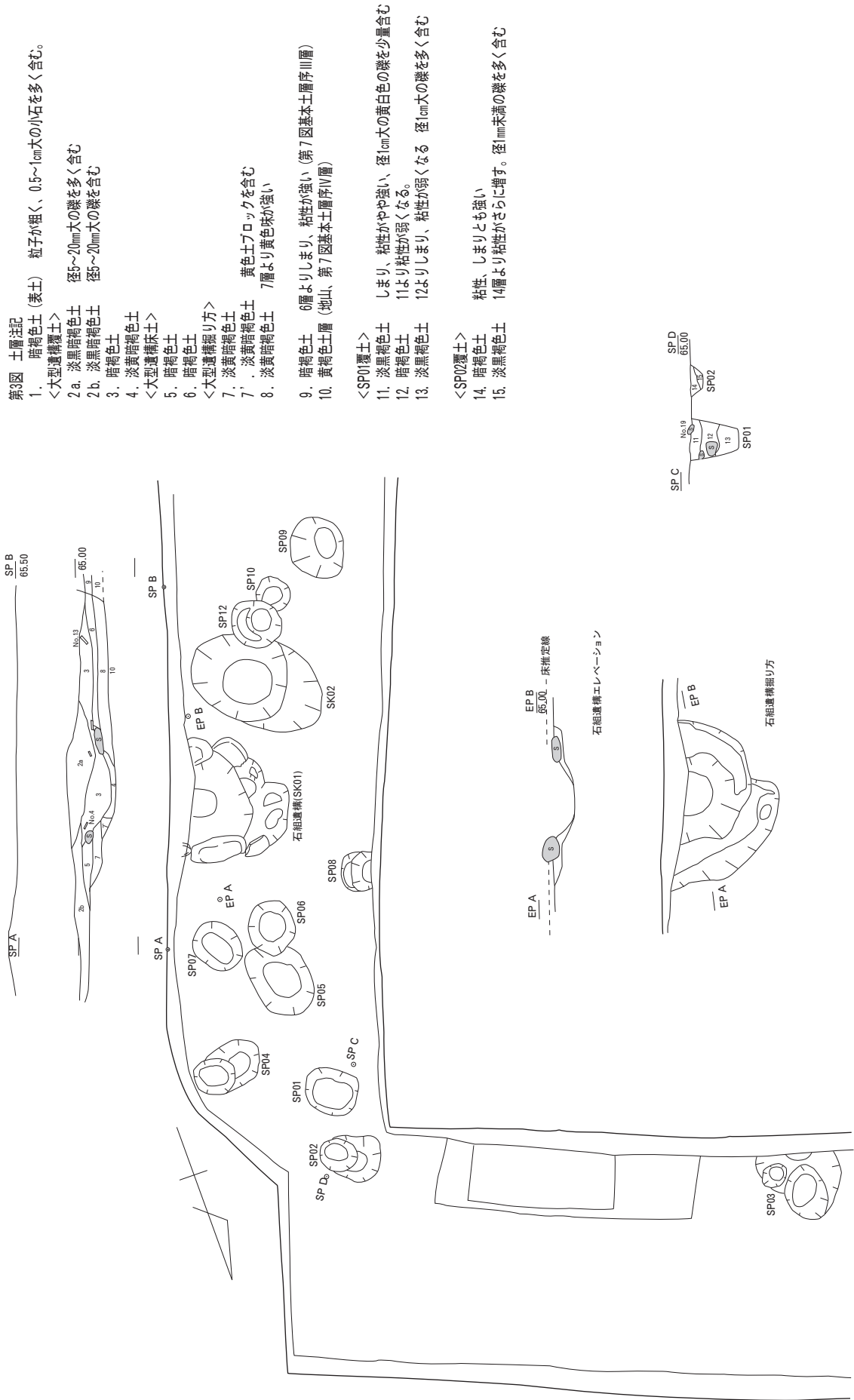
10. 黒褐色土 しまり、粘性が強く、粒子は粗い。1cm大の小石を含む。

7. 黒褐色土 粒子の細かい層で、しまりが強い。炭化物を含む（SP08第7層同一）。

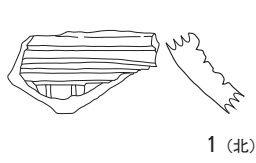
第1図 調査区平面実測図・土層断面図（縮尺 1/100）



第2図 調査区位置図（縮尺 1/2,000）

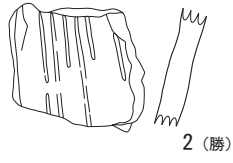


第3図 検出遺構実測図(縮尺 1/50)



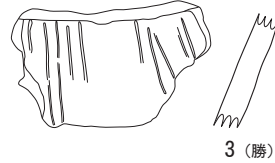
1 (北)

第6・8層



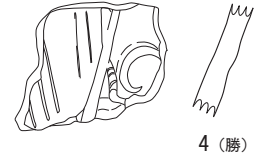
2 (勝)

石組遺構掘り方



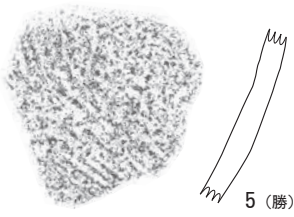
3 (勝)

石組遺構内覆土 (第3層)

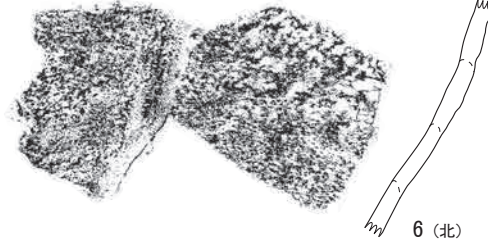


4 (勝)

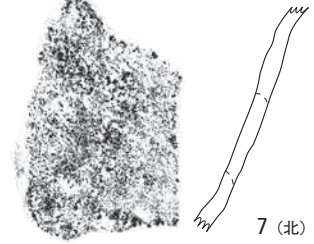
石組遺構礫直上 (第3層)



5 (勝)

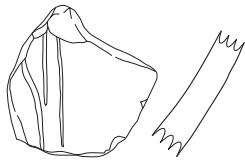


6 (北)

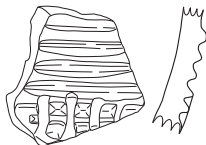


7 (北)

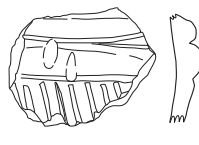
第3層出土 (8~14)



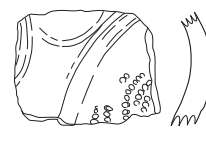
8 (勝)



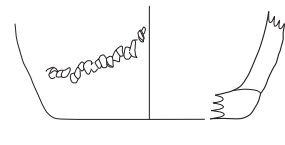
9 (勝)



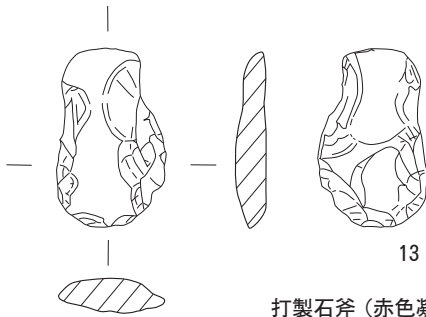
10 (勝)



11 (勝)

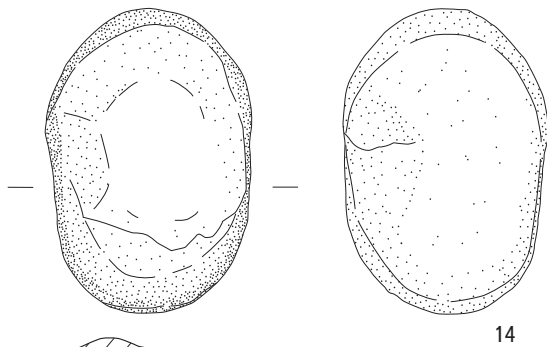


12 (勝)



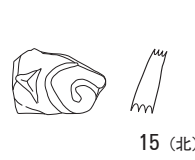
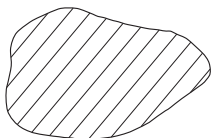
13

打製石斧 (赤色凝灰岩)



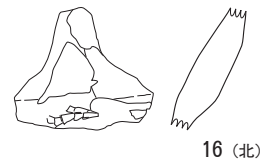
14

敲石 (砂岩)

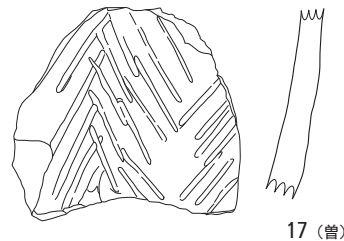


15 (北)

第2b層



16 (北)



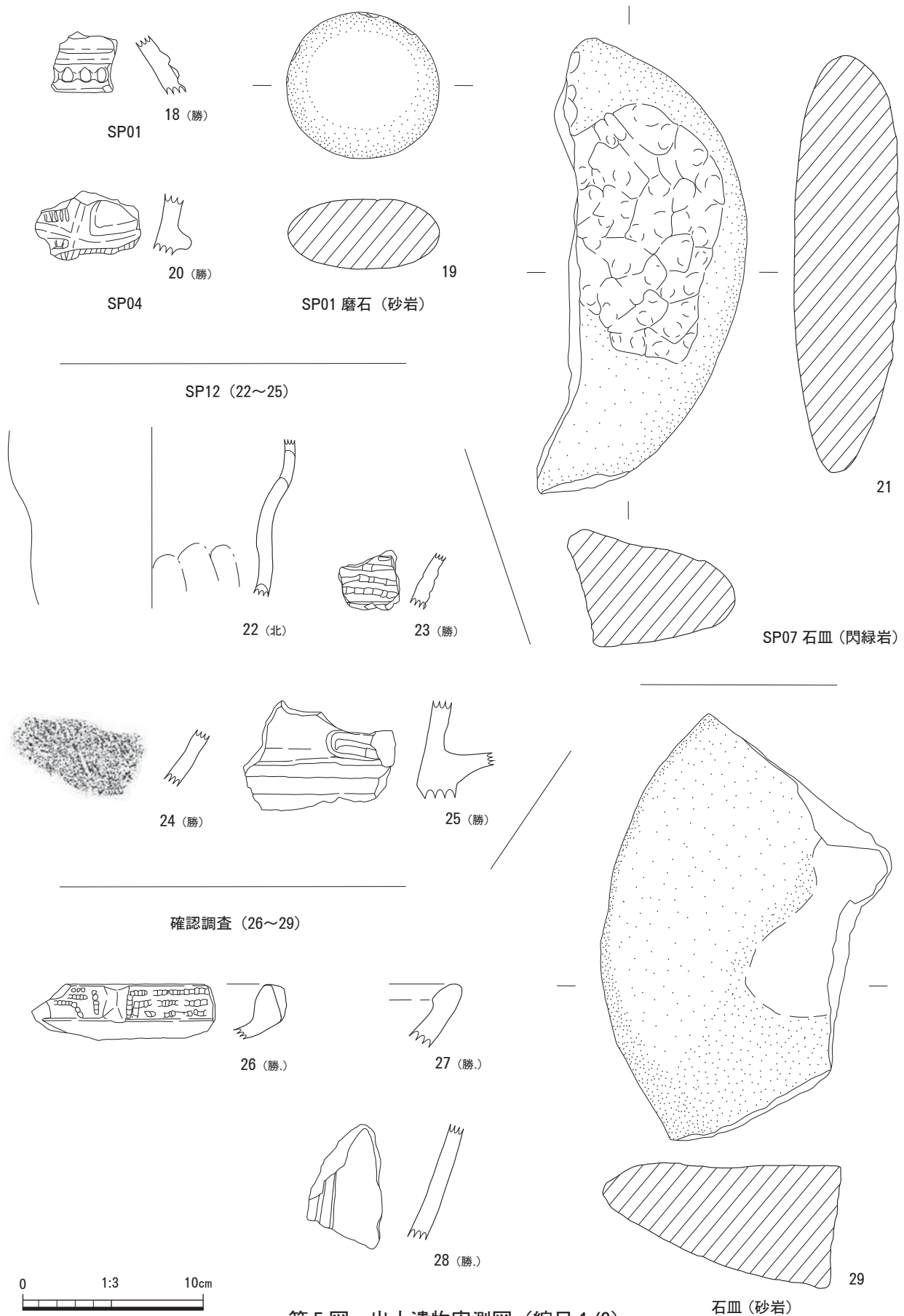
17 (曾)

第2a層

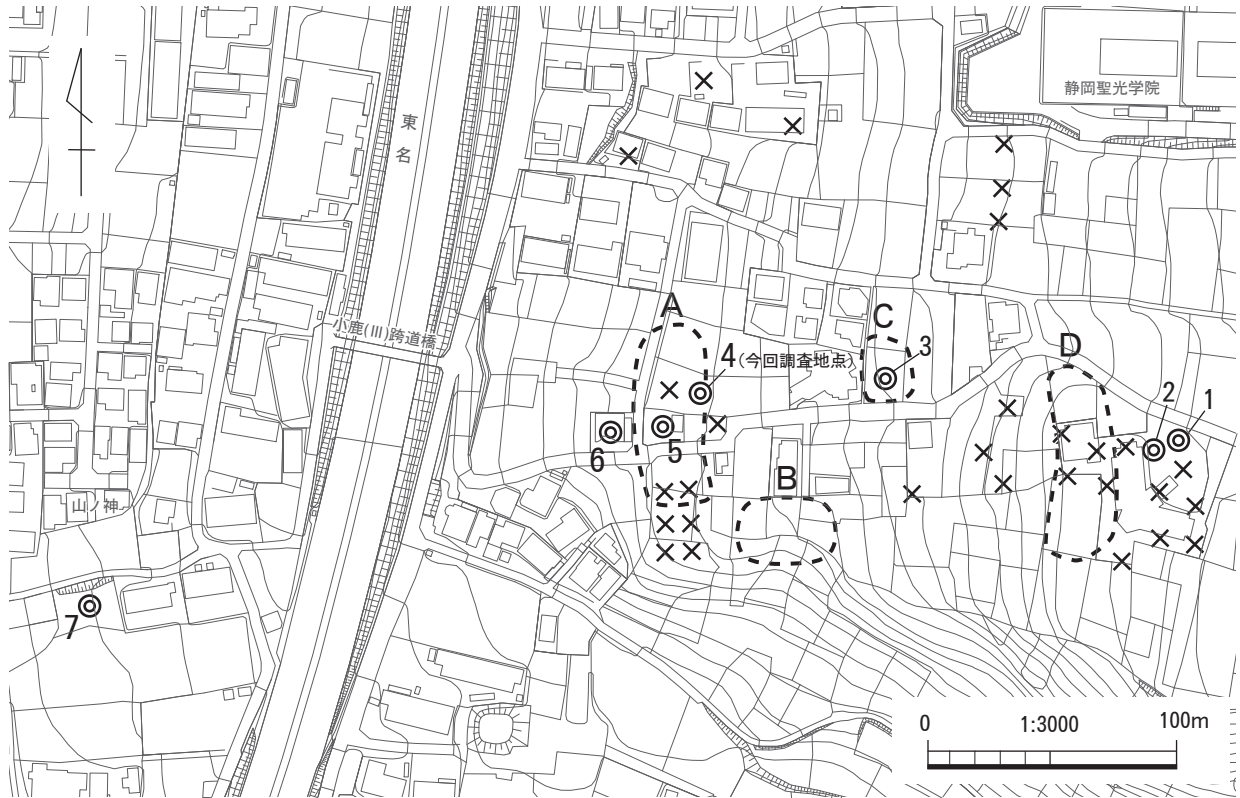


勝…勝坂系 (中期中葉) 北…北屋敷系 (中期中葉) 曾…曾利系 (中期後葉)

第4図 出土遺物実測図 (縮尺 1/3)

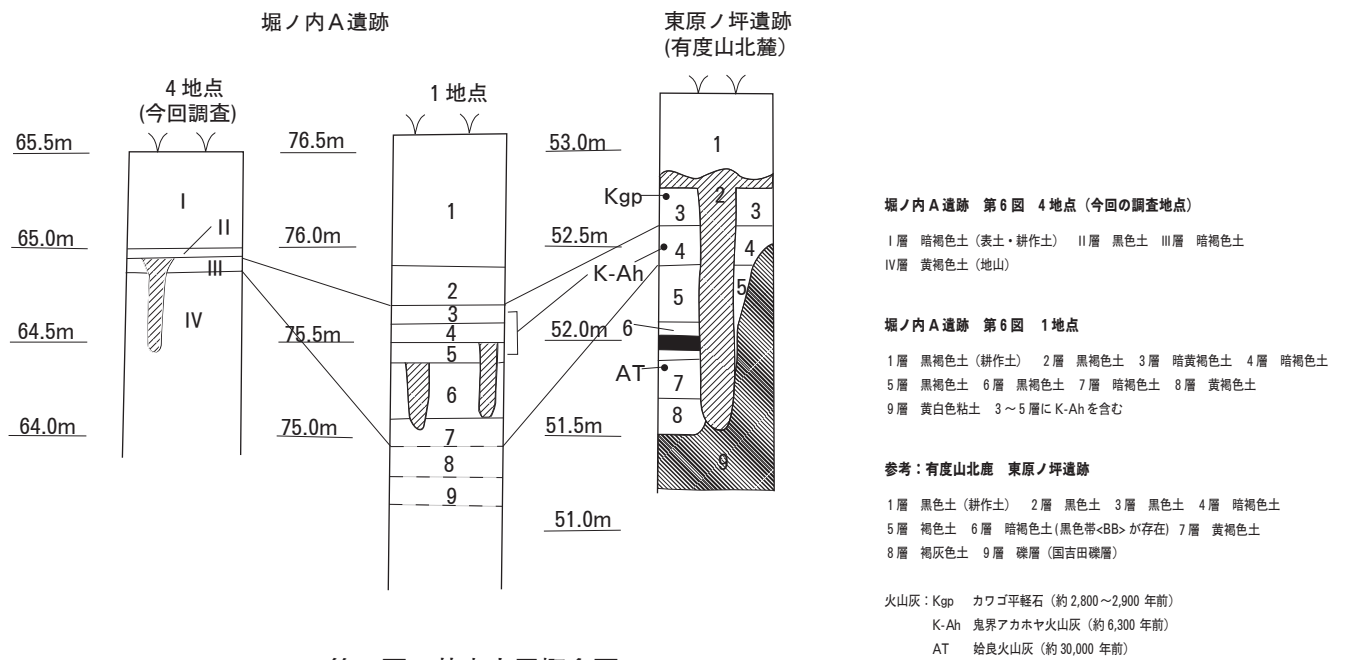


第5図 出土遺物実測図 (縮尺 1/3)



第6図 調査地点位置図

⊖ 遺物表面採集地点 調査地点のうち◎遺構有の箇所 ×遺構無の箇所



第7図 基本土層概念図



1. 遺構集中部全景（北から）



2. 石組遺構周辺 遺構確認状況（南西から）



3. 石組遺構（西から）



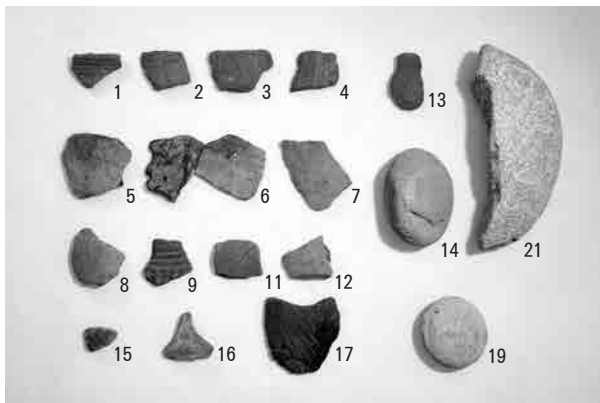
4. 石組遺構周辺土層断面（東壁、北西から）



5. SP01 半裁・磨石出土状況（東から）



6. SP07 石皿出土状況（北西から）



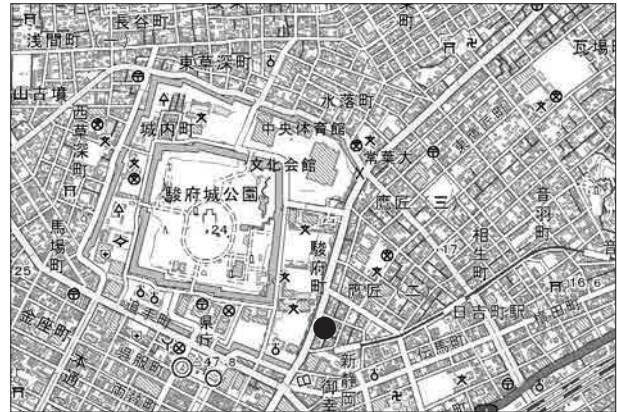
7. 出土遺物（一部）



8. 採集遺物（第6図D地点）

すんぶじょうないいせき
 (5) 駿府城内遺跡 (鷹匠一丁目地点)

遺跡番号 A127
 所在地 静岡市葵区鷹匠一丁目
 調査原因 福祉施設工事
 調査期間 令和4年7月13日から
 令和4年8月16日まで
 調査面積 約106.7m²
 担当者 文化財課 主査 天石夏実
 主事 松原草太



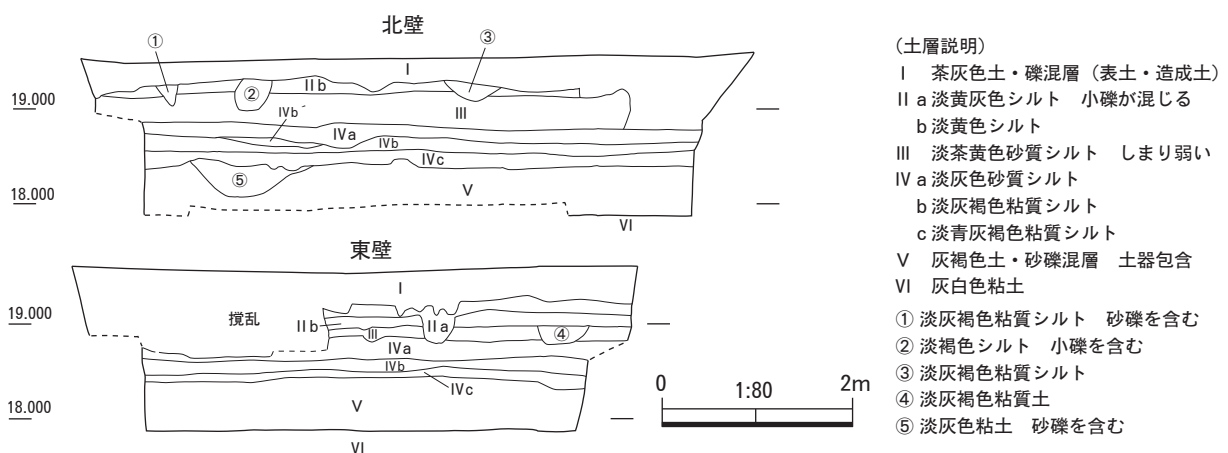
調査位置図 国土地理院 1:25000「静岡東部」

遺跡の概要 駿府城内遺跡は、駿府城跡およびその周辺に広がる遺跡で、弥生時代中期から中世の複合遺跡である。なかでも、城内小学校（現葵小学校）での発掘調査では、弥生時代から古墳時代の集落跡が検出されたほか、城内中学校地点では奈良時代の官衙と関連する可能性のある区画溝と土塁、板塀が検出され、墨書土器が出土している。

調査の概要 調査の結果、古墳時代から近世の遺構を検出した。第1検出面では、9基の小穴を検出した。なかでもSP101では石の集積がみられ、柱礎石の根固め石の可能性が考えられる。第2検出面では14基の小穴を検出し、第3検出面では2基の小穴を検出した。調査範囲が狭いこともあり、見つかった遺構の性格などは分からなかった。

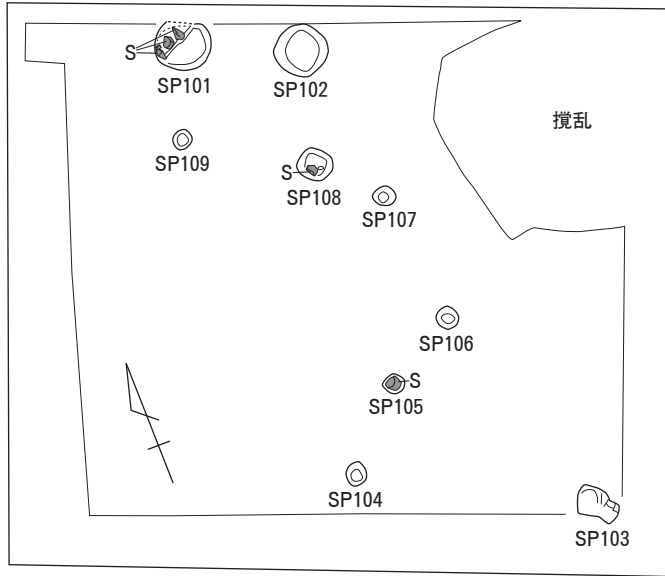
遺跡内の出土遺物は、土器、陶磁器、銭貨である。遺構からの出土はわずかであり、そのほとんどが遺物包含層からの出土であった。出土遺物からすると、各検出面の遺構の年代は第1検出面が13世紀代および18世紀後半から19世紀初頭、第2検出面が10世紀前半、第3検出面が7世紀および8世紀前半のものと考えられる。

まとめ 駿府城内遺跡では、葵小学校などの地点で弥生時代中期から古墳時代前期までの遺構が発見されている。また、城内中学校地点では、弥生時代中期から古墳時代前期までの遺構が発見され、静岡市歴史博物館地点や教育会館地点での発掘調査では古墳時代後期の遺構が検出されている。今回、第3検出面で検出された遺構は、古墳時代後期に相当し、古墳時代後期の遺跡がさらに東へ広がっていることが確認できた。
 (松原 草太)

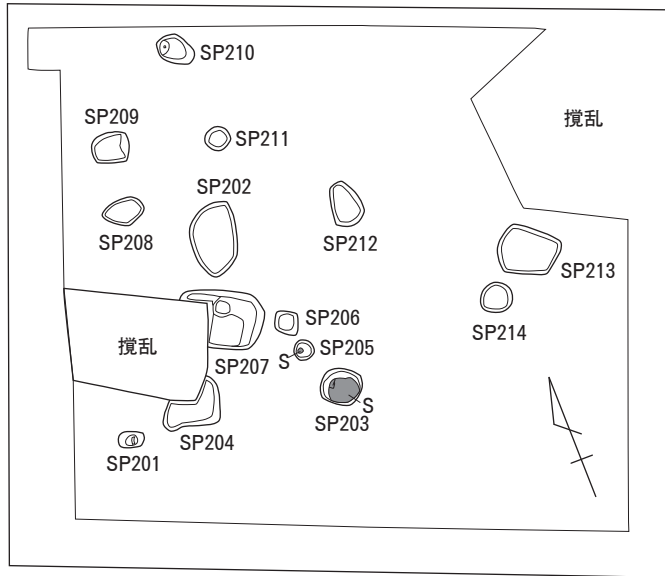


第1図 土層断面図

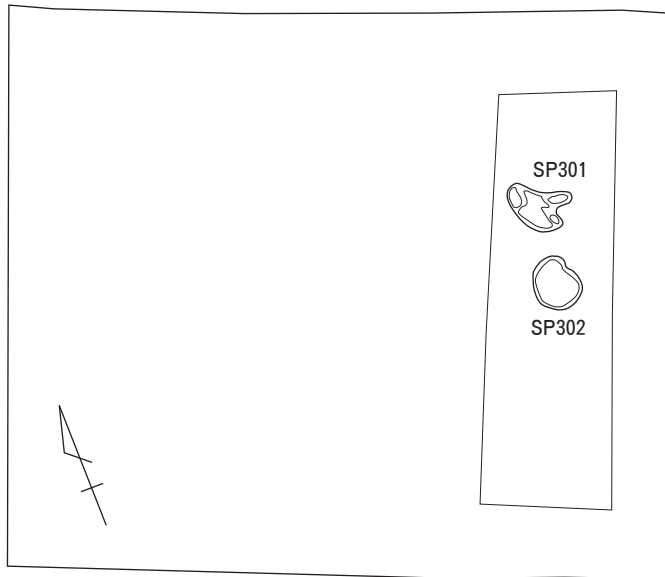
第1検出面
中世～近世
(13世紀、
18世紀後半～
19世紀初頭)



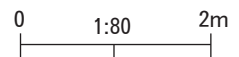
第2検出面
古代
(10世紀後半)



第3検出面
古墳時代～
古代
(7世紀～
8世紀後半)



SP:小穴
S:石



第2図 調査区平面図



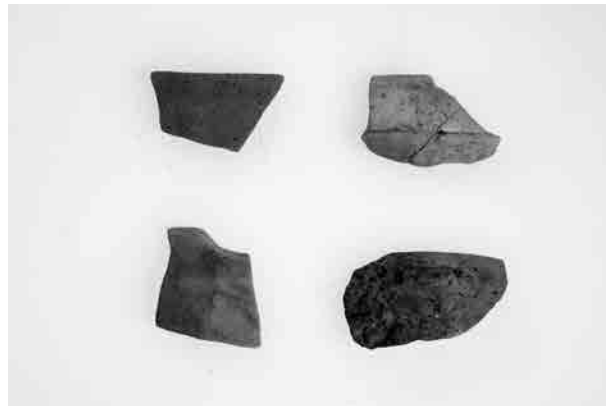
1. 第1検出面全景（南から）



2. 第2検出面全景（南から）



3. 第3検出面全景（南から）



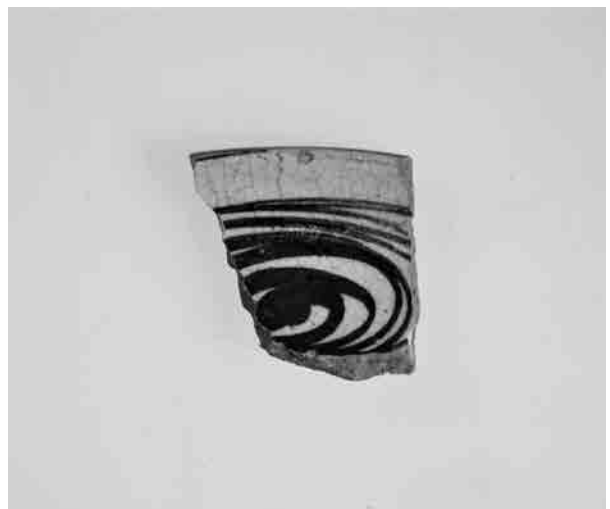
4. 7世紀・8世紀前半の遺物



5. 10世紀前半の土師器・灰釉陶器



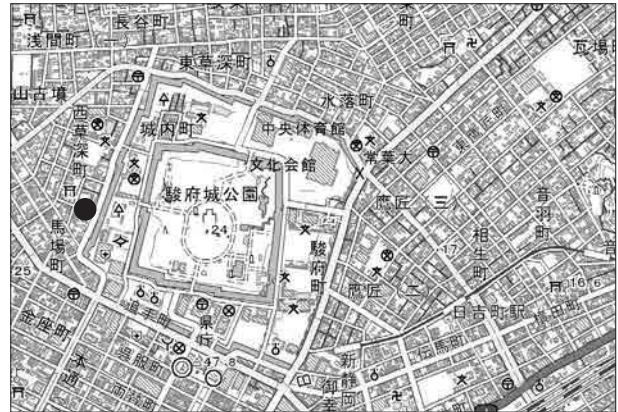
6. 10世紀前半の灰釉陶器



7. 18世紀後半～19世紀初頭の瀬戸美濃製品

(6) 駿府城内遺跡 (西草深町地点)

遺跡番号 A127
所在地 静岡市葵区西草深町
調査原因 集合住宅建設工事
調査期間 令和4年9月20日から
令和4年10月31日まで
調査面積 96㎡
担当者 文化財課 主事 松原草太



調査位置図 国土地理院 1:25000「静岡東部」

遺跡の概要 駿府城内遺跡は、駿府城跡およびその周辺に広がる遺跡で、駿府城の築城以前、弥生時代中期から中世の複合遺跡である。これまで、中世の建物跡や区画溝などが、多くの調査地点で確認されており、今川氏の駿府館の所在地は不確定であるものの、館周辺には屋敷が建ち、町が整備されていたことが分かっている。

調査の成果 確認調査によって、中世から近世の遺構が確認されたため、中世から近世を調査対象とした。調査区の南側部分で中世から近世の石列が確認され、北側部分では中世の大型土坑1基と14基の小穴を検出した。調査区中央付近では、後世の開発によって遺構が残存していなかった。

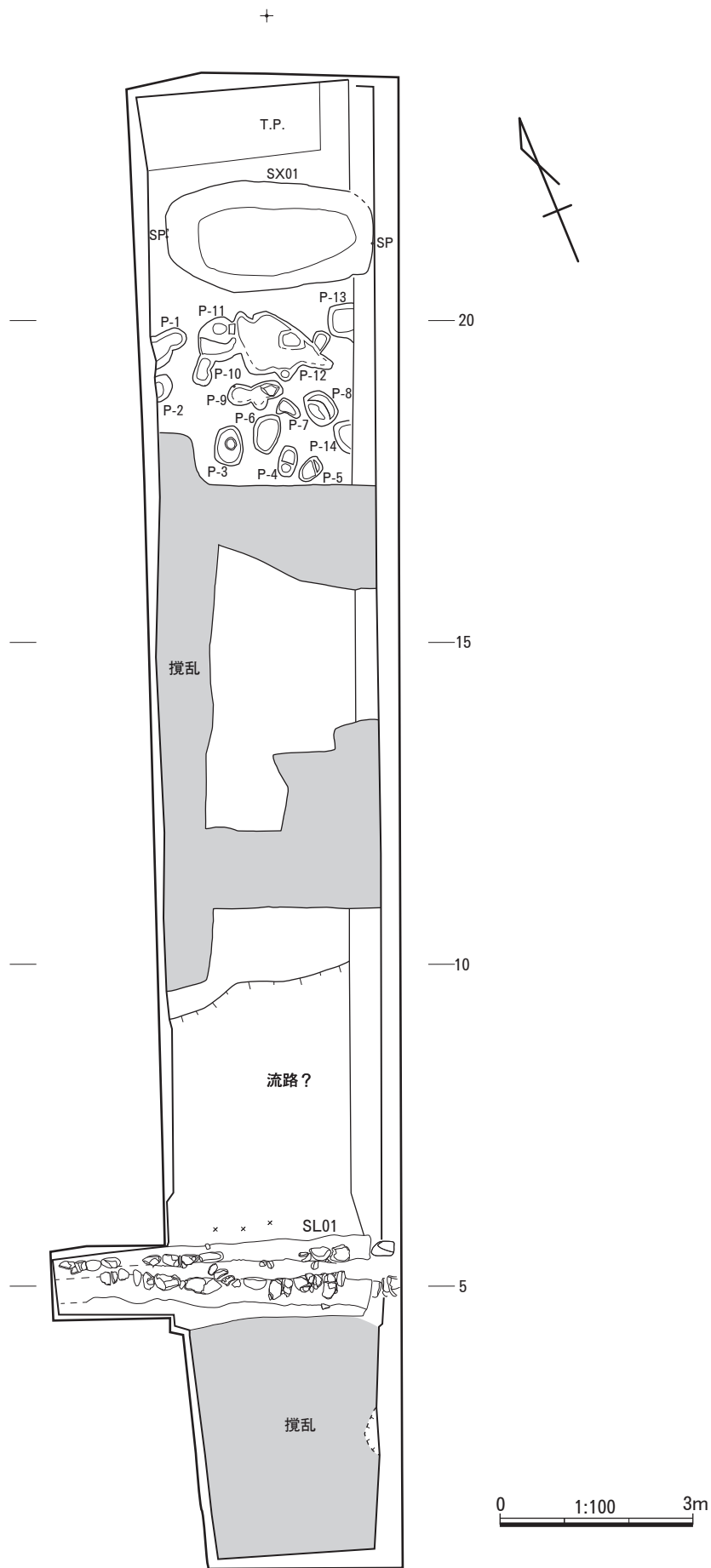
調査区の南側で確認された中世から近世とみられる石列は、調査区の東端から東西方向に約5.3mの長さで2条検出された。2条の石列はともに0.3mから0.4mの石を北側に面を向けて並べている。石列の東側は2段から3段に積まれているが、西側へいくにしたがって積まれる石は少なくなる。石列の用途は特定できていないが、付近からかわらけが出土しており、16世紀以降の遺構と考えられる。

石列が造られていた土層を除くように掘り進めると、調査区北側では中世の大型土坑1基と14基の小穴を検出した。それぞれの遺構の用途は不明であるが、東西約3.2m、南北約1.7m、深度約1.1mの大型の土坑が検出されている。大型土坑は、内部に粘性の強い土が堆積していたため、トイレの可能性を考えたが、自然科学分析の結果、トイレ遺構に見られる寄生虫卵は検出されなかった。遺構内からは15～16世紀の遺物が出土している。

遺跡内の出土遺物は、土師器、陶器、磁器、銭貨である。出土破片数が最も多いのは土師器のかわらけだった。陶器は瀬戸美濃、常滑の製品が多く、志戸呂や初山の製品もみられた。磁器は、青磁、白磁、染付が出土しており、碗や皿のほか、盤類も出土している。全体として、12世紀後半から17世紀（中世から近世の初めまで）の遺物が確認できるが、特に15世紀から16世紀にかけての遺物が主体であった。

まとめ 今回の調査は、駿府城内遺跡で数少ない駿府城跡三ノ丸堀以西における本調査であった。後世の攪乱の影響により調査範囲は限定的であったが、今川時代に相当する中世の遺構が更に西側へ広がる可能性が考えられるようになったことは大きな成果である。

また、調査地は、出土遺物の様相から、今川氏が整えた駿府の町の中でも早い段階から使われていたとみられ、駿府の中心部に近い可能性が高い。駿府城跡南西部が今川氏の館の中心部とする可能性が、令和5年2月に開催された「シンポジウム 今川館の姿にせまる」でも指摘されている。今後も調査の機会を得た際には、積極的に調査を行い、データ収集に努めたい。(松原 草太)



第1図 調査区平面図



1. 調査区全景（南から）



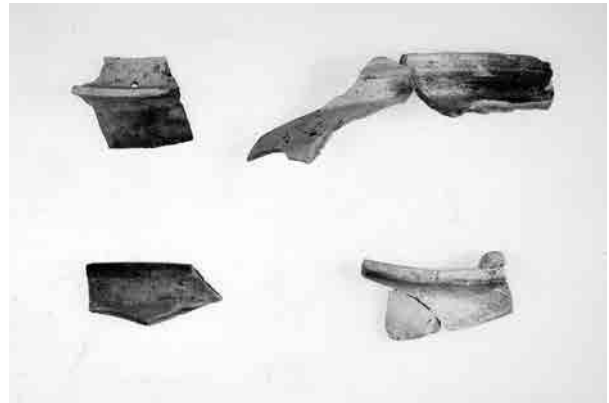
2. 石列遺構（東から）



3. 調査区北側遺構のようす（北から）



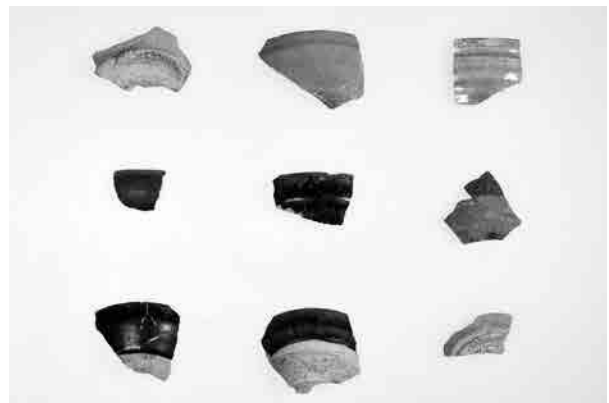
4. 大型土坑出土遺物



5. 土師器（羽釜、内耳鍋）



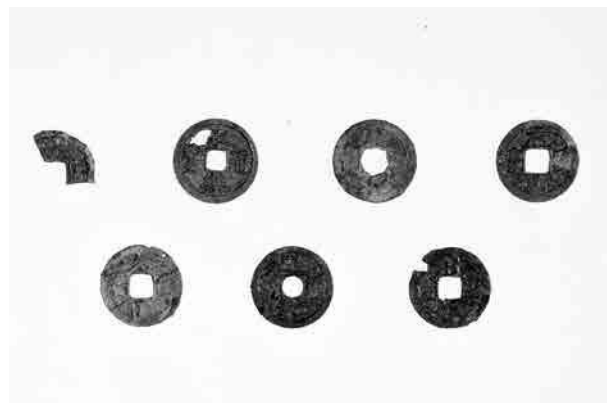
6. 瀬戸美濃製陶器（皿類）



7. 瀬戸美濃製陶器（碗類）



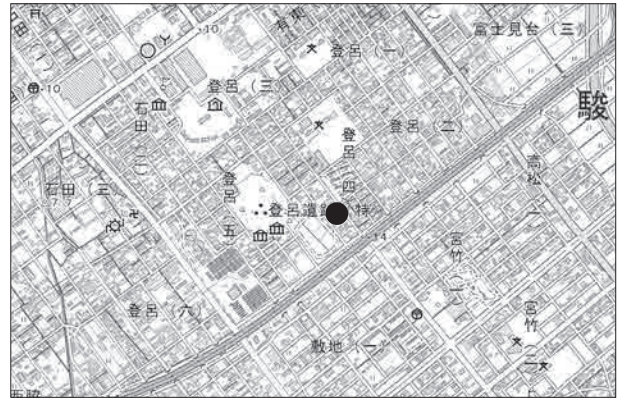
8. 磁器類（青磁、白磁、染付）



9. 錢貨（永樂通寶、政和通寶、元祐通寶など）

(7) 登呂遺跡

遺跡番号 B80
所在地 静岡市駿河区登呂四丁目
調査原因 事務所建設
調査期間 令和5年2月1日から
令和5年2月20日まで
調査面積 16m²
担当者 文化財課 主査 天石夏実
主事 松原草太



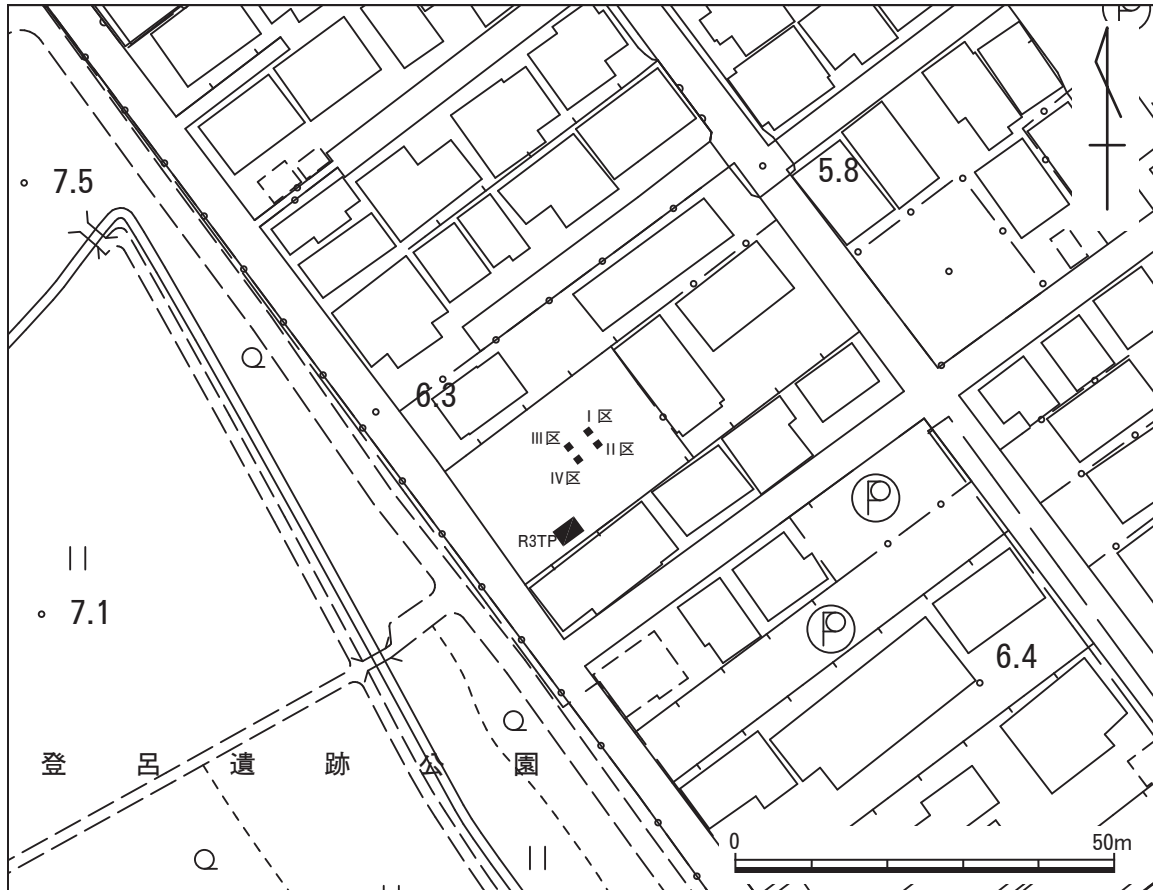
調査位置図 国土地理院 1:25000「静岡東部」

遺跡の概要 登呂遺跡は、静岡平野の中央やや南部、JR静岡駅の南東方約2.5kmにあり、古い安倍川によって造られた微高地上に立地している。太平洋戦争直後に実施された発掘調査の結果、弥生時代後期の集落跡と南に広がる同時期の水田跡が一体で見つかり、また土器や木製農具等多くの遺物が出土し、弥生時代の稲作農耕集落の様子が全国で初めて明らかとなり、遺跡の主要部分は、特別史跡に指定された。今回、指定地（水田域）の隣接箇所における開発に伴い記録保存を目的とした発掘調査を行うこととなった。

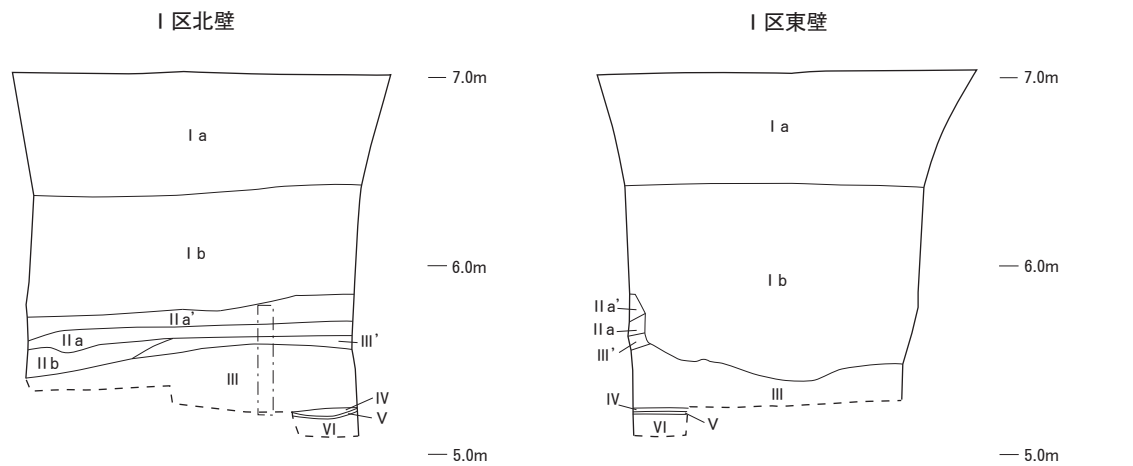
調査の成果 工事により遺跡への影響がある4箇所（Ⅰ～Ⅳ区）を調査対象とした。1箇所あたり2m×2mと狭く、畦などの水田遺構が平面的に検出される可能性が低いため、調査区の土層断面の観察、記録を主眼として調査を行った。各調査区ではほぼ共通の土層堆積が確認された（第2・3図、写真1～8）。

現在の地表面（標高7.0～7.1m）下約1.1～1.2mは造成土（Ⅰ層）である。その直下に黒褐色粘土層（Ⅱ層）が堆積する（標高5.85～5.95m）。Ⅱ層は弥生時代後期～古墳時代前期の水田耕作土であるが、上面はⅠ層により攪乱され、水田面は残存していなかった。残存する層の厚さは25～35cmで大きく上下2層（Ⅱa、Ⅱb）に分かれる。Ⅱb層下部には灰白色粘土ブロックが多く混じり、水田耕作開始～初期の時期に基盤層であるⅢ層（灰白色粘土層）まで耕作したものと考えられる。登呂遺跡に人が住み始める以前のⅢ層（灰白色粘土）の下には黒褐色粘土層（Ⅳ層）が堆積し、その上位～上面には厚さ1cmほどのカワゴ平パミス（標高5.2～5.3m）の堆積がみられた。遺物は出土しなかった。

まとめ 今回の調査地点の敷地内では、昭和18年（1943）の第1次調査で南北方向の畦に伴う杭列とそれと交差する東西方向の畔に伴う杭列が見つかった。今回の調査でそれらの杭列は見つからなかったが、令和3年度の敷地内での確認調査では、東西方向の畦（杭列）の一部が確認されており、南北方向の畦はⅠ・Ⅱ区とⅢ・Ⅳ区の間あたりに存在するものと考えられる。前記2条の畦によって区画された中を手畦により小さく区画していたと考えられる。今回の調査は非常に限られた狭い範囲の調査であったが、遺跡の立地や水田耕作に関わる貴重な調査データを得ることができた。（天石 夏実）



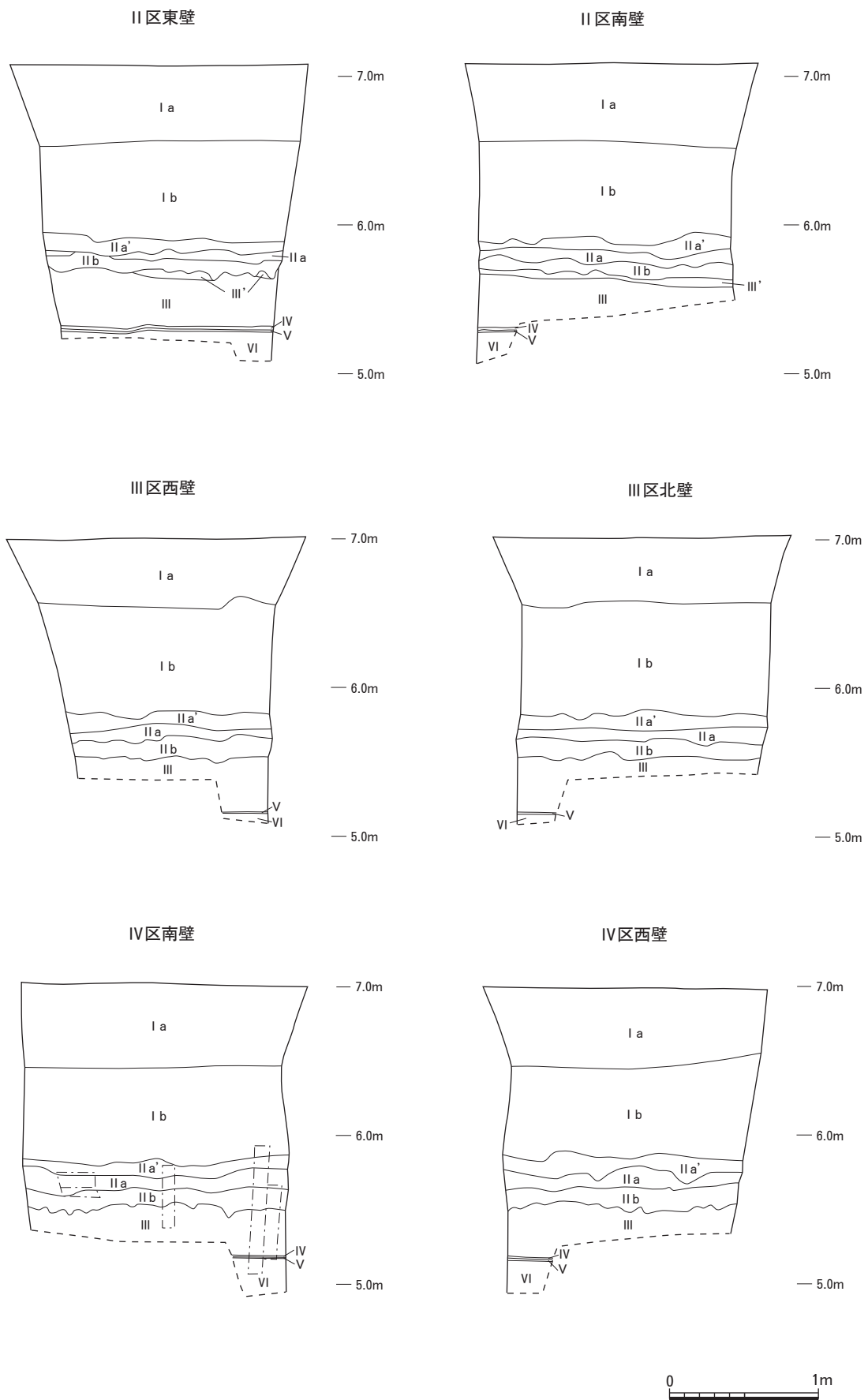
第1図 調査区配置図 (S=1/1000)



- I a 暗黄褐色土 茶灰色土 礫混層
- I b 黒色細砂 灰色細砂 礫混層 下部を中心に木片、プラスチック、ビニール、瓦、陶器等が混じる
- II a' 暗茶灰色粘土 しまり弱い I b層の油で変色、変質している
- II a 暗褐色粘土 灰白色粘土粒子がわずかに混じる
- II b 黒褐色粘土 下部を中心に灰白色粘土ブロックが混じる 部分的に黒色腐植土が混じる II aと比べてしまり強い
- III' 灰白色粘土 黒褐色粘土ブロックが混じる
- III 灰白色粘土 粘性強い
- IV 黒褐色粘土
- V カワゴ平バミス
- VI



第2図 土層断面図1 (S=1/40)



第3图 土层断面图2 (S=1/40)



1. I区北壁土层断面



2. I区東壁土层断面



3. II区東壁土层断面



4. II区南壁土层断面



5. III区北壁土层断面



6. III区西壁土层断面



7. IV区西壁土层断面



8. IV区南壁土层断面

おしまじんやあと
(8) 国指定史跡小島陣屋跡

遺跡番号	C13
所在地	静岡市清水区小島本町
調査原因	史跡整備
調査期間	令和5年1月12日から 令和5年2月22日まで
調査面積	91.9㎡
担当者	文化財課 主任主事 毛利舞香 会計年度任用 渡井英誉



調査位置図 国土地理院 1:25000「興津」

遺跡の概要 小島陣屋跡は、東海道の興津宿から分岐する街道筋（身延道）に沿って北へ約3.7kmの距離にあり、興津川右岸の標高約60mの河岸段丘上に立地する江戸時代中期に成立した一万石の大名瀧脇松平氏の居所である。石垣を多用し、自然の谷を堀として利用した小城郭風の景観をとどめ、遺構が地下に残存し、御殿建物の一部が移築され現存しているなど江戸時代中期における大名陣屋の在り方と構造を知る上で貴重であるとして、平成18年7月28日に国指定史跡に指定された。

調査の成果 今後の史跡整備に向け、御殿書院の東側に1ヶ所、第2郭の水路延長と想定される部分に5ヶ所、四阿建設予定地に1ヶ所の調査区を設定し、調査を行った。(調査区はこれまでの通番として88区から94区とする)。

< 御殿書院東側玄関想定位置(88区) >

旧小島公会堂として利用されていた御殿書院の解体調査の結果、建物東側に玄関が接続していた可能性が高くなった。そのため、玄関の柱位置等の有無の確認のため、平成29年度調査で設定した43区を一部再掘削する形で、調査区を新たに設定した。

地表下30cm程度掘り下げたところ、調査区南側で小穴1基（SP1）を検出した。この小穴を半裁したところ、柱に伴う根固め痕跡が検出された。根固め痕跡は径5～10cm程度の礫が少量締め固められているが、上部は既に削平されている。

また、43区で検出した水路についても、玄関柱位置との位置確認のため再検出を行った。水路石列の残存は一段で、長さ40cmほどの石が一行に並んでいる。水路の底面部分は、幅1尺の範囲で、5～10cmの石を含む粘土を貼り構築されている。粘土層の上面から完形の小皿（染付）が出土している。この水路は南側へは延長せず、造成土によって切られていることから、水路の廃絶後に造成が行われ、SP1の柱が建てられたと考えられる。また、造成土中から瓦片が出土しているため、創建後に建替え・造成が行われたことが分かる。

< 第2郭石組水路延長(89区～93区) >

89区 令和3年度に87区で検出された石組水路の延長を確認するために、東側の推定ライン上に調査区を設定した。地表下20cm程度まで掘り下げたが、石組水路の延長は確認できなかった。サブトレンチを設定して確認した結果、地山の上に、黄褐色の盛土で造成を行っている状況が確認できた。南側から北側に向けて造成が行われており、後述する93区の貯水榭設置に伴う裏込めも一部確認することができた。

90区 87区で検出された石組水路の西側の推定ライン上に調査区を設定した。地表下30cm程度まで掘り下げたが、水路の痕跡は認められなかった。耕作土の直下に地山となる黄橙色土が確認されたことから、後世の耕作等の影響を受けて削平されている可能性がある。

91区 水路の延長を確認するために、87区に隣接する位置に調査区を設定した。掘削の結果、やや北側へ斜めに水路が延長する状況が確認された。また、東側の石組みは、上部が崩れて水路内へ崩落していることが確認された。

92区 石組み水路の東側への延長の状況を確認するために調査区を設定した。掘削の結果、石組水路が、主郭石垣の張出部分に沿って、主郭石垣側へと折れて延長する状況が確認できた。

西側に幅20cmのサブトレンチを設定し、掘り下げた結果、礫と瓦片を多量に含む土で水路が人為的に埋められた状況が確認された。また、水路石組天端から30cm程度掘り下げたところで、底面に底板状の石を確認した。

93区 主郭石垣の吐水口と想定される部分の直下の構造を確認するため、調査区を設定した。掘削の結果、1.4m×0.8mの石組遺構を確認した。水路と同様に、底面には板状の石が設置されており、吐水口からの水を受けて水路へ流すための貯水枿と考えられる。

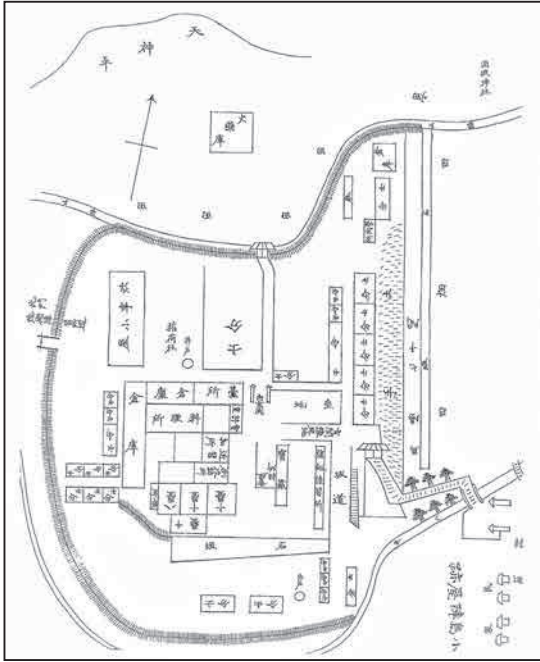
また、主郭石垣の前面に吐水口の幅に合わせて、底石の上に石が設置されている。枿を形作る石材の上に乗せられていたことから、貯水枿の構築後に設置されたと考えられる。

<四阿設置予定箇所(94区)>

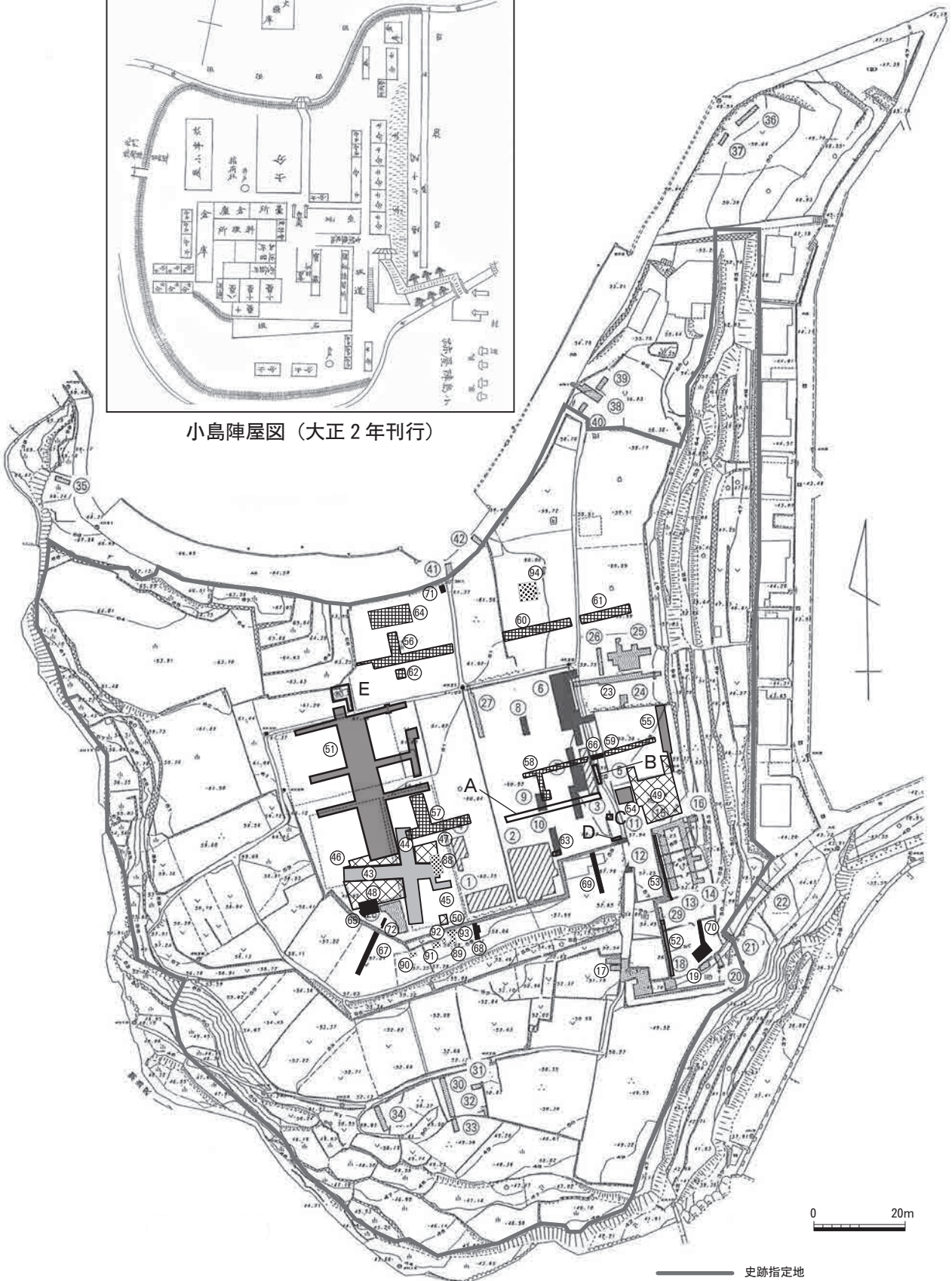
史跡整備に係る四阿設置地点の遺構確認のため、一辺4mの調査区を設定した。小島陣屋図によれば、調査地は土分(落土)屋敷地に当たる。調査の結果、一部茶畑に関連する浅い落ち込みが見られるものの、遺構と認定できるものは発見されず、陣屋に関わる造成土も確認することができなかった。厚さ5cm程度の表土直下に地山となる黄褐色系の砂質の土層を確認している。

当該調査地点周辺は茶畑として利用されていたことから、耕作に伴い大きく削平された可能性が高いと考えられる。

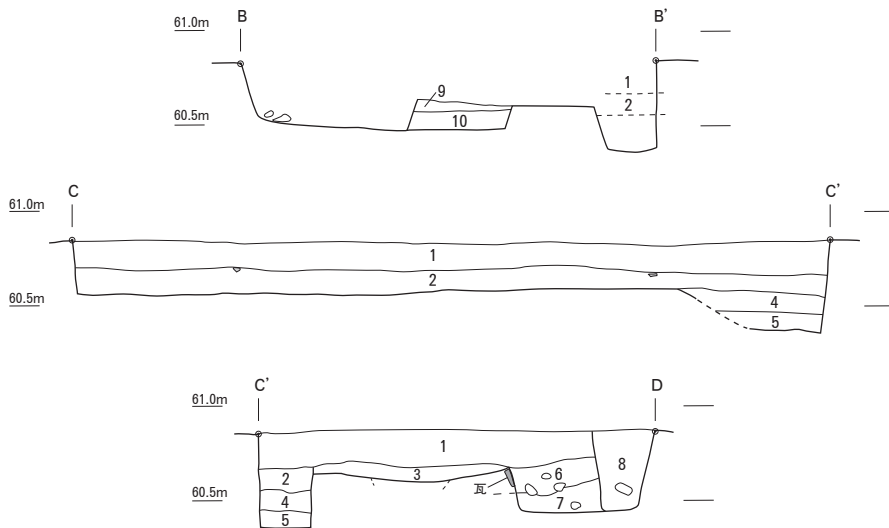
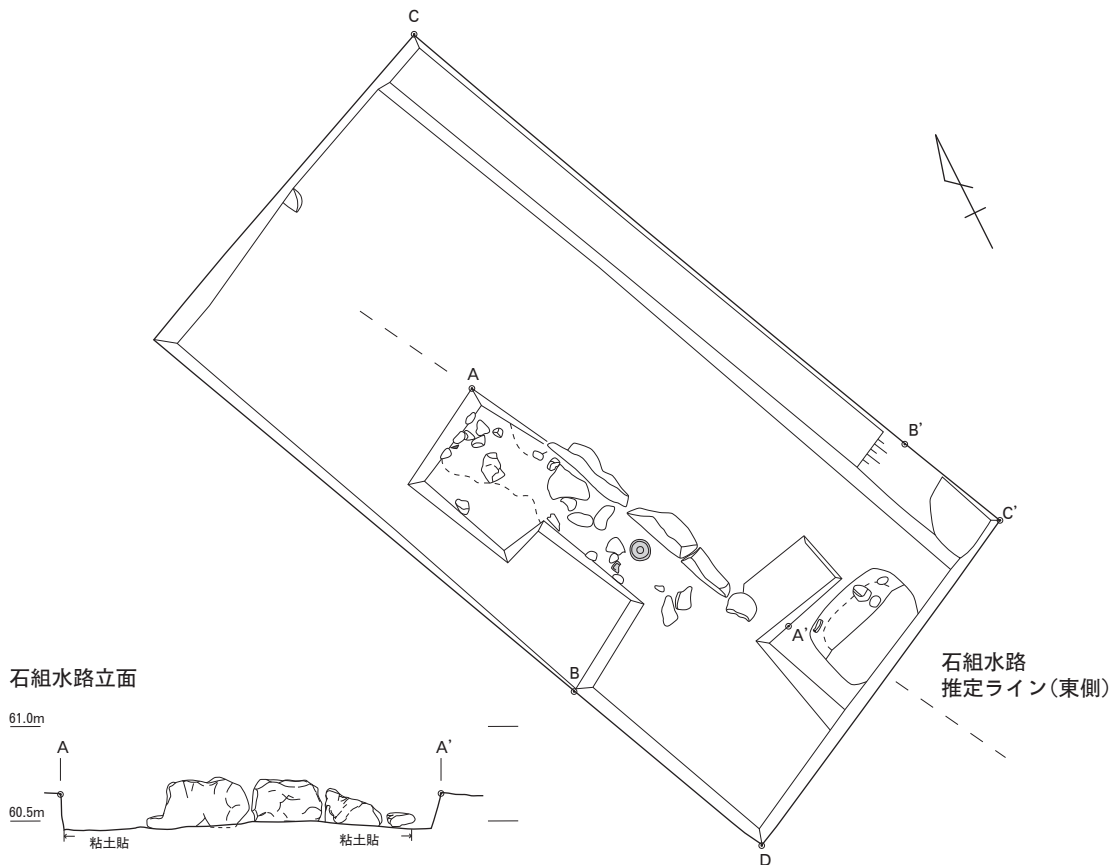
(毛利 舞香)



小島陣屋図（大正2年刊行）

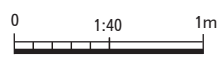


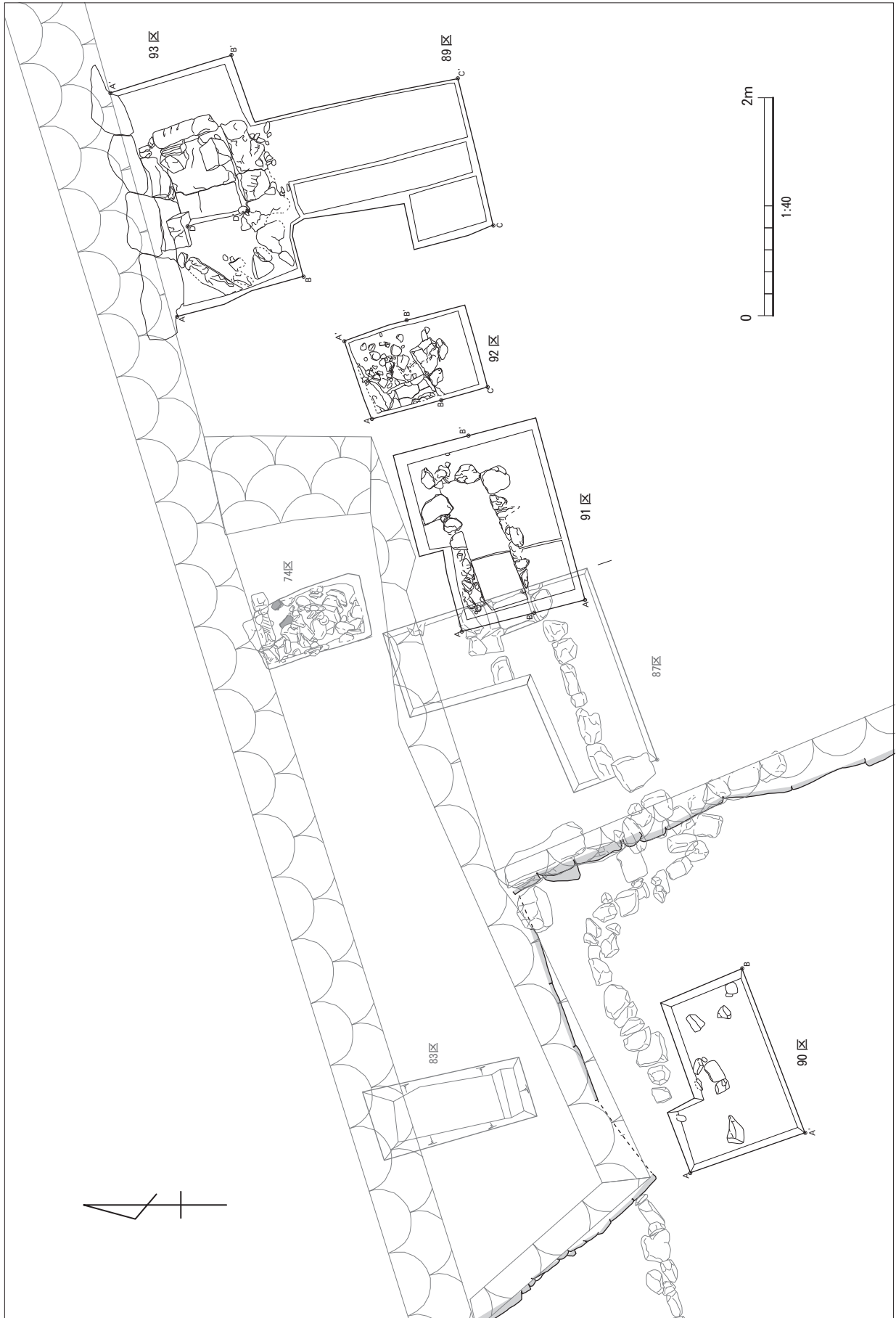
史跡小島陣屋跡発掘調査位置図 (S=1/1250)



- | | |
|---------------------|--|
| 1. 灰黄褐色 (10YR6/2) | しまりが強く0.5~1cm大の小石 黄褐色土ブロックを含む (YR6/2) |
| 2. 灰褐色 (7.5YR6/2) | 1よりしまりが弱く、粒子が粗くなる 0.5~1cm大の小石を多く含む |
| 3. 灰黄褐色 (10YR6/2) | しまりが弱く、粒子も粗い 1より黒色味を増す 1~2cm大の小石を少量含む |
| 4. 明灰褐色 (7.5YR7/2) | しまりが弱く、粒子も粗い 2~3cm大の小石を少量含む |
| 5. 明灰褐色 (7.5YR7/2) | しまりが弱く、粒子も粗い 0.5~1cm大の小石を多く含む |
| 6. 灰黄褐色 (10YR5/2) | しまり、粘性の強い層 2~3cm大の小石を含む |
| 7. にぶい黄褐色 (10YR6/3) | しまりの弱い砂質の層 0.5~1cm大の小石を含む 炭化物の混入が目立つ |
| 8. 灰黄褐色 (10YR6/2) | トレンチ埋め戻し 1に類似するが、粒子が細かい (客土) |
| 9. にぶい黄褐色 (10YR7/4) | しまりがあり、粘性も強い 2~3cm大の小石を少量含む |
| 10. 灰黄褐色 (10YR6/2) | しまりが弱く、粒子も粗い 0.5~1cm大の小石を多く含む 炭化物の混入が目立つ |

88区 平面図・石組水路立面図・断面図





89区~93区 調査区平面図



1. 88区 (南から)



2. 88区水路検出状況 (南から)



3. 90区 (南から)



4. 91区 (西から)



5. 92区 (北から)



6. 93区東側 (西から)



7. 89区・91区・92区・93区 (北から)



8. 94区 (東から)

2 出土遺物の寄贈

寄贈の経緯

静岡県立清水東高等学校は、かつて郷土研究部が旧清水水域を中心とする静岡県中部地域で発掘調査を実施し、出土品を校内で保管・活用してきた。郷土研究部が廃部後、出土品の保管・活用が困難となってきたため、令和3年度に静岡市に譲渡依頼（相談）があった。静岡市では、静岡市内所在の貴重な文化財であることから、資料を受取り、保管・活用を図っていくこととした。令和4年6月14日付けで、静岡県立清水東高等学校から資料寄贈申込があり、令和4年6月15日付けで静岡市が受領した。

寄贈された文化財

寄贈を受けた文化財は下表のとおりである。

品名	規格・品質	数量	摘要
石川遺跡、白浜遺跡出土品	土器等	110箱	木箱（法量22.5×42.5×10.0cm）
石川遺跡出土品	土器等	7箱	コンテナボックス （法量36.0×48.0×12.0cm）
白浜遺跡出土品	土器等	3箱	同上
宇多利遺跡出土品	土器等	1箱	同上
旧由比町内遺跡出土品 （本興寺古墳ほか）	土器・ 金属製品等	2箱	同上

清水東高等学校生徒会誌『たちばな』に記載された郷土研究部の活動から、

- ・石川遺跡（現：石川Ⅱ遺跡） 昭和40年度調査
（静岡県文化財保存協会 1968『東名高速道路（静岡県内工事）関係 埋蔵文化財発掘調査報告書』）
- ・本興寺古墳（現：室ヶ谷古墳群 3号墳） 昭和31年度調査
とわずかながら推定できる。

しかし、遺物の出土地点や出土状況、写真・図面資料と対応するものかなど、不明な点も多い。今後、再整理し静岡市の歴史資料として活用していきたい。

（松原 草太）



石川遺跡出土品（一部）

Ⅱ 文化財の新指定・登録

1 重要文化財

令和4年9月20日付で1件の建造物が重要文化財となった。

指定番号：建第2741号

種 別：重要文化財（建造物）

名 称：清水灯台^{しみずとうだい}

員 数：1基

所 在 地：清水区三保2109-2

所 有 者：海上保安庁

建 築 年：明治45年（1912）

構 造：金属製、鉄筋コンクリート造、
附・旧日時計 1基

建築面積：5.86㎡

指定年月日：令和4年9月20日

指定基準：歴史的価値の高いもの



清水灯台

（1）清水灯台の概要

清水灯台は、三保半島の吹き合いの岬に建つ現役の洋式灯台。明治32年（1899）の開港場指定により、三保半島の内海に広がる清水港を往来する船舶が増大したことをうけ、船舶の安全航行のため通信省が直轄で建設。明治45年（1912）竣工。

（2）清水灯台の特徴

国から、「清水灯台は、明治期に全国的な航行網が充実する中、清水港の修築工事と一連で計画、整備された灯台であり、近代航路標識の展開を物語る灯台。日本において、初めて建設された鉄筋コンクリート造灯台であり、現存する最古級の鉄筋コンクリート造建造物としても貴重である。」という評価をうけ、歴史的価値の高いものとして、指定された。

（杉山 由夏）



2 ユネスコ無形文化遺産「有東木の盆踊」を含む「風流踊」

令和4年11月30日付で「有東木の盆踊」を含む「風流踊」が登録された。

登録名称：「風流踊」

登録日：令和4年11月30日

「有東木の盆踊」とは、

重要無形民俗文化財指定年：平成11年（1999）

保護団体名：有東木芸能保存会

葵区有東木に伝承される8月14日・15日に行われる盆踊。男性が受け持つ踊りと、女性が受け持つ踊りが区別され、それぞれ太鼓を伴奏に、踊り手自身も歌いながら踊る。扇やコキリコ、ササラ、木製の小さな長刀を持つものや、飾り灯籠を頭上にかざした踊り手が繰り込んで踊ることがあるなど、多様な内容をもつ。中世から近世初期に流行した歌と灯籠を持った踊りなど、古風で多様な風流系統の踊りを、盆踊りとして伝承するもので、芸能の変遷の過程を示す。



東雲寺境内で踊る有東木の盆踊

「風流踊」とは、

華やかでにぎやかな、華美な人目をひくようなものを語源とし、趣向を凝らした衣装や持ち物を用い、歌や笛、太鼓、鉦などで囃し、踊る。先祖供養、豊作祈願等の願いがこめられる。



飾り灯籠をかざした踊り手

「ユネスコ無形文化遺産」とは、

ユネスコは、国連の中で、文化・教育・科学技術等を所掌する国際機関。世界遺産条約が対象としている有形の文化遺産と並び、無形文化遺産も国際的に保護しようとする意識の高まりの中、2003年に「無形文化遺産保護条約」が採択された。この条約では、口承による伝統及び表現、芸能、社会的慣習、儀式といった無形文化遺産について、締約国が自国内で目録を作成し、保護措置をとることとなっている。また国際的な援助等が定められている。

2009年にこの代表一覧表に記載された「チャッキラコ」(神奈川県三浦市)を拡張し、2022年、モロッコで開催されたユネスコ政府間委員会において、「風流踊」として、全国41件の民俗芸能が代表一覧表に記載された。(全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会 パンフレット一部抜粋)

(杉山 由夏)

Ⅲ 有形・無形文化財の調査と保護・助成

1 静岡市古文書調査事業

(1) 調査の意義

本市では、静岡市内に所在する古文書・古記録類の散逸を防止し、文化財としての保護と活用を図るため、市民からの問い合わせなどをもとに古文書の所在を調査、網羅的な目録の作成を進めている。古文書・古典籍といった資料は静岡市内の歴史を知る上で貴重な資料である。一方で、近年では、引っ越しや世代交代、災害といった事象により、処分されたり、所在不明となる傾向にある。静岡市の歴史の喪失を防ぐため、市民から寄せられた情報をもとに日頃、調査を実施している。

(2) 事業の内容

静岡市では、古文書を本市の歴史を明らかにする基礎資料として、その保護と活用を図ることを目的とした古文書調査事業を昭和63年度から実施している。調査は、静岡大学人文社会科学部日本史学研究室が実施しており、9月から3月にかけて、学生が調査を行った。調査内容は、古文書に付着した埃や虫を取り除くクリーニングの作業、古文書の整理、撮影である。整理では、古文書は1点ごとに保存用の中性紙でできた封筒に封入し、古文書に書かれている内容を分析し、時代順に並べ替えた目録を作成している。



小池邸



小池家文書

令和4年度は、令和3年度に引き続き、本市が所有する小池家文書の調査を実施した。小池家は、近世に寺尾村（清水区由比寺尾）において名主を務めた旧家であり、建物は国登録有形文化財となっている。学生の調査成果として、『庵原郡寺尾村にみる近世村の自治－小池家文書の分析から－』と題した古文書調査報告書を刊行した。本書では、村共同体の「自治」というテーマを設定・分析し、過去の人々がどのようにして社会の中で自らの意思を決め、相互の間で合意形成していったのかを調査に携わった学生が探求している。

また、令和2年度から継続して実施していた清水区横砂東の個人が所有する古文書（朝倉家文書）の調査が完了した。

(熊谷 すずみ)

2 由比北田の天王船流し調査事業

(1) 目的及び内容

「由比北田の天王船流し^{*}」は、清水区由比北田にある津島神社の祭りで、毎年7月の第3土曜日に行われる、疫病除けの行事である。祭り当日は、地元住民が天王船と呼ばれる4mほどの麦ワラ船を担いでお祓いをしながら町内を巡行し、最後に船を海へ流す。平成26年3月10日、文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択された。

「由比北田の天王船流し」の歴史的変遷と民俗文化財としての価値を正しく理解し、今後の保存伝承活動に活用するため、国庫の助成を受け、令和3、4年度の2か年で調査を実施し、令和5年3月27日に『記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財調査報告書 由比北田の天王船流し』を刊行した。なお、本書は非売品だが、市内の図書館等で閲覧が可能。

^{*}由比北田地区では「天王舟」の表記を使用しているが、国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択名称は「由比北田の天王船流し」であるため、本稿では「天王船」と表記する。

(2) 実施体制

民俗文化財の有識者と由比北田地区の代表者で調査委員会を構成し、静岡市が調査を実施した。

(3) 調査内容

報告書作成のための調査は、清水区由比北田における実地観察記録と現地及び関係各所、団体等の聞き取り調査、歴史資料の調査、天王あるいは津島信仰の類似行事の調査、ならびに記録写真の撮影を実施した。事業内容は次のとおりである。

令和3年度 由比北田の天王船流し民俗調査・類似行事調査・調査会議

令和4年度 由比北田の天王船流し民俗調査・類似行事調査・調査会議・報告書作成

(4) 調査の成果の一例

- ・由比北田の天王船流しの変遷、現在の行事の流れ、祭礼組織、天王船の製作過程、県内の類似行事などが本書で初めて記録された。
- ・資料調査では明治から昭和にかけての由比北田での津島講の記録、古い絵図が発見され、本書にて掲載された。

(落合 彩夏)



由比北田の天王船流し
調査報告書



町内巡行 (令和3年川口委員撮影)



天王船を沖へ流す (平成25年撮影)

3 令和4年度助成事業一覧

(単位:円)

No.	事業名	総事業費	補助対象額	国庫補助金額	補助率	県費補助金額	補助率	市費補助金額	補助率	事業者負担額
保存 修理	1 (重文)徳川家康関係資料美術工芸品保存修理事業(令和3年度繰越)	6,259,600	6,259,600	4,381,000	70%	834,000	13%以内	834,000	13%以内	210,600
	2 (重文)徳川家康関係資料美術工芸品保存修理事業(写真撮影)	285,192	285,192	171,000	60%	38,000	13%以内	0	0%	76,192
	3 (史)久能山歴史活き活き!史跡等総合活用整備事業(一之門修理)	38,043,240	38,043,240	19,021,000	50%	6,340,000	9%以内	6,340,000	15%以内	6,342,240
	4 (重文)神部神社・浅間神社本殿ほか15棟建造物保存修理事業	200,000,000	200,000,000	140,000,000	70%	20,000,000	10%以内	20,000,000	10%以内	20,000,000
	5 (史)朝鮮通信使遺跡興津清見寺境内防災施設整備(記念物)事業	16,509,070	16,509,070	8,254,000	50%	2,751,000	10%以内	2,751,000	10%以内	2,753,070
	6 (史)朝鮮通信使興津清見寺境内及び名勝庭園災害復旧事業	50,000,000	50,000,000	35,000,000	70%	5,000,000	17%以内	5,000,000	17%以内	5,000,000
	7 (重文)臨濟寺本堂防災施設整備(建造物)(防災施設等)事業	60,597,356	60,597,356	33,328,000	55%	9,098,000	15%以内	9,098,000	15%以内	9,091,356
	8 (名)臨濟寺庭園(災害復旧)歴史活き活き!史跡等総合活用整備事業【5月大雨】	10,737,000	10,737,000	7,515,000	70%	1,074,000	10%以内	1,074,000円	10%以内	1,074,000
	9 (名)臨濟寺庭園(災害復旧)歴史活き活き!史跡等総合活用整備事業【台風15号】	18,000,000	18,000,000	12,600,000	70%	1,800,000	10%以内	1,800,000	10%以内	1,800,000
	10 (重文)霊山寺仁王門(災害復旧)防災施設整備(建造物)(防災施設)事業	2,927,485	2,927,000	2,487,000	85%	146,000	5%以内	146,000	1/2以内	148,485
	11 (市指定)霊山寺本堂指定文化財修理事業	40,040	40,000	0		0		20,000	1/2以内	20,020
	12 (県指定)光福寺本堂保存修理事業	512,600	512,600	0		256,000		128,000	1/4以内	128,600
	13 (重文)静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞の用具(楽器・装束)新調事業	5,762,000	5,762,000	4,755,000	定額	0		0		1,007,000
計	409,673,583	409,673,058	267,512,000		47,337,000		46,117,000		47,651,563	
管 理	14 (重文)神部神社・浅間神社・大歳御祖神社社殿指定文化財管理事業	1,018,600	793,000	0		396,000	1/2	198,000	1/4	424,600
	15 (重文)久能山東照宮社殿指定文化財管理事業	2,404,710	1,706,000	0		853,000	1/2	426,000	1/4	1,125,710
	16 (重文)霊山寺仁王門指定文化財管理事業	115,400	67,000	0		33,000	1/2	17,000	1/4	65,400
	17 (重文)臨濟寺指定文化財管理事業	1,236,290	478,400	0		239,000	1/2	119,000	1/4	878,290
	18 (名史)柴屋寺庭園指定文化財管理事業	462,000	413,400	0		206,000	1/2	103,000	1/4	153,000
	19 (名)清見寺庭園指定文化財管理事業	700,700	438,600	0		219,000	1/2	109,000	1/4	372,700
	20 (県指定)清水寺観音堂指定文化財管理事業	217,800	44,500	0		22,000	1/2	11,000	1/4	184,800
	計	6,155,500	3,940,900	0		1,968,000		983,000		3,204,500
民 俗	21 (重文)有東木の盆踊(市指定)有東木の神楽保存伝承事業	5,000	5,000	0		0		2,000	1/2	3,000
	22 (県指定)清沢の神楽保存伝承事業	195,740	195,740	0		0		97,000	1/2	98,740
	23 (県指定)日向の七草祭保存伝承事業	335,823	335,823	0		0		120,000	1/2	215,823
	24 (重文)静岡浅間神社廿日会稚児舞(市指定)節分行事保存伝承事業	108,400	108,400	0		0		54,000	1/2	54,400
	25 (県指定)草薙神社龍勢火花保存伝承事業	2,842,386	2,842,386	0		0		1,340,000	1/2	1,502,386
	26 (県指定)由比のお太鼓祭保存伝承事業	204,716	204,716	0		0		102,000	1/2	102,716
	27 (市指定)梅ヶ島の舞保存伝承事業	135,140	135,140	0		0		67,000	1/2	68,140
	28 (市指定)親王囃保存伝承事業	103,600	103,600	0		0		51,000	1/2	52,600
計	3,930,805	3,930,805	0		0		1,833,000		2,097,805	
保存・管理・民俗合計		419,759,888	417,544,763	267,512,000		49,305,000		48,933,000		52,953,868
保存 顕彰	29 (重文)霊山寺仁王門保存顕彰事業	82,000	82,000	0		0		41,000	1/2以内	41,000
	30 (市指定)小島陣屋御殿保存顕彰事業	230,621	230,621	0		0		100,000	1/2以内	130,621
	31 (市指定)瀬名郷倉及び附属番屋保存顕彰事業	126,865	126,865	0		0		63,000	1/2以内	63,865
計	439,486	439,486	0		0		204,000		235,486	
合 計		420,199,374	417,984,249	267,512,000		49,305,000		49,137,000		53,189,354

4 令和4年度助成事業紹介

本市では、前頁の一覧に掲載されているように、市内に位置する国・県・市の文化財の保存修理に対する助成事業を実施している。令和4年度は、国の重要文化財に指定されている静岡浅間神社や臨濟寺本堂、霊山寺などについて助成事業を行った。

(1) 神部神社浅間神社本殿ほか15棟建造物保存修理事業

静岡浅間神社は、平成26年度から平成・令和の大改修と称して、社殿群の漆の塗り直し、金具の修理などを行っている。令和4年度は、北回廊及び南回廊の修理を実施し、12月に北回廊の修理が完了した。30回以上の工程を経て、塗り直しをした漆は、鏡面のように輝いている。この漆の塗り直しに必要な職人の技術を知ってもらうため、3月には、現場見学会を開催した。10代から80代の幅広い層が参加し、施工中の南回廊の現場を訪れ、漆塗りの技や修理工程などを知る機会となった。



静岡浅間神社 楼門



静岡浅間神社 修理現場

(2) 重文臨濟寺本堂防災施設整備事業

近年、フランスのノートルダム大聖堂や首里城の火災といった出来事が、相次いで発生したことを受け、国宝・重要文化財等の老朽化した防災設備を順次、更新している。

建造物が、国の重要文化財に指定されている臨濟寺では、令和3年度・令和4年度の2年間、大規模な防災設備の更新を実施し、自動首振り式放水銃や煙感知器の設備を設置した。防災設備は、文化財の景観に配慮した茶色い塗装を施しており、傍から見ると違和感がないように工夫されている。感知器は、炎の揺らぎを感知する仕組みとなっていて、焚き火のような火にも対応している。



臨濟寺 本堂



放水銃作動時

(熊谷 すずみ)

IV 文化財の広報・普及・啓発事業

1 三保松原文化創造センター事業

(1) 文化的価値の発信

三保松原のもつ価値を様々な要素から伝えるため、自然環境、絵画、歴史といったテーマで企画展や関連イベントを行った。

年度	H30 (H31.3.30~)	R1	R2	R3	R4	累計
入館者数	5,257	665,744	322,643	253,302	423,100	1,670,046

①企画展Ⅰ「三保松原クセのある生き物コレクション」

展示期間 令和4年5月21日(土)～7月18日(月) 59日間

展示内容 一般財団法人三保松原保全研究所との共催により、三保松原で確認できた独特な個性を持った昆虫、植物など27例をパネルと標本を展示し紹介した。

入館者数 58,590人

- 関連イベント
- ・松原の植物観察会
開催日 令和4年7月3日(日)
講師 ふじのくに地球環境史ミュージアム 准教授 早川宗志氏
参加者 19人
 - ・クセのある生き物クイズラリー
開催日 企画展開催中の土日祝日(19日間)
参加者 計380人



松原の植物観察会の様子

②企画展Ⅱ「全国の身近な松原展」

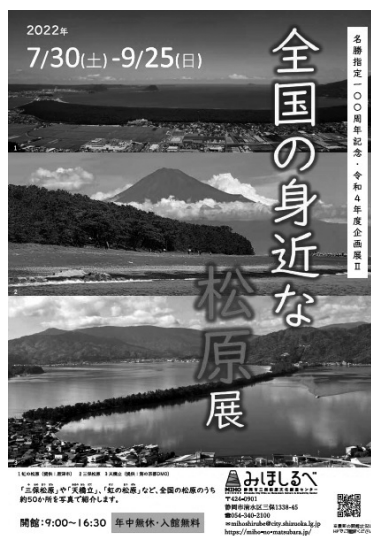
展示期間 令和4年7月30日(土)～9月25日(日) 58日間

※台風15号の影響により9月24・25日は休館

展示内容 天橋立、虹の松原など、全国の松原約50か所の写真展示のほか、マツの特徴について標本を展示し紹介した。

入館者数 68,918人

- 関連イベント
- ・講演会「名勝100年！天橋立と三保松原」
開催日 令和4年9月4日(日)
講師 宮津市教育委員会社会教育課 主任専門員 河森一浩氏
参加者 25人
 - ・富士山の小物入れづくり
開催日 令和4年8月13日(土)
参加者 30人
 - ・身近な松原クイズラリー
開催日 企画展開催期間中の日曜祝日(11日間)
参加者 計330人



③企画展Ⅲ「柳原良平が描くみなとまち清水」

展示期間 令和4年10月22日(土)～12月11日(日) 51日間
展示内容 「アングルトリス」の生みの親として知られる柳原良平氏(1931-2015)の清水港や羽衣伝説を題材にした作品の原画やパネルを展示し、清水との関わりを紹介した。

入館者数 57,179人

- 関連イベント
- ・講演会「柳原良平が描く港・船の魅力」
開催日 令和4年11月26日(土)
講師 横浜みなと博物館 学芸員 三木綾氏
参加者 15人
 - ・みほしるべ展示クイズラリー
開催日 企画展開催期間中の土日祝日(18日間)
参加者 計540人



④企画展Ⅳ「レトロ絵葉書で見る三保松原と富士山」

展示期間 令和5年2月25日(土)～3月31日(金) 35日間
※令和5年5月7日(日)まで開催

展示内容 明治から昭和20年頃までに発行された三保松原と富士山の絵葉書と、現在の風景写真を展示し、各スポットの歴史を紹介した。

入館者数 57,645人

- 関連イベント
- ・三保松原の絵葉書づくり
開催日 令和5年3月4日(土)、11日(土)
参加者 計60人
 - ・みほしるべ展示クイズラリー
開催日 企画展開催期間中の日曜日(11日間)
参加者 150人(3月31日まで)



⑤その他展示事業

センターの活用として、民間企業による富士山写真コンテストの受賞作品展示や、NPO法人による三保松原を題材にした絵画や工芸品の展示、SPACの公演と連携したミニ企画展示等を行った。



「第三回名勝三保松原・清見潟展」
主催：NPO法人三保の松原・羽衣村



SPAC連携ミニ企画展示「三保松原と三島由紀夫」
(小林 美沙子)

(2) 松原保全事業

「世界に誇る三保松原の風致景観の基となる松林」「海岸防災林の役割を果たす松林」を保全し後世に伝えるために、リスク軽減事業（マツを病気から守る事業、マツが地域の住民の生活や観光客の安全を脅かすことの無いようにする事業等）、松原再生事業（マツを適切な密度に保つ事業等）を実施した。

① リスク軽減事業

令和4年6月から令和5年5月までに伐倒駆除したマツは233本で、その内マツ材線虫病の被害マツは13本であった。マツ材線虫病の微害化（1haあたりのマツ材線虫病による被害木1本未満）を6年連続で達成した。

被害年度（6～5月）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
枯れマツ本数	266	181	115	307	144	299	358	269	233
マツ材線虫病	199	133	59	33	22	26	20	14	13
その他	67	48	56	274	122	273	338	255	219
マツ材線虫病被害率	5.86	3.92	1.74	0.97	0.65	0.77	0.59	0.42	0.39

羽衣の松・神の道周辺の老齢大木エリアでは、来訪者の踏圧によるマツの根への負担を軽減するための見学ルート制限や、過去の診断結果に基づき、外観診断や簡易内部診断、詳細内部診断を行い、倒伏の危険性などの調査を行った。

② 松原再生事業

マツのデータベース閲覧アプリ「三保まつしらべ」に、リスク軽減事業や土壌改良、間伐の経過観察等の情報を搭載し、松原管理体制の整備を進めた。

令和3年度に設置した圃場で、実生苗の育成を開始した。

③ 三保松原保全研究所との連携

令和元年に設立された「一般財団法人三保松原保全研究所」に、三保松原保全支援業務を委託し、ボランティア対応等松原保全事業を協力して行った。

年度	R1	R2	R3	R4
ボランティア数	3,989	1,291	1,946	4,708

(3) 松原保全研修

① 才の木トークカフェ「松原－美しい景観の保全と防災」

日時：令和4年8月21日(日)

講師：京都大学 准教授 深町加津枝氏

東京大学 教授 蔵治光一郎氏

司会：京都大学 名誉教授 高部圭司氏

参加者：対面 32人 オンライン 90人

主催：NPO法人才の木



トークカフェの様子

② 松原フォーラム「松枯れ対策、新たなステージへ」

日時：令和5年2月19日(日)

講師：京都大学 名誉教授 二井一禎氏

静岡県立農林環境専門職大学短期大学部 講師 星川健史氏

参加者：対面 24人 オンライン 28人

③意見交換会「三保松原の目指す姿」

日時：令和5年2月19日（日）

参加者：21人

（4）その他のイベント

みほしるべの主催事業のほか、地域の団体や民間事業者と連携したイベントを開催した。



意見交換会のグラフィックレコード

①世界遺産登録記念「三保松原感謝祭2023」

開催日：令和4年6月18日(土)、19日(日)

世界遺産登録9周年を記念し、「まつぼっくりのオーナメントづくり」「クイズラリー」等を実施した。

②夏休み宿題相談会

開催日：令和4年7月25日(月)、26日(火) 合計参加者数：40名

三保の歴史や松枯れについて調べたいという児童を対象に、三保地区ボランティアガイドの協力を得て宿題相談会を開催した。

③プチ松原保全研修

開催日とテーマ、参加者数

4月16日 「マツのお花を見てみよう！」(12名) ※土曜市場縮小開催

5月21日 「マツの葉っぱを見てみよう！」(2名) ※土曜市場中止

6月18日 「マツノマダラカミキリを見てみよう！」(15名) ※土曜市場中止

7月16日 「小さな花を見てみよう！」(15名) ※土曜市場中止

9月17日 「松原のキノコを見てみよう！」(24名)

10月15日 「マツノサイセンチュウを見てみよう！」(11名)

11月19日 「まつぼっくりでクリスマス飾りを作ろう！」(14名)

12月17日 「三保松原の松葉と登呂遺跡の稲穂でお正月飾りを作ろう！」(14名)

1月21日 「松葉でペレットを作ってみよう！」(10名)

地域の団体が主催する「みほしるべ土曜市場（市後援事業）」と連携し、保全活動参加者に松原のこと知ってもらうための研修を開催した。

④松原保全の新しい試み

7～2月（一社）三保松原3ringsプロジェクトが、松原保全活動に価値を付加することで、演劇や大道芸などの芸術と掛け合わせたイベントを実施した。

9月10日 NPO法人世界遺産アカデミーが、名勝指定100周年を記念して三保松原で世界遺産検定試験を実施し、プログラム内で行った松葉かきに当日受験者及び過去認定者69名が参加した。

11月13日 1113が語呂合わせで「良い遺産」と読めることから、世界文化遺産を擁する市町が構成する（一社）世界文化遺産地域連携会議で、11月13日付近での遺産の清掃活動が呼びかけられ、全国11ヶ所の世界文化遺産で清掃活動が開催された。三保松原では地域住民と一般市民合わせて約1,000名が集まり、松葉かき・集草を行った。

（山田 祐記子）



2 静岡市文化財保存活用地域計画

(1) 文化財保存活用地域計画とは

『文化財保存活用地域計画』は、文化財を将来に継承するために、文化財の所有者や文化財保護行政分野だけでなく、まちづくりや観光などの行政分野、市民団体等が連携して取り組むための方針や措置を定める計画である。平成30年度に文化財保護法が改正され、市町村による文化財保存活用地域計画の作成、文化庁長官による認定が制度化された。

(2) なぜ作るのか

少子高齢化等の社会状況の変化を背景に各地域の貴重な文化財の滅失・散逸等の防止が緊急の課題となる中、従来価値付けが明確でなかった未指定を含めた有形・無形の文化財をまちづくりに生かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域総がかりで取り組んでいくことのできる体制づくりを整備する必要がある。

静岡市についても、広い市域の中に、指定未指定に関わらず多くの文化財が所在しており、それらの特徴を捉えなおし、地域総がかりで保存・活用するための体制づくりが課題となっている。

地域計画を作成することで、課題を明確にして、今後の方針、措置を組み立てることができるため、令和4年度から令和6年度までの3年間で計画の作成を目指すこととなった。

(3) 令和4年度の実績

令和4年は文化財保存活用地域計画策定懇話会を開催した。専門家・文化財所有者・観光団体・市民代表等、幅広い分野の意見を聴取し、静岡市の歴史資源で注目すべき「モノ」、「コト」について意見交換を行った。

未指定の文化財リストを作成し、約2,000点の未指定文化財をリスト化したほか、静岡市の歴史、文化財の特徴について計画に示した。

(4) 令和5年度以降の作成について

今後は、令和4年度に行った作業を基に、静岡市の文化財の保存と活用に対する課題・方針・措置を計画に落とし込み、市民や団体向けワークショップ、パブリックコメント等を経て、令和6年度の文化庁認定を目指して作成作業を進める予定である。



第1回静岡市文化財保存活用地域計画策定懇話会の様子

(森山 郁真)

3 「駿府九十六ヶ町」町名碑の設置事業

本市では、平成5年度から「駿府九十六ヶ町」の町名碑を設置している。駿府九十六ヶ町は、江戸時代の駿府（静岡市街地）の街を総称したもので、市内に残る駿府九十六ヶ町の町名を顕彰し、町に暮らす人々の誇りを高めると同時に、町を訪れる人々にも「駿府」に対する理解を深めてもらえるよう、この事業に取り組んでいる。

最終年度となる、令和4年度は、47～50基目となる「台所町」「八幡小路町」「上大工町」「四足町」の町名碑を設置した。今回設置した4つの町名の由来は、次のとおりである。

「台所町」：かつて城内の台所門に通じる場所に位置していたことに由来する。

「八幡小路町」：江戸時代の地誌『駿河国新風土記』などによれば、八幡村の八幡神社へ至る道があったことに由来する。

「上大工町」：駿府において古くから大工が集まって住んでいた地域であることに由来する。

「四足町」：古くから駿河国府の四足門があったこと、今川館の四足門があったことなどが由来する。

旧町名の由来からは、近世、駿府城下町に住んでいた人々の暮らしに結びつくものが多く、当時の様子を伺い知ることができる。是非、静岡市中心部に九十六ヶ町町名碑50基を巡ってもらいたい。

（熊谷 すずみ）



台所町町名碑

4 文化財サポーター事業

本市の誇る文化財を守り、将来に継承していくために、文化財の価値を理解し、自ら行動して文化財を守り継承していく人材を「文化財サポーター」として育成し、市の実施する文化財関連事業でサポートいただいている。

(1) 文化財サポーターの活動

令和4年度 活動実績

主な活動

- ・ 小学校等の団体の賤機山古墳見学に対するガイドボランティア
- ・ 駿府城跡発掘調査現場ガイド
- ・ 『家康手植えの蜜柑』の収穫
- ・ 「歴史文化施設プレ展」展示補助
- ・ まちあるき



第3回講座 蒲原宿

令和4年度は昨年度までの文化財サポーター163名に加え、養成講座を修了した6名が新たに加わり、総勢169名の方に文化財サポーターとして登録をいただいている。

本市における文化財の管理や活用に積極的に参画し、「文化財の保存活用のために自分に何ができるか」、「文化財の素晴らしさを多くの市民に伝えるためにはどうすればよいか」を自ら考え、主体的に行動する姿が期待される。

(2) 文化財サポーター養成講座の実施

文化財サポーターに登録するためには、活動のために基礎的な知識を学び、その役割を理解するための講座を修了する必要がある。講座は、文化財保護の基礎知識習得、古文書読解、文化財の修復、地域課題や文化財の持つ課題等に触れ、解決策を自ら考える実習等をテーマに展開している。

〈令和4年度 実施状況〉 受講者数：7名 登録者数：6名

【講座内容】

- 1 「文化財サポーターとは？静岡市の文化財を学ぶ①」～瀬名郷倉～ 日時：令和4年10月15日(土)
- 2 「静岡市の文化財を学ぶ②」～用宗城跡・安養寺～ 日時：令和4年11月6日(日)
- 3 「静岡市の文化財を学ぶ③」～木屋渡邊家～ 日時：令和4年12月3日(土)
- 4 「静岡市の文化財を学ぶ④」～江尻宿～ 日時：令和5年1月29日(日)
- 5 「静岡市の文化財を発信する・講座のまとめ」 日時：令和5年2月4日(土)

会場：静岡市役所新館3F「茶木魚」

実際に現役のサポーターが実施している活動に参加する機会の提供や文化財を保護していくためにできることを考えてもらうといった機会の提供を行うことで文化財を「見る・学ぶ・考える」ことができる人材を育成することを目指した。

(熊谷 すずみ)

5 文化財特別公開事業

静岡市では平成29年度より、国の定める「文化財保護強調週間」（11月1日～11月7日）に合わせ、市民に向けて市内の文化財について周知を行い、補助制度への理解や文化財が抱える課題などに触れていただく機会を提供することを目的として、文化財特別公開事業を実施している。

令和4年度は、公費（補助金）を投じて保存修理・管理事業を行っている文化財や、普段公開を行っていない文化財、所有者が活用を希望している文化財について、令和4年9月3日(土)～12月31日(土)の期間中、下記の13か所で特別公開を行った。

- (1) 久能山東照宮 9月3日(土)～11月27日(日) 来場者 20,761人
文化財：徳川家康関係資料（国指定重要文化財）等
公開内容：徳川家康関係資料等を特別展示

- (2) 臨濟寺 10月15日(土) 来場者 1,200人
文化財：臨濟寺本堂 附玄関（国指定重要文化財）・臨濟寺庭園（国指定名勝）
臨濟寺本堂障壁画（市指定文化財）
公開内容：通常非公開の臨濟寺庭園・本堂・茶室・臨濟寺が所蔵する文化財の公開

- (3) 清見寺 10月16日(日) 来場者 20人
文化財：清見寺庭園（国指定名勝）・清見寺朝鮮通信使関係資料（県指定文化財）
清見寺山門・清見寺書院（市指定文化財）
公開内容：通常非公開の宝物館にて清見寺が所蔵する文化財を特別公開

- (4) 高源寺 10月15日(土)～12月20日(火) 来場者 120人
文化財：高源寺本堂（市指定文化財）
公開内容：高源寺本堂・高源寺が所蔵する梶原関係資料等の公開

- (5) 鈴木家住宅 10月22日(土)・23日(日)、10月30日(日)・11月27日(日)
11月5日(土)・6日(日) 来場者 800人
文化財：鈴木家住宅（国登録有形文化財）
公開内容：通常非公開の鈴木家住宅の内部を特別公開

- (6) 清水灯台 11月3日(祝) 来場者 80人
文化財：清水灯台（国指定重要文化財）
公開内容：通常非公開の清水灯台の内部等を特別公開

- (7) 柴屋寺 11月3日(祝)～11月8日(火) 来場者 100人
文化財：柴屋寺庭園（国指定名勝）
公開内容：柴屋寺庭園等を公開

- (8) **建穂寺観音堂** 11月3日(祝) 来場者 80人
 文化財：木造不動明王立像（昭和31年県指定文化財）、木造不動明王立像（平成11年県指定文化財）、木造伝大日如来坐像（市指定文化財）・木造伝阿弥陀如来坐像（市指定文化財）、木造千手観音立像（市指定文化財）・木造阿弥陀如来坐像（市指定文化財）
 公開内容：通常非公開の木造不動明王立像（県指定文化財）等の仏像を特別公開
- (9) **清水寺** 11月19日(土) 来場者 100人
 文化財：清水寺観音堂（県指定文化財）
 公開内容：通常非公開の清水寺観音堂（県指定文化財）の内部、二十八部衆等を特別公開
- (10) **静岡県埋蔵文化財センター** 11月25日(金)～12月15日(木) 来場者 178人
 文化財：仁田館遺跡出土こけら経（県指定文化財）
 公開内容：通常非公開の仁田館遺跡出土こけら経（県指定文化財）を特別公開
- (11) **江浄寺** 11月27日(日) 来場者 57人
 文化財：木造阿弥陀如来坐像（市指定文化財）
 公開内容：木造阿弥陀如来坐像を特別公開
- (12) **龍華寺** 12月1日(木)～12月31日(土) 来場者 80人
 文化財：龍華寺庭園（市指定文化財）
 公開内容：龍華寺庭園（市指定文化財）等を公開
- (13) **中町秋葉山常夜燈** 12月10日(土) 参加者 30人
 文化財：中町秋葉山常夜燈（市指定文化財）
 公開内容：中町秋葉山常夜燈（市指定文化財）について学ぶ特別講座を開催

(落合 彩夏)



建穂寺観音堂

令和4年度静岡市文化財特別公開 実施状況

6 県指定天然記念物家康手植えの蜜柑活用事業

(1) 家康手植えの蜜柑とは？

「家康手植えの蜜柑」は、「ほんみかん」(紀州みかん)と呼ばれ、鎌倉時代に中国から伝えられたみかんの一種。品種改良をしていないため、香りが強く、小型のみかんで、同じ品種は一般に流通していない。種が多いという特徴がある。静岡地方のみかんの起源を知る上で貴重であるとして、昭和25年3月14日に静岡県指定天然記念物として指定された。

言い伝えによると、大御所徳川家康公が、駿府御座城の折、紀州(現在の和歌山県、当時の藩主は浅野氏)から献上された鉢植えみかんを、駿府城の天守台辺りに自ら植えたものと言われている。

(2) 家康手植えの蜜柑の収穫

毎年12月上旬になると、蜜柑の樹木には、5,000個～6,000個程度の果実がなる。本市では、家康にゆかりがある蜜柑を通して、静岡市の歴史文化を学ぶきっかけを提供するため、市内の親子や小学校を対象に、収穫作業の手伝いをお願いしている。また、文化財を保護・発信していく人材としての文化財サポーターも収穫作業に参加し、1日をかけて収穫を実施している。

収穫した蜜柑は、市民に配布するほか、活用する事業者を募集し、一部を商品化している。



家康手植えの蜜柑全景



収穫の様子

(3) 家康手植えの蜜柑の活用

事業者による「家康手植えの蜜柑」を活用した商品の販売を通じて、民間の発信力を活用して、静岡市の歴史文化の奥深さや魅力、「家康手植えの蜜柑」の文化財としての価値を広めていくことを目指し、平成30年度から継続して活用事業者を募集している。

平成30年度・令和元年度は、白形伝四郎商店が『蜜柑のドレッシング』や『蜜柑くずもち』を商品化している。令和2年度は、『Conche』・『コンフィチュール工房ロサ・マリー』・『マルヒデ岩崎製茶』の3者が商品化を実施し、手植え蜜柑をドライフルーツにして、チョコレートをかかけた商品や蜜柑を使用したコンフィチュール、蜜柑の塩麴が製造された。令和3年度は、継続して『コンフィチュール工房ロサ・マリー』が商品化を実施。

令和4年度は、5者が商品化を行った。製造された商品は下記のとおりである。

『Conche』	ドライフルーツチョコレートがけ
『小柳津清一商品』	ふんわり鞠福
『コンフィチュール工房ロサ・マリー』	コンフィチュール、マーマレード
『中島屋ホテルズ』	みかんソルト
『マルヤス青果』	ジェラート



(熊谷 すずみ)

7 大神楽祭2023

(1) 大神楽祭について

静岡市の山間地各地には、各地に特色のある神楽があり、「静岡県中部地方の神楽」として、平成26年3月に「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択された。地元保存会などの方々の努力により、伝統的に受け継がれてきた神楽が「芸能の聖地 静岡浅間神社」に一堂に会し、それぞれ個性のある舞を披露する祭典が大神楽祭である。

大神楽祭は平成28年度から令和元年度まで毎年開催されていたが、コロナウイルス感染症の影響で中断しており、今回は4年ぶり5度目の開催となった。

(2) 静岡県中部地方の神楽

静岡県中部を流れる安倍川、瀬戸川、大井川流域の山間部に伝承されている神楽を総称して「静岡県中部地方の神楽」といい、現在では県内約30か所で伝承されている。これらは音楽などに共通する特色を持つものである。

(3) 開催内容

日 程：令和5年2月18日(土)

時 間：13:00～17:00

会 場：静岡浅間神社 舞殿

来場者数：約2,000人

出演団体：井川神楽保存会、梅ヶ島新田神楽保存会、清澤神楽保存会、横沢神楽保存会

演 目：1 湯立神事（静岡浅間神社・井川神社） 2 湯の舞（清澤神楽保存会） 3 高嶺の舞（梅ヶ島新田神楽保存会） 4 三宝の舞（井川神楽保存会） 5 天の鉦女の命の舞（横沢神楽保存会） 6 チキドン（梅ヶ島新田神楽保存会） 7 弓の舞（横沢神楽保存会） 8 八幡の舞（清澤神楽保存会） 9 須佐之男の舞（清澤神楽保存会）

(4) 反響

大神楽祭の開催が4年ぶりとなったが、令和元年の開催時と同様に多くの観客でにぎわった。107名から回答を得たアンケートでは、全員が今後も「大神楽祭」の開催を希望すると答えるなど、伝統芸能に対する観客の関心と評価が高いことを再認識する機会となった。

今後は、大神楽祭に参加したことのない保存団体に声がけをするなどして、より多くの伝承者が舞台上で躍動する機会を設けたい。

(5) 民俗文化財の後継者育成

大神楽祭への出演以外にも、自主公演やイベントへの参加など、各団体が工夫や努力をして、神楽を継承している。各団体が公開の場を広げ、自主的な活動の活性化へと繋がるよう、本市では今後も「地域文化の保護・活用」の取組みとして継続的に「無形民俗文化財の公開事業」を開催していく予定である。

（森山 郁真）

(6) 当日の写真

静岡浅間神社権宮司による湯立神事で場を清めます。



清澤神楽保存会による湯の舞



横沢神楽保存会による弓の舞



梅ヶ島新田神楽保存会による高嶺の舞



井川神楽保存会による三宝の舞



横沢神楽保存会による高嶺の舞



清澤神楽保存会による須佐之男の舞



会場を盛り上げた梅ヶ島神楽新田保存会によるチキドン



静岡市文化財サポーターの協力のもと会場運営を行いました。

8 静岡市文化財展

文化財課では、市内にある文化財の保護に関わる様々な事業を実施している。当該年度は、令和3年度に実施した事業の成果を中心に、静岡市文化財展として埋蔵文化財発掘調査や新指定文化財を紹介する展示を行った。期間中には、遺跡についてより深く知ってもらうためにギャラリートーク・発掘調査報告会を開催し、文化財に対する理解の促進を図った。その他、幅広い種類の文化財を紹介するため、埋蔵文化財資料に加え静岡市で収集している民俗資料を「麻を織る～古代から現代まで～」をテーマに展示した。

(1) 主な展示項目

- ①埋蔵文化財発掘調査：村下遺跡、史跡小島陣屋跡、豊田遺跡
- ②市内遺跡出土遺物の保存処理：宗小路古墳群
- ③新指定・新登録の文化財：静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞楽、丁子屋店舗
- ④文化財の調査・顕彰事業：文化財特別公開、文化財サポーター講座

(2) 開催場所、開催期間、観覧者数等

- ①静岡市埋蔵文化財センター
令和4年8月1日(月)～令和4年8月31日(水)
観覧者 63人
- ②静岡市登呂博物館（1階情報・映像コーナー）
令和4年9月13日(火)～令和4年10月14日(金)
観覧者 169人
- ③由比文化財管理センター
令和4年10月29日(土)、30日(日)
観覧者数 48人
- ④静岡市立中央図書館
令和4年11月4日(金)～令和4年11月23日(火)
観覧者数 121人
- ⑤静岡駅北口地下広場（しずチカ）
令和4年11月4日(金)～令和4年11月23日(火)
観覧者数 139人



ポスター

(松原 草太)



展示と見学者（由比文化財管理センター）



展示のようす（静岡駅北口地下広場）

9 埋蔵文化財センター事業

(1) 発掘調査報告書の作成

①神明遺跡・上嶺遺跡・神明山5号墳：平成16～17年度調査

原稿執筆、遺物の実測・トレース、遺構・遺物図面の版組、遺物写真撮影、観察表作成、編集などを行い、報告書を刊行した。

②駿府城内遺跡（市民ホール地点）：昭和62年度調査

木製品の実測と、陶磁器・瓦・金属製品のトレース作業を実施した。

③駿府城内遺跡（鷹匠一丁目地点、西草深町地点）

遺構図のトレース及び遺物の実測・トレース、観察表・遺物数量表の作成を行った。

④市内遺跡群

ケイセイ遺跡、小鹿古墳群、小池遺跡など、遺構図のトレース及び遺物の実測・トレースを行った。

(2) 保存処理

由比文化財管理センターで保管する出土遺物のうち、駿河区有東遺跡第16次調査で出土した木棺の保存処理を、静岡文化財研究所に委託して実施した。なお、保存処理の完了した木棺は、登呂博物館の特別展「静岡に眠る弥生時代の開拓者」のメイン展示品として使用した。

(3) 入館者

年間を通じて、2,168人の入館者があった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	63	45	320	57	117	37	46	61	99	76	1,061	186	2,168

(4) 企画展示

①展示一覧

展示名	開催期間	入場者数
企画展1 「古墳じゃない昔のお墓って？」	令和4年6月1日から7月17日まで	358人
企画展2 「静岡市文化財展」	令和4年8月1日から8月31日まで	117人
企画展3 「イハラの古墳がおもしろい！ ～庵原川流域の古墳文化の魅力に迫る～」	令和4年12月1日から 令和5年1月31日まで	175人
企画展4 「一万石大名の姿 ～変わりゆく史跡小島陣屋跡～」	令和5年2月10日から3月31日まで	243人

②展示の概要

企画展1 「古墳じゃない昔のお墓って？」

令和4年度の登呂博物館特別展に向けたプレ展示として企画した。

先史・古代から、人々は死に対して様々な思いを込めて墓を作り、埋葬してきた。現在、昔の墓として思い浮かぶ「古墳」には、当時の階層的な社会が反映されている。こうした「古墳」が作られるのは3世紀後半から7世紀にかけてであるが、では、その他の時代にはいったいどのような墓が作られていたのか。有東遺跡の木棺墓、鷹ノ道遺跡の方形周溝墓群、浅間神社境内遺跡の土壘墓など、静岡市の

発掘調査例をもとに、古墳時代以前の墓の形態の移り変わりについて解説。そこから分かる当時の人々の社会生活や思想の変化について、考えるきっかけになればと企画した。

企画展2 「静岡市文化財展」

令和3年度に実施した文化財保護活動の成果を報告する企画展である。

発掘調査の成果として村下遺跡、豊田遺跡、小島陣屋跡の出土遺物を展示。保存処理の成果として、室ヶ谷19号墳の処理後の遺物（金属製品）を公開した。

また、国指定重要無形民俗文化財である「稚児舞楽」と登録有形文化財である「丁子屋店舗」について、写真とともにパネルで解説。秋に実施した文化財特別公開と文化財サポーター入門講座の様子についても紹介した。

企画展3 「イハラの古墳がおもしろい！ ～庵原川流域の古墳文化の魅力に迫る～」

庵原川流域は、3世紀後半から、神明山1号墳、午王堂山3号墳などの大型古墳が築かれ、東日本でいち早く古墳時代の到来を迎えた地域である。その後も、巨大な竪穴式石室を持つ三池平古墳や、古墳時代後期になっても、豊富な副葬品を持つ円墳がいくつか築かれ、また、それに関わる有力な集落遺跡も営まれている。

本企画では、庵原川流域の古墳文化について「墓」「住」「祭」「生産」をテーマとして展示を構成。鏡や剣、玉など、豪華な副葬品はもとより、周辺地域をまとめる中心地として発展した「庵原」という地域の特殊性に、驚く来館者も多かった。

企画展4 「一万石大名の姿 ～変わりゆく史跡小島陣屋跡～」

小島陣屋は、宝永元年（1704）に築かれた、小島藩の藩主瀧脇松平氏の居所である。陣屋としては珍しく石垣を多用した城郭風のつくりをしており、また、御殿の一部が現存するなどその歴史的価値が認められ、平成18年に国の史跡に指定された。

静岡市文化財課では、その保存と活用を目的に発掘調査や史跡整備事業を進めてきたが、令和4年度の御殿書院の解体移築の開始を受け、周知の意味も込めて本展示を企画した。発掘調査の成果として、陶磁器や瓦などの出土品を展示。城ブームを追い風に、「小さなお城」である「陣屋」に関心が寄せられ、地元だけでなく遠方からの来館者も見られた。

（望月 和美）



方形周溝墓群（鷹ノ道遺跡）



第4回企画展 展示状況

10 国指定史跡賤機山古墳の公開・活用

国指定史跡賤機山古墳では、団体見学（小学校の社会科見学等）の際に、職員や文化財サポーター（ガイドボランティア）による見学ガイドを実施している。説明は古墳の概要、石室内部の構造、家形石棺や歴史的背景などについて、小学生にもわかりやすく行っている。また、見学に際しては、静岡浅間神社とも連携し、本市の歴史・文化を幅広く伝えている。令和4年度には40団体、2,508人が賤機山古墳を見学した。（松原 草太）

No.	月日	団体名	人数
1	R 4 . 4 .28	玉川小中	5
2	R 4 . 5 .10	大谷小	69
3	R 4 . 5 .13	駒形小	29
4	R 4 . 5 .25	千代田東小	100
5	R 4 . 5 .27	井宮北小	67
6	R 4 . 6 .1	伝馬町小	62
7	R 4 . 6 .3	清水小	33
8	R 4 . 6 .8	森下小	55
9	R 4 . 6 .9	清水入江小	118
10	R 4 . 6 .10	島田市立初倉小	61
11	R 4 . 6 .14	西奈小	127
12	R 4 . 6 .15	安西小	57
13	R 4 . 6 .16	蒲原西小	27
14	R 4 . 6 .17	横内小	110
15	R 4 . 6 .17	南藁科小	17
16	R 4 . 6 .17	清水飯田東小	74
17	R 4 . 6 .21	清水船越小	99
18	R 4 . 6 .21	賤機北小	2
19	R 4 . 6 .21	清水高部東小	92
20	R 4 . 6 .23	足久保小	31

No.	月日	団体名	人数
21	R 4 . 6 .23	小河内小、宍原小、小島小	37
22	R 4 . 6 .23	田町小	47
23	R 4 . 6 .23	島田市立六合小	103
24	R 4 . 6 .28	庵原小	75
25	R 4 . 6 .28	安倍口小	25
26	R 4 . 6 .29	新通小	45
27	R 4 . 6 .30	北沼上小	8
28	R 4 . 6 .30	井宮小	85
29	R 4 . 7 .5	清水駒越小	54
30	R 4 . 7 .6	清水興津小	90
31	R 4 . 7 .8	藤枝市立大洲小	85
32	R 4 . 7 .12	西奈南小	60
33	R 4 . 7 .12	清水高部小	58
34	R 4 . 7 .13	宮竹小	85
35	R 4 . 7 .14	西奈南小	60
36	R 4 . 9 .2	藤枝市立青島小	200
37	R 4 . 9 .16	清水江尻小	50
38	R 4 .10.17	鋼の会	5
39	R 4 .11.22	南部小	61
40	R 4 .12.14	山梨県立考古博物館協会	40



解説の様子



石室見学の様子

11 遺跡公開・現地説明

遺跡の現地公開は、過去の人々が残した生活の痕跡について臨場感をもって見ることができる数少ない機会であるため、静岡市が行っている発掘調査事業においても、可能な限り現地説明会を開催して調査成果の公開に努めている。

令和4年度は曲金C遺跡の発掘調査現場で現地説明会を開催した。

曲金C遺跡発掘調査現場

開催日 令和5年2月25日(土) 10:30～14:30

(全体説明は10:30～と13:00～の2回実施)

場所 曲金C遺跡発掘調査現場(葵区曲金二丁目地内)

内容 (1) 発掘調査の終了に伴い、現地を一般に公開し、調査成果の説明を行った。
(2) 出土遺物、調査状況写真パネルを現場プレハブ内で展示、公開した。

参加者数 208人(午前133人、午後75人)

(松原 草太)



全体説明の実施風景①



全体説明の実施風景②



出土遺物の展示・見学の様子①



出土遺物展示・見学の様子②

12 国指定史跡小島陣屋跡整備事業

史跡小島陣屋跡整備事業では、江戸時代の幕藩体制の一環を示す陣屋の在り方を伝承する歴史公園として、史跡の保存、維持管理及び整備・活用を図っている。

令和4年度は、国道52号沿いに移築されていた御殿（藩主が政治と生活をした建物）の一部・書院を小島陣屋跡の原位置に移築復原するための解体工事と、史跡小島陣屋跡の主郭を中心に造成等を行う整備工事を実施した。合わせて、史跡外に新たに駐車場（全体の下半分）を整備した。

（1）「御殿の書院」（静岡市指定有形文化財「小島藩御殿建物」）移築復原工事

宝永元年（1704）小島陣屋に建立された御殿の一部である書院は、廃藩後、陣屋跡に設立された小島小学校の校舎として使われた。さらに昭和3年に小学校移転のため、小島町内の国道52号沿いに移築され、公会堂として使用されていた。

令和4年度は、書院の解体工事に伴う調査を行った。

解体調査とは、実際に建物の壁や柱などの部材を解体しながら、そこに残された痕跡を確認するものである。今回の調査の結果、幕末期の書院は建物西側（国道移築後の方位）に、便所があったことが判明した。柱の痕跡から3つに区画されていたことが推定できるが、細かい構造についての断定は難しい。

また、部材の痕跡から、建物東側に玄関があったことも判明した。梁の埋木のように切られた当初柱の貫のみが残っており、その貫には建立時に書かれたと考えられる当初番付が残っている。

番付とは、建物を組むために部材につけた印で、今回の解体調査では3種類の番付が確認された。

まず一つ目は、黒墨で数字と記号を組み合わせたもので、建立時の番付と考えられる。筆で書かれたもの（棟梁が使用したもの）とその他の大工が使った墨差すみさしがある。

次に、黒墨で、ひらがなで書かれたものである。一度部材の表面を削り平らにしてから書かれており、移築時または改築時の番付と考えられる。最後に、朱墨で書かれたもので、こちらも移築時または改築時の番付と考えられる。

書院の移築復原工事は今後も継続して行い、令和5年度は史跡内での移築復原工事を実施する。



- ①創建時の番付（黒墨・数字と記号）
- ②移築時または改築時の番付（黒墨・ひらがな）
- ③移築時または改築時の番付（朱墨）



解体調査実施状況

(2) 史跡整備工事

史跡小島陣屋跡については、これまでの発掘調査で御殿の書院・宝蔵・主郭石段・大手石段などの遺構が確認されている。

整備事業ではこれらの遺構の保護と、活用を行うために盛土造成を行い、建物の平面表示や、主郭石段・大手石段などの遺構復元、多目的広場の整備を行う計画である。

令和4年度は、主郭周辺を中心に整備工事を行った。

まず、史跡内に所在するサイン、水栓柱、石積み等について撤去工事を行った。

また、主郭周辺について、遺構保護を目的に、30cm程度の盛土造成を実施した。

主郭石垣の際は、来訪者の落下防止のために45cm程度盛土を行い、芝張りやサツキツツジの植栽を行った。

その他、ベンチの据付や、史跡内の井戸跡について、既設の井戸蓋の撤去を行い、縁石・新規蓋の設置を行った。

今後は、令和4年台風15号の影響で崩落した東側急傾斜地の復旧を進め、順次、史跡本体の整備工事に着手する予定である。



井戸跡整備状況



主郭盛土造成状況

(3) 駐車場整備工事

駐車場については、上下段に分けて整備を計画している。令和4年度は、上段の造成工事と、下段の駐車場整備工事を実施した。令和5年3月に工事が完了し、下段のみ供用を開始した。

今後は上段の駐車場整備と、便益施設（トイレ）の建設を予定している。

(武内 麻里子・毛利 舞香)



駐車場（下段）整備状況

V 受贈図書一覧

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日	
北海道	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第373集 幸連 4 遺跡 第1分冊:本文編1 第2分冊:本文編2 第3分冊:写真図版編	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	2023.3.24	
	第374集 札苺 7 遺跡(2)		2023.3.24	
	第375集 幸連 5 遺跡 第1分冊:概要・遺構(西側)編 第2分冊:遺構(東側)編 第3分冊:遺物(土器)編 第4分冊:遺物(石器)編 第5分冊:遺物(骨格器等・動植物遺存体)・文責・総括編 第6分冊:写真図版遺構編 第7分冊:写真図版遺物編		2023.3.24	
	調査年報35 令和4年度		2023.3.15	
	札幌市埋蔵文化財包蔵分布図 令和3年9月		2021.9	
	丘珠縄文遺跡年報3 -2020年度活動報告-		2022.3.11	
	市内遺跡発掘調査報告書14 令和3年度調査報告書		2022.3.18	
	札幌市文化財調査報告書 109 K556遺跡 K557遺跡		2022.3.27	
	サイベ沢遺跡(3)		函館市教育委員会	2023.2.28
	史跡津軽氏城跡(弘前城跡) 弘前城本丸石垣発掘調査報告書		弘前市都市整備部公園緑地課弘前城整備活用推進室	2022.3.22
史跡大森勝山遺跡発掘調査報告書 -史跡整備事業に伴う遺構確認調査-	弘前市教育委員会	2022.3.24		
弘前市内遺跡発掘調査報告書26 令和3年度		2022.3.24		
八戸市埋蔵文化財調査報告書 第179集 八戸城跡第48地点	八戸市教育委員会	2022.3.15		
第180集 八戸市内遺跡発掘調査報告書45		2022.3.25		
第181集 史跡は川石器時代遺跡	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	2022.3.25		
掘り day はちのへ 第25号		2022.6.17		
年報 -令和3年度-	2022.6.30			
つがる市遺跡調査報告書 13 竹鼻(3)遺跡II	つがる市教育委員会	2022.3.29		
北海道・北東北の縄文遺跡群 世界遺産登録記念誌	縄文遺跡群世界遺産本部	2023.3.10		
玉文化 第17号	日本玉文化研究会	2020.3.31		
国史跡山王崩遺跡の研究Ⅲ 土器編Ⅰ(西区Ⅲ層・Ⅳ上層出土土器編)	弘前大学人文社会科学部 北日本考古学センター	2022.3.30		
令和4年度 秋田市遺跡確認調査報告書	秋田市教育委員会	2023.3.24		
久保田城跡		2022.4.28		
岩手県文化財調査報告書 第164集 岩手県内遺跡発掘調査報告書(令和2年度)	岩手県教育委員会	2022.3.24		
第165集 岩手県内遺跡発掘調査報告書 (東日本大震災津波の復興事業に係る埋蔵文化財調査の総括報告)		2022.3.28		
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第734集 二子城跡発掘調査報告書	公益財団法人岩手県文化振興事業団	2022.3.11		
第735集 令和3年度発掘調査報告書 館遺跡 樺沢Ⅱ遺跡 大谷地Ⅲ遺跡		2022.3.11		
紀要 第41号	岩手県立埋蔵文化財センター	2022.3.25		
わらびて 146号		2022.6.30		
147号	2023.2.28			
岩手県奥州市埋蔵文化財調査報告書 第41集 市内遺跡発掘調査報告書 林前南館跡第25次(平成20年度) 杉の堂遺跡第32次(平成22年度)	奥州市教育委員会	2021.3.31		
第42集 長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 -第18次調査-	二戸市埋蔵文化財センター	2021.3.31		
第43集 長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 -第19次調査-		2021.3.31		
二戸市埋蔵文化財センター調査報告書 第34集 駒焼場遺跡	二戸市埋蔵文化財センター	2022.3.25		
第35集 中曽根遺跡		2022.3.25		
山形県埋蔵文化財センター調査報告書 第246集 杉沢C遺跡第1・2次発掘調査報告書	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター	2023.3.31		
歴史遺産研究 第16号	東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科	2022.3.22		
多賀城関連遺跡発掘調査報告書 第38冊 大吉山瓦窯跡Ⅱ	宮城県多賀城跡調査研究所	2023.3.24		
宮城県多賀城跡調査研究所年報2022 多賀城跡 -第96・97調査-		2023.3.28		
仙台市文化財調査報告書 第496集 日向遺跡第1次発掘調査報告書	仙台市教育委員会	2022.4.7		
第497集 仙台平野の遺跡群32		2022.4.7		
第498集 穴田東窯跡ほか発掘調査報告書		2022.4.11		
第499集 郡山遺跡42 -令和3年度発掘調査概報 郡山遺跡・陸国分寺跡-		2022.3.31		
第500集 仙台城跡17 -令和3年度調査報告書-		2022.4.7		
第501集 文化財年報43 令和3年度		2022.9		
第502集 高江遺跡第1次発掘調査		2022.12.26		
第503集 大野田古墳群第25次調査		2023.3.17		
第504集 富沢遺跡 -第157次発掘調査報告書-		2023.3.15		
文化財せんだい No.133		2022.7		
No.134	2022.11			
No.135	2023.3			
多賀城市文化財調査報告書 第150集 山王遺跡第214次調査報告書	多賀城市教育委員会	2022.3.28		
第151集 市川橋遺跡第96次調査発掘調査報告書 -伏石地区の調査成果-		2022.3.26		
第152集 多賀城市内の遺跡2 -令和3年度ほか発掘調査報告書-		2022.3.26		
第156集 山王遺跡 -第223次調査報告書-		2022.3.29		
第157集 多賀城地区は場整備事業に係る発掘調査報告書 第1分冊 第2分冊 第3分冊		2023.2.17		

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日
福島	福島県文化財調査報告書 第554集 梅川筋改修事業遺跡発掘調査報告 1 大毛内 B 遺跡	福島県教育委員会 福島県土木部	2022.3.25
	第561集 東日本大震災復興関連遺跡調査報告 9	福島県教育委員会	2023.3.8
	会津若松市文化財調査報告書 第170号 高野地区発掘調査報告書 I 上高野村内遺跡	会津若松市教育委員会	2022.3.29
	第171号 若松城天寧寺町外堀跡	株式会社フロンティア 会津若松市教育委員会	2022.4.28
	白河市埋蔵文化財調査報告書 第86集 小峰城跡発掘調査報告書	白河市	2022.3.31
新潟	史跡佐渡金銀山遺跡追加指定記念企画展「新穂銀山の時代」 新穂銀山の時代」展・講演会 資料集	佐渡市(世界遺産推進課)	2022.7.8 2022.12.28
	新潟市文化財調査概要 令和3年度	新潟市教育委員会	2022.8
	新潟市文化財センター年報 第9号 ー令和2(2020)年度版ー	新潟市文化財センター	2022.3.25
	市内遺跡発掘調査概要報告書	上越市教育委員会	2022.3.11
	佐渡市埋蔵文化財調査報告書 第31集 佐渡市内遺跡発掘調査報告X 令和3年度の調査	佐渡市観光振興部世界遺産推進課 佐渡市教育委員会	2023.3.10
	島崎川流遺跡調査団報告 第2集 新潟大学考古学研究室調査研究報告21 上桐の神社裏遺跡2 赤坂遺跡1	島崎川流域遺跡調査団	2022.3.23
	とやま発掘だより ー令和三年度発掘調査速報ー 令和3年度埋蔵文化財年報	公益財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査課	2022.3.18 2022.6.30
富山	富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告 第79集 南太閤山 I 遺跡発掘調査報告		2023.3.17
	富山市埋蔵文化財調査報告 108 富山市黒崎種田遺跡発掘調査報告書	富山市教育委員会	2022.6.30
	109 富山市水橋金広・中馬場遺跡発掘調査報告書		2023.3.24
	110 富山市内遺跡発掘調査概要23 ー北代遺跡 呉羽富田町遺跡ー		2023.3.31
	令和4年度所報 富山市の遺跡物語 No.24	富山市教育委員会埋蔵文化財センター	2023.3.31
	富山市考古資料館紀要 第42号	富山市考古資料館	2023.3.24
	高岡市埋蔵文化財調査概報 第82冊 高岡市市内遺跡調査概報31 ー令和2年度出来田南遺跡の発掘調査報告他ー	高岡市教育委員会	2022.3.25
石川	金沢城跡二ノ丸御殿埋蔵文化財確認調査 調査概要2(2021年度)	石川県土木部公園緑地課 石川県金沢城調査研究所	2021.12
	山代イチマイヨリ遺跡		2022.3.22
	千野遺跡		2022.3.22
	大領遺跡		2022.3.22
	加茂遺跡IV		2022.3.22
	八日市地方遺跡2	石川県教育委員会 公益財団法人石川県埋蔵文化財センター	2022.3.22
	北吉田ノシロタ遺跡II		2022.3.22
	古宮遺跡		2022.3.22
	大菅波コショウズワリ遺跡		2022.3.22
	梅田B遺跡IV		2022.3.22
	年報23(令和2年度)		2022.3.22
	石川県埋蔵文化財情報 第45号		2021.9.30
	第46号	公益財団法人石川県埋蔵文化財センター	2022.3.29
	いしかわの遺跡 No.70		2022.7.20
	No.71		2022.12.23
	No.72		2023.3.16
	金沢市文化財紀要 328 金沢城下町遺跡(袋町2番地点)		2021.3.31
	329 長町三丁目遺跡		2021.3.31
	330 大友E遺跡		2021.3.31
	331 大友A遺跡・直江西遺跡		2021.3.31
	333 金沢城下町遺跡(飛梅町3番地点)III	金沢市	2021.3.31
	334 市内遺跡発掘調査報告書V		2021.3.31
	335 金沢城下町遺跡(安江町地区)		2022.2.10
	336 専光寺養魚場遺跡発掘調査報告書II		2022.3.31
	339 金沢城下町遺跡(尾張町一丁目1番地点)		2022.3.31
	341 金沢城下町遺跡(橋場町2番地点)		2022.3.31
	金沢城調査研究の20年		2021.10.23
	石川県金沢城調査研究所設立20周年記念 金沢城シンポジウム 「金沢城調査研究20年の歩とこれから」		2021.10.23
	金沢城研究 第20号		2022.3
	金沢城調査研究所年報15(令和3年度)		2022.6
	金沢城調査研究パンフレット No.20 金沢城を探る 切石積石垣の発展	石川県金沢城調査研究所	2022.7
	金沢城史料叢書 42 金沢城跡切石積石垣確認調査報告書		2022.3.31
	43 金沢城跡石垣保存実態調査報告書II		2022.3.31
44 石川県金沢城調査研究所設立20周年記念 「金沢城出土品図録ーモノからみた金沢城ー」		2022.3.31	
金沢城総合年表 後編		2022.3.31	
河田山古墳群		2020.6.30	
小松市内遺跡発掘調査報告書XVII 漆町遺跡金屋地区	小松市(小松市埋蔵文化財センター)	2022.3.31	
小松市内遺跡発掘調査報告書XVIII 加賀国府・国分寺関連遺跡確認概要報告書		2023.2.3	
河田山古墳群 上八里遺跡群		2022.3.31	
本市上野遺跡第1地点発掘調査報告書	輪島市教育委員会	2022.3.31	
気屋遺跡	かほく市教育委員会	2023.3.31	

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日
福井	福井県埋蔵文化財調査報告 第181集 長崎遺跡	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター	2023.3.10
	第182集 徳光大島遺跡		2023.3.10
	第183集 上河北江原町遺跡		2023.3.10
	第184集 史跡白山平泉寺旧境内		2023.3.10
	第185集 沓見遺跡		2023.3.10
	年報37 - 令和3年度 -		2023.3.10
	福井城跡X X V 河増遺跡 2		福井市教育委員会
栃木	栃木県埋蔵文化財センターだより 2021年12月	栃木県教育委員会	2022.3.1
	栃木県埋蔵文化財調査報告 第405集 四十八塚古墳群	栃木県教育委員会 公益財団法人とちぎ未来づくり財団	2021.6.30
	第406集 栃木県埋蔵文化財保護行政年報44 令和2(2020)年度	栃木県教育委員会	2022.3.30
	第407集 谷津入窯跡群・カスガ入窯跡群・西山窯跡 - 重要遺跡等現況範囲確認調査 -	栃木県教育委員会 公益財団法人とちぎ未来づくり財団	2021.6.30
	第408集 荒井館跡 水口龍泉寺跡 船山遺跡	栃木県教育委員会 大田原市教育委員会 公益財団法人とちぎ未来づくり財団	2022.3.30
	第409集 粟宮宮内遺跡	栃木県教育委員会 公益財団法人とちぎ未来づくり財団	2022.3.30
	研究紀要 第30号 遺跡の発掘と活用の記録 - 令和3年度埋蔵文化財センター年報 第32号 - 埋蔵文化財年報41 令和3年度	公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター	2022.3.30 2022.7.29
茨城	研究ノート 第19号	公益財団法人茨城県教育財団	2022.6.30 2022.7.7
	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第709集 下里見天神前遺跡	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	2023.2.3
第710集 貝野瀬堀ノ内遺跡	2022.8.12		
第711集 世良田環濠集落遺跡(3)	2022.10.19		
第712集 綿貫原北遺跡 綿貫原遺跡 綿貫原前遺跡 綿貫三反割遺跡 綿貫反町遺跡	2022.10.24		
第713集 福島下町・屋敷下遺跡	群馬県富士木事務所 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	2022.11.22	
第714集 前橋市0107遺跡(2)	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	2022.12.19	
第715集 木部下久保田遺跡 山名赤沼遺跡		2022.12.23	
第716集 厚田中村遺跡(2)		2023.3.2	
第717集 上江黒遺跡		2023.3.17	
第718集 下芝上田屋遺跡 上芝西龍之宮遺跡		2023.3.14	
第719集 山名土合遺跡 根小屋赤沼遺跡		2023.3.16	
第720集 植栗中原遺跡 小瀬沢 B 遺跡		2023.3.17	
第721集 石橋地蔵久保遺跡(2)		2023.3.22	
第722集 本郷上ノ台遺跡・本郷満行原遺跡・本郷広神遺跡・本郷西谷津遺跡・ 本郷大萱遺跡・本郷鶴窪遺跡・本郷スガ原遺跡・本郷鳴上遺跡 - 第1分冊・本文編1 - - 第2分冊・本文編2 - - 第3分冊・写真図版編 -		2023.3.17	
第723集 本郷鶴楽遺跡 第1分冊・本文編1 第2分冊・本文編2 第3分冊・写真図版編 第4分冊・土坑・ヒット一覧表・遺物観察表		2023.3.20	
第724集 阿左美遺跡		2023.3.23	
第725集 植栗山根 A 遺跡		2023.3.24	
群馬		高崎市文化財調査報告書 第355集 剣崎上小路遺跡	高崎市教育委員会
	第358集 八幡館遺跡	2015.9.30	
	第413集 石神千保遺跡	2016.9.30	
	第414集 中里押出遺跡	2017.1.21	
	第416集 中泉十王堂遺跡 2	2019.7.31	
	第436集 上中居辻薬師遺跡 4	2018.11.30	
	第437集 上中居西屋敷遺跡 5	2019.2.28	
	第462集 本郷久保田遺跡	2019.10.31	
	第463集 高関東沖遺跡 4	2021.9.30	
	第466集 柏木沢中沢遺跡	2021.1.31	
	第469集 金古南十三町遺跡	2020.9.30	
	第470集 中泉十王堂遺跡 4	2021.10.1	
	第473集 令和3年度 市内遺跡 確認・試掘調査緊急発掘調査報告書	2022.3.25	
	第474集 菅谷遺跡群 2	2022.3.25	
	第475集 中居町一丁目遺跡 5	2022.6.30	
	第476集 萩原・沖中遺跡 9	2022.7.28	
	第480集 下大類芹沢遺跡 2	2022.12.28	
	第482集 萩原沖中遺跡10	2023.3.31	
	高崎市文化財保護年報 - 令和3(2021)年度 -	2022.10	
	東今泉鹿島遺跡 鹿島浦遺跡 推定東山道駅路南ルート	有限会社毛野考古学研究所	2021.5.31
	東今泉鹿島遺跡第2次		2021.7.31
	東今泉鹿島遺跡第3次		2021.10.29
	国衛中割遺跡	安中市教育委員会	2018.3.31
西台 I・II 遺跡	2022.3.22		
安中城IV	2022.3.22		
蔵人城跡	安中市教育委員会 株式会社クリーンエネルギー研究所 株式会社測研	2022.3.22	

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日
群馬	上野国府等範囲内容確認調査報告書 X 推定上野国府 ～令和2年度調査報告～		2022.3.18
	元総社蒼海遺跡群(133)	前橋市教育委員会	2022.3.18
	元総社蒼海遺跡群(142)		2022.2.28
	茂木諏訪東遺跡		2022.3.25
	二之宮八王子古墳		2022.3.25
	横沢柴咲遺跡		2022.6.30
	太田市内遺跡17	太田市教育委員会	2022.3.18
荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書12	下仁田町教育委員会	2022.3.31	
埼玉	特別史跡埼玉古墳群 二子山古墳発掘調査報告書	埼玉県教育委員会	2023.3.17
	特別史跡埼玉古墳群 丸墓山古墳・奥の山古墳整備事業報告書		2023.3.20
	研究紀要 第36号		2022.3.17
	北大竹遺跡		2022.3.17
	さいたま埋文リポート 2022 年報42	公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団	2022.8.31
	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第479集 栗橋宿西本陣跡Ⅰ(第1分冊)(第2分冊)(第3分冊)(第4分冊)		2023.2.20
	さいたま市内遺跡発掘調査報告書 第21集 南1号遺跡(第2次調査) 根切遺跡(第14次調査)		2022.3.25
	さいたま市遺跡調査会報告書 第218集 白鍬宮腰遺跡(第17次)	さいたま市教育委員会	2022.1.31
	第219集 今宮2号遺跡(第15次)		2022.1.31
	第220集 大間木内谷遺跡(第34区)		2022.1.31
	第221集 中野田堀ノ内遺跡(第9次) 中野田島ノ前遺跡(第7次)		2022.3.22
	第222集 別所遺跡(第13次)		2022.3.31
	第223集 本奈遺跡(第13次)		2022.4.27
	第224集 白鍬宮腰遺跡(第15次)		2022.6.30
	第225集 真土2号遺跡ほか5遺跡発掘調査報告	社会福祉法人大桜会 さいたま市遺跡調査会	2022.6.30
	第226集 南中野諏訪北遺跡(第5次・第6次)	さいたま市遺跡調査会	2022.8.31
	富士見市文化財報告 第74集 市内遺跡発掘調査XV	富士見市教育委員会	2022.3.31
	富士見市遺跡調査会調査報告 第80集 正綱遺跡第18地点発掘調査報告書		2023.2.20
	鶴ヶ島市埋蔵文化財調査報告 第91集 北権現遺跡第24・25次発掘調査報告書	鶴ヶ島市遺跡調査会	2023.3.10
	第92集 上山田遺跡第13次 仲道柴山遺跡第17・23次発掘調査報告書		2023.3.23
	戸田市文化財調査報告 34 前谷遺跡Ⅺ 埋蔵文化財発掘調査報告書	戸田市教育委員会	2022.3.31
	35 前谷遺跡Ⅻ 埋蔵文化財調査報告書		2023.1.31
	埼玉県蓮田市文化財調査報告書 第64集 馬込七番第2遺跡 -第5・6調査地点-	蓮田市教育委員会	2022.3.31
新島村博物館年報 2020年度	新島村博物館	2022.3.31	
第44回世界遺産委員会拡大大会(オンライン/中国福州2021年) 審議調査研究事業報告書	文化庁	2022.2.28	
埋蔵文化財関係統計資料 -令和3年度-		2022.3	
近代遺跡調査報告書 -社会- 第I分冊	文化庁文化財第二課	2022.3.20	
水中遺跡ハンドブック		2022.3.31	
東京都遺跡調査・研究発表会48 発表要旨	東京都教育委員会	2023.1.22	
東京都埋蔵文化財センター調査報告 第372集 北区 十条遺跡群南橋遺跡 第1分冊	東京都埋蔵文化財センター	2022.11.30	
第373集 北区 十条遺跡群Ⅲ		2023.3.31	
第374集 調布市 染地遺跡 第一分冊 本文編 第二分冊 自然科学分析・写真図版編		2023.3.31	
第375集 北区 栄町貝塚		2023.3.31	
第376集 練馬区 比丘尼橋遺跡C地点T区		2023.3.31	
令和4年度企画展「境道恵 -多摩丘陵の3つの顔-			2022.5.30
たまのよこやま 127			2021.12.28
128			2022.3.31
129			2022.6.30
130			2022.9.30
東京都埋蔵文化財センター年報42 令和3(2021)年度	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター	2022.10.31	
新宿区 市谷田町三丁目遺跡Ⅱ	東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社 特定非営利活動法人井草文化財研究所	2020.12.20	
新宿区 市谷田町三丁目遺跡Ⅲ	東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社	2021.12.28	
新宿区文化財調査年報15 令和2年度	新宿区文化観光産業部文化観光課	2022.3.30	
新宿区 市谷柳町遺跡Ⅳ(緑雲寺旧寺域)	東京都建設局 株式会社四門	2022.4.25	
新宿区 新宿四丁目遺跡Ⅱ	株式会社大正スカイビル	2022.6.30	
文京区 小日向一・二丁目南遺跡第2地点	小日向の集合住宅建設組合	2011.5.31	
文京区 小石川一丁目遺跡[第1分冊][第2分冊][第3分冊]	春日・後楽園駅前地区市街地再開発組合	2022.3.31	
文京区 柳町遺跡	文京区 文京区教育委員会	2022.3.31	
文京区 湯島三丁目北遺跡	東急リパブル株式会社	2022.11.30	
文京区 伝通院裏貝塚第2地点	文京区	2022.12.20	
渋谷区 千駄ヶ谷五丁目遺跡4次調査報告書	株式会社NTTドコモ トキオ文化財株式会社	2022.1.25	
渋谷区 青山学院構内遺跡第6地点	学校法人青山学院	2022.3.31	
渋谷区 千駄ヶ谷大谷戸遺跡第4地点	住友不動産株式会社 渋谷区	2022.5.31	

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日	
東京	渋谷区 東四丁目遺跡	合同会社青山ディベロップメント Heritage Tokiwamatsu 特定目的会社 渋谷区	2022.6.30	
	台東区 紙吉町遺跡(台東区No.138遺跡)	アパホーム株式会社 台東区教育委員会	2022.3.31	
	台東区埋蔵文化財調査報告書 91 浅草北田原町遺跡 浅草一丁目11番地点	住友不動産株式会社 台東区教育委員会	2022.3.31	
	千代田区 神田猿樂町一丁目遺跡	千代田区 加藤建設株式会社	2022.5.31	
	令和3年度 葛飾区埋蔵文化財調査報告・年報	葛飾区教育委員会	2023.2.28	
	港区文化財調査年報1 ー令和元年度の調査ー	港区教育委員会	2021.3.31	
	港区No.45遺跡発掘調査報告書		2021.4.30	
	港区立郷土歴史館館報 ー2ー		2022.3.31	
	歴史館ニュース 第11号	港区立郷土歴史館		2022.3.15
	第12号			2022.6.15
	第13号			2022.9.16
	歴史館だより Vol.12-1			2022.6.15
	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告書 59[TM162] 但馬出石藩仙石家屋敷跡遺跡発掘調査報告書 ー本文編ー	虎ノ門・六本木地区市街地再開発組合	2015.6.30	
	69[TM170] 港区No.170遺跡発掘調査報告書	森ビル株式会社	2021.4.30	
	84[TM187] 湖雲寺跡遺跡 第1分冊 第2分冊	Great Eagle Tokyo TMK 株式会社パスコ	2021.4.30	
	91[TM66] 相模小田原藩大久保屋敷跡遺跡発掘調査報告書 第1分冊 第2分冊	六本木五丁目西地区市街地再開発組合 株式会社パスコ	2022.9.30	
	92[TM214] 筑後久留米藩有馬家屋敷跡遺跡発掘調査報告書	三井不動産レジデンシャル株式会社	2022.8.29	
	93[TM217] 薩摩鹿児島藩島津家屋敷跡第3遺跡発掘調査報告書	株式会社RNA トキオ文化財株式会社	2022.7.29	
	94[TM181-4] 愛宕下武家屋敷群 陸奥一関藩田村家屋敷跡遺跡 発掘調査報告書II	安田不動産株式会社	2022.9.30	
	95[TM204] 俊朝寺寺域遺跡発掘調査報告書	住友不動産株式会社 国際文化財株式会社	2022.12.20	
	新宿歴史博物館 令和三年度特別展 「四谷塩町からみる江戸のまち ー近世考古学の世界ー」	公益財団法人新宿未来創造財団 新宿区立新宿歴史博物館	2021.9.25	
	「四谷塩町からみる江戸のまち ー近世考古学の世界ー」シンポジウムの記録		2022.3.31	
	住友財団30周年記念 住友財団助成 修復文化財図録Ⅲ	公益財団法人住友財団	2022.2.23	
	第20回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究	板橋区教育委員会	2022.3.11	
	発掘された日本列島 調査研究最前線 文化庁編	株式会社共同通信社(編著者:文化庁)	2022.6.10	
	八王子市 子安三丁目遺跡 八王子医療刑務所遺跡	八王子市	2023.2.28	
	国史跡八王子城跡XⅩI	八王子市教育委員会	2020.3.31	
	国分寺市 恋ヶ窪遺跡(第111次調査)	国分寺市教育委員会	2022.10.31	
	立川市埋蔵文化財調査報告 23 立川市埋蔵文化財調査報告書集Ⅶ	立川市教育委員会	2022.3.25	
	栗山遺跡第6次調査	株式会社武蔵文化財研究所	2022.5.13	
	東京都江戸東京博物館紀要 第13号	江戸東京博物館	2023.3.10	
	青山史学 第四十号 ー藤原良章教授退任記念号ー	青山学院大学文学部史学研究室	2022.3.18	
	法政考古学 第47集	法政考古学会		2021.3.31
	第48集			2022.3.31
	飛天 令和4年度 会報 紀要 第6号	公益財団法人日本文化財保護協会		2022.8
	文建協通信 No.147	公益財団法人文化財建造物保存技術協会		2022.1
	No.148			2022.4
	No.149			2022.7
	TOUBUNKEN NEWS No.77	独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所		2022.3.25
	No.78			2022.8
	独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 概要 2022			2022
	令和3年度 世界遺産研究協議会 「整備」をどう説明するか(第二部)		2022.3.31	
	令和3年度ステージラボ事業報告書	一般財団法人地域創造		2022.4
	雷から文化財建造物を守ろう!!	一般財団法人電気設備学会 一般財団法人日本雷保護システム工業会		2022.4
	古美術骨董月刊誌 目の眼 5月号(通巻548号)	株式会社目の眼		2022.5.1
	6月号(通巻549号)			2022.6.1
	古墳図鑑	株式会社日本文芸社		2022.8.1
	家康の戦略を支えた最強徳川家臣団	株式会社寶島社		2022.11.29
	歴史群像 No.173	株式会社ワン・パブリッシング		2022.5.6
	徳川家康と戦国大名	株式会社メディアソフト		2022.11.2
平和の武将 徳川家康	株式会社さくら舎(著者:鈴木荘一)		2022.12.12	
千葉	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告 第42集 成田市久米岩遺跡	千葉県教育委員会	2023.2.7	
	第43集 八千代市赤作遺跡		2022.11.15	
	第44集 流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書8 ー流山市市野谷宮後遺跡(北側)・三輪野山野馬土手 ・市野谷芋久保遺跡(14)(縄文時代遺構編)ー		2023.3.1	
	第45集 東金市道庭遺跡		2023.2.13	
	第46集 柏北部中央地区埋蔵文化財調査報告書9 ー柏市内山遺跡(1)~(20)ー		2023.3.6	

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日
千葉	千葉県教育振興財団調査報告 第789集 成田市大安場V遺跡(2)	東日本高速道路株式会社 公益財団法人千葉県教育振興財団	2022.3.14 2022.3.25
	第790集 市川市北下遺跡(15)~(17)、(13)		
	研究連絡誌 第85号	公益財団法人千葉県教育振興財団	2021.11.12
	第86号		2022.3.30
	房総の文化財 VOL.61		2022.3.15
	千葉県教育振興財団文化財センター年報 No.47 ー令和3年度ー		2022.8.17
	六崎外出遺跡(第23・26次)発掘調査報告書 ー不特定遺跡発掘調査助成事業ー	佐倉市教育委員会	2023.2.28
	令和3年度佐倉市埋蔵文化財発掘調査報告書		2023.3.10
	公益財団法人印旛郡市文化財センター発掘調査報告書 第380集 十倉三福荷峰西遺跡(第2地点)	成田市	2021.12.27
	第381集 佐倉城跡(歴博第13次)	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 公益財団法人印旛郡市文化財センター	2022.3.28
	第382集 和良比長作No.2遺跡(第3次)	大川和義	2022.3.25
	フィールドブック Vol.146	公益財団法人印旛郡市文化財センター	2022.3.25
	Vol.147		2022.3.25
	公益財団法人印旛郡市文化財センター年報37 ー令和2年度ー 令和4年度最新出土考古資料展		2022.3.31
	神奈川	神奈川県埋蔵文化財センター年報34 2021(令和3)年度	神奈川県教育委員会
神奈川県埋蔵文化財調査報告68		2023.3.17	
令和4年度かながわの遺跡展「縄文人の環境適応」		2023.3.17	
かながわ考古学財団調査報告 332 堀西下森戸遺跡		公益財団法人かながわ考古学財団	2023.1.31
333 上粕屋・秋山上遺跡第2次調査			2023.3.15
334 粟窪・林遺跡 粟窪・林台遺跡 粟窪・四石田遺跡 第1分冊 第2分冊 第3分冊			2023.3.28
研究紀要 かながわの考古学28 年報29 令和3年度			2023.3.28 2023.3.28
久野下馬下遺跡第V地点		小田原市	2021.11.8
久野北久保上遺跡第II地点			2022.3.15
小田原市文化財調査報告書 第199集 小八幡中沢遺跡第I・II地点		小田原市教育委員会	2022.3.31
第200集 小八幡酒匂境遺跡第I地点			2022.3.31
第201集 小田原城下欄干橋町遺跡第VI地点			2022.2.25
第202集 別堀十二天遺跡第III・IV・VII・IX・地点			2022.2.25
第203集 平成22年度試掘調査 I 小田原城とその城下関連遺跡 II 小田原市域の遺跡			2022.2.25
第204集 小田原城下瓦長屋跡第II地点			2022.2.25
第205集 小田原城三の丸服部孝太郎邸跡第II・III地点			2022.2.25
令和3年 小田原市遺跡調査発表会 発表要旨 ー最新出土品展示遺跡解説ー			2021.10.30
小田原三ノ丸ホール開館記念遺跡講演会資料集 「ホール下に広がる小田原藩重臣の武家屋敷」			2021.12.24
小田原の遺跡探訪シリーズ 17 小船森遺跡 ー中村川流域に広がる遺跡ー			2022.2.25
相模原市埋蔵文化財調査報告 64 宮下本町三谷遺跡		相模原市教育委員会	2021.12.28
65 苦久保遺跡第7・8地点			2021.12.28
66 田名向原遺跡第6次調査			2021.12.28
67 長竹舟久保遺跡第3地点			2022.2.28
68 川坂遺跡第3次調査			2022.3.30
69 相模原市灯籠史跡大島中ノ郷のヤッポ ー史跡保存目的の測量調査ー			2022.3.30
70 上溝久保ヶ谷遺跡第5地点			2022.3.30
71 川坂遺跡第6次調査			2022.9.30
72 上溝久保遺跡		2022.9.30	
杉久保遺跡発掘調査報告書 ー第7・8調査ー		海老名市教育委員会	2022.3.25
杉久保宮ノ前遺跡発掘調査報告書			2022.7.31
令和2年度 川崎市埋蔵文化財年報		川崎市教育委員会	2022.3.31
川崎市文化財調査集録56			2022.3.31
川崎市遺跡リーフレット ③橋樹学連続講座「古代橋樹を知り、活用する！！II」			2022.3.31
平塚市埋蔵文化財シリーズ 52 梶谷原B・北金目塚越遺跡	平塚市教育委員会	2022.1.31	
平塚市試掘・確認調査報告書 4 ー平成13年度ー		2022.2.28	
平塚市博物館年報 No.45	平塚市博物館	2022.3.15	
平塚市博物館研究報告 自然と文化 No.45 2021年度		2022.3.20	
令和3年度春季特別展「掘り起こされた平塚IV ー姿をあらわす遺跡たちー」		2022.3.20	
南鍛冶山遺跡発掘調査報告書 第17巻道状遺構・溝状遺構		2022.3.25	
藤沢市埋蔵文化財調査報告 第9集 西富西原遺跡第3・4・6調査発掘調査報告書	藤沢市教育委員会	2022.3.31	
令和元・2年度新指定重要文化財当調査報告	横須賀市教育委員会	2022.3.31	
史跡東京湾要塞跡整備関連調査報告書 第2集 史跡東京湾要塞跡猿島砲台跡 史跡整備事業に伴う資料収集調査		2022.3.31	
茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団調査報告 56 公共下水道布設関連調査 平成27年度発掘調査	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団	2016.3.15	

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日	
神奈川県	58 公共下水道施設関連遺跡調査報告Ⅰ 平成13(2001)年度発掘調査	茅ヶ崎市教育委員会	2021.3.26	
	61 市内遺跡試掘・確認調査報告ⅩⅩ ー令和2(2020)年度実施の埋蔵文化財試掘・確認調査報告ー		2022.3.31	
	63 公共下水道施設関連遺跡調査報告Ⅱ 平成12(2000)年度発掘調査		2023.1.15	
	茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告 62 茅ヶ崎市埋蔵文化財調査集報Ⅹ		2022.3.31	
	茅ヶ崎市文化振興財団調査報告 17 十二天 A 遺跡(堤貝塚)	財団法人茅ヶ崎文化振興財団	2009.3.25	
	29 西久保大屋敷 A 遺跡		2011.3.31	
	厚木市埋蔵文化財調査報告書 第10集 三田林根遺跡	厚木市教育委員会	2022.2.28	
	神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 93 山王 B 遺跡第15地点 七ノ域遺跡第11地点	大成エンジニアリング株式会社	2022.5.18	
	95 久野山神下遺跡第Ⅸ地点第2次調査久野多古境遺跡第Ⅹ地点	株式会社玉川文化財研究所	2022.8.10	
	96 中野中里遺跡第2次調査	睦合文化財株式会社	2022.9.2	
	97 三田林根遺跡第4地点	株式会社玉川文化財研究所	2023.3.20	
	98 諏訪前 A 遺跡第17地点 七ノ域遺跡第12地点	株式会社アーク・フィールドワークシステム	2023.3.25	
	曾屋吹上遺跡 2021-02地点	睦合文化財株式会社	2022.9.26	
	大谷下浜田遺跡第17次調査 ー発掘調査報告書ー		2018.3.30	
	溝野日影坂上遺跡第2地点 ー発掘調査報告書ー		2018.5.25	
	川名御霊神社東やぐら第1次調査 ー発掘調査報告書ー		2019.4.15	
	国分尼寺北方遺跡第50次調査 ー発掘調査報告書ー		2019.4.26	
	王禅寺下耕地遺跡 ー発掘調査報告書ー		2020.3.31	
	十三菩提遺跡第16地点 ー発掘調査報告書ー	有限会社吾妻考古学研究所	2020.3.31	
	稲荷台地遺跡群第37次調査 ー発掘調査報告書ー		2020.6.30	
	稲荷台地遺跡群第40次調査 ー発掘調査報告書ー		2020.7.10	
	東有馬一丁目遺跡第2地点 ー発掘調査報告書ー		2021.3.31	
	清涼寺跡発掘調査報告書		2021.3.31	
	稲荷台地遺跡群第38次調査 ー発掘調査報告書ー		2022.5.13	
	下飯田林遺跡第2・3地点 中ノ宮北遺跡第2・3地点発掘調査報告書		2022.3.18	
	東橋本中村遺跡発掘調査報告書	玉川文化財研究所	2022.12.6	
	下土棚諏訪ノ棚遺跡第5・6次調査		2023.1.18	
	新町遺跡第11地点発掘調査報告書	第一三共株式会社	2022.9.30	
	構之内遺跡第7地点発掘調査報告書	玉川文化財研究所	2022.12.28	
	鳥山馬込遺跡 第1分冊 第2分冊	国際文化財株式会社	2023.3.31	
	円蔵 御屋敷 A 遺跡第5次調査報告	有限会社三浦地所 株式会社四門	2022.12.23	
	港町一丁目遺跡(二代目旧横浜市役所跡)	株式会社パスコ	2023.3.7	
	山梨県	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第337集 山影遺跡	山梨県観光文化部 山梨県県土整備部	2023.3.17
		第338集 美通遺跡(2021年度調査地点)		2023.3.17
		第339集 二又第2遺跡	山梨県旅客鉄道株式会社 山梨県	2023.3.17
		第340集 山梨県内分布調査報告書(令和3年4月～令和4年3月)	山梨県	2023.3.17
		第341集 御陣屋遺跡	山梨県観光文化部 日本郵便株式会社	2023.3.17
		第342集	山梨県観光文化部 山梨県県土整備部	2023.3.17
		研究紀要 38	山梨県立考古博物館 山梨県埋蔵文化財センター	2022.3.15
		39		2023.3.17
年報38 2021年度(令和3年度)		山梨県観光文化部埋蔵文化財センター	2022.12.9	
ふるさと文化伝承館博物館登録記念テーマ展 「藍と綿が奏でるにしごおりの暮らし」			2022.1.14	
南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第66集 寺部村附第14遺跡		南アルプス市教育委員会	2022.3.30	
第67集 今井前第2遺跡・第4遺跡			2022.3.30	
第68集 令和2年度埋蔵文化財試掘調査報告書			2022.3.30	
第69集 国指定史跡御勅使川旧堤防(将棋頭・石積出) 樹形堤防 ー第3次調査ー			2022.3.30	
甲府市文化財調査報告 110 甲府城下町遺跡22		公益財団法人山梨文化財研究所	2020.3.23	
111 甲府城下町遺跡23(丸の内二丁目17-1地点)		株式会社ダイヤ 甲府市教育委員会 公益財団法人山梨文化財研究所	2020.9.30	
112 武田城下町遺跡12		甲府市教育委員会 公益財団法人山梨文化財研究所	2021.6.30	
119 音羽遺跡1		有限会社竜王土地 甲府市教育委員会 公益財団法人山梨文化財研究所	2021.12.25	
124 食糧工場遺跡(遠光寺東交差点改良工事地点)		甲府市教育委員会	2022.3.15	
125 甲府城下町遺跡28(山梨県甲府市中央4丁目347地点)		鶴田電機株式会社 甲府市教育委員会 昭和測量株式会社	2022.3.15	
126 甲府城下町遺跡29(甲府市中央5丁目2～4区)	山梨県中北建設事務所 甲府市教育委員会	2022.3.18		
127 甲府城下町遺跡30(山梨県甲府市中央2丁目[旧柳町一丁目]地点)	昭和測量株式会社	2022.3.11		
128 甲府城下町遺跡31(丸の内3丁目110地点)	株式会社タカラレーベン 甲府市教育委員会 昭和測量株式会社	2022.6.30		

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日	
山梨	笛吹市文化財調査報告書 第43集 史跡甲斐国分寺跡 －史跡整備のための伽藍中核部の遺構確認調査報告書－	笛吹市教育委員会	2020.3.31	
	第45集 花鳥山遺跡	東京電力パワーグリッド株式会社 笛吹市教育委員会 昭和測量株式会社	2021.8.31	
	第46集 令和2年度市内遺跡発掘調査報告書	笛吹市教育委員会	2022.3.31	
	都留市埋蔵文化財調査報告 第18集 桃園遺跡	株式会社大槻木材センター 都留市教育委員会	2022.3.31	
	特別展 第38回 甲府城のすべて －石垣と瓦の考古学－	山梨県立考古博物館	2021.9.30	
	第39回 甲斐の勇者 －その原像を探る－		2022.9.28	
長野	長野県文化財要覧 その31－令和2年度－	長野県教育委員会	2022.3	
	その32－令和3年度－	長野県教育委員会	2023.3	
	佐久市埋蔵文化財調査報告書 第282集 長土呂遺跡群 上聖端遺跡VI	佐久市教育委員会	2021.9	
	第283集 柳坂遺跡II		2021.12	
	第284集 西近津遺跡群 西近津遺跡XIV		2021.9	
	第285集 宮田II遺跡		2022.3	
	第286集 長土呂遺跡群 下端聖遺跡VIII		2022.3	
	第287集 岩村田遺跡群 西八日町遺跡I		2022.3	
	第289集 岩村田遺跡群 西一本柳遺跡X XIV		2022.3	
	第290集 市内遺跡発掘調査報告書2020		2022.3	
	史跡龍岡城跡整備基本計画		2021.3	
	佐久市文化財 年報 令和2年度(2020)		2022.3.31	
	上田市文化財調査報告書 第133集 史跡上田城跡	上田市 上田市教育委員会	2019.3.26	
	第134集 市内遺跡 平成30年度市内遺跡発掘調査報告書		2019.3.25	
	第135集 市内遺跡 令和元年度市内遺跡発掘調査報告書		2020.3.26	
	第136集 市内遺跡 令和2年度市内遺跡発掘調査報告書		2021.3.26	
	松田家資料保存整備事業 更埴糸里水田址 前田地点2	千曲市教育委員会 千曲市教育委員会 埋蔵文化財センター	2008.3.38	
	諏訪市埋蔵文化財調査報告 第83集 市内遺跡発掘調査報告書(令和3年度)	諏訪市教育委員会	2022.3.31	
	岐阜	岐阜県文化財保護センター調査報告書 第158集 六里遺跡III	岐阜県文化財保護センター	2023.3.3
		第159集 公文垣内南遺跡		2023.3.3
第160集 中村遺跡		2023.3.3		
第162集 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書 第1分冊(岐阜圏域) 第2分冊(西濃圏域) 第3分冊(中濃圏域) 第4分冊(東濃圏域) 第5分冊(飛騨圏域) 第6分冊(総括)		2023.3.17		
令和2年度 岐阜市内遺跡発掘調査報告書		岐阜市 公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団	2022.11.30	
明知城周辺調査事業・恵那市城館跡分布調査報告書1 恵那市の新発見城館跡		恵那市教育委員会	2022.3.31	
関市文化財調査報告 第49集 関市市内遺跡発掘調査報告書 平成31・令和元年度		関市協働推進部文化課文化財保護センター	2022.3.31	
各務原市文化財調査報告書 第55号 坊ノ塚古墳		各務原市教育委員会	2022.3.18	
多治見市埋蔵文化財発掘調査報告書 第99号 北小木小松針1号窯発掘調査報告書		多治見市教育委員会 公益財団法人多治見市文化振興事業団	2023.1.31	
静岡		静岡県文化財年報(令和3年度)	静岡県スポーツ・文化観光部文化局	2022.12
	静岡県埋蔵文化財センター調査報告 第65集 国分寺・国府台遺跡(磐田市)	静岡県埋蔵文化財センター	2022.11.30	
	第66集 堀田城跡		2023.16	
	第67集 赤塚遺跡		2023.2.15	
	第68集 尾羽廃寺跡		2023.3.31	
	ふじのくに考古通信 Vol.23		2022.6	
	Vol.24		2023.1	
	2020年度 年次報告書	公益財団法人静岡県文化財団	2021	
	静岡県立美術館 紀要 第37号 令和3年度	静岡県立美術館	2022.3.31	
	寺尾原遺跡第7地点	函南町教育委員会	2022.11.30	
	史跡山中城跡保存活用計画	三島市教育委員会	2023.3.10	
	沼津市文化財調査報告書 第124集 沼津市内遺跡発掘調査報告書4	沼津市教育委員会	2022.3.4	
	資料館だより Vol.47 No.1(通巻234号)	沼津市歴史民俗資料館	2022.6.25	
	Vol.47 No.2(通巻235号)		2022.9.25	
	Vol.47 No.3(通巻236号)		2022.12.25	
	伊豆の国市 文化財年報9	伊豆の国市教育委員会	2022.11.30	
	富士市埋蔵文化財調査報告 第72集 東平遺跡 第43地区	富士市教育委員会	2022.3.18	
	第73集 富士市内遺跡発掘調査報告書－令和2年度－		2022.3.31	
	第74集 須津 千人塚古墳		2022.3.31	
	企画展 第58回 「トイレの紙さま ～おしりふきふき いまむかし～」	富士山かぐや姫ミュージアム (富士市立博物館)	2022.3.19	
第59回 『河東』をめぐる戦国時代』		2022.12.10		
富士宮文化財調査報告書 第56集 史跡大鹿窪遺跡発掘調査報告書－史跡整備事業に伴う再発掘調査－	富士宮市教育委員会	2022.3.25		
富士宮市文化財年報 第11号 令和2年度		2022.3.31		

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日	
静岡	菊川市埋蔵文化財調査報告書 第24集 政所本屋敷遺跡 ー第2次発掘調査報告書ー	菊川市教育委員会	2022.3.24	
	第25集 高田ヶ原遺跡9次発掘調査報告書		2023.3.10	
	史跡菊川城館遺跡群整備基本計画		2022.3.25	
	文化財年報 ー第15号ー (令和3年度)		2022.12.5	
	どきどき通信 No.16		2023.2	
	中原遺跡第9次発掘調査報告書	掛川市	2022.2.28	
	吉岡下ノ段遺跡第17次調査 瀬戸山I遺跡第7次調査 発掘調査報告書		2022.2.28	
	令和3年度 年報	掛川市二ノ丸美術館 掛川市ステンドグラス美術館	2022.8.1	
	梵天古墳群・梵天北遺跡発掘調査報告書	磐田市教育委員会	2010.3.31	
	磐田市市内遺跡発掘調査報告書 令和2年度		2022.3.31	
	史跡二俣城跡及び鳥羽山城跡整備基本計画	浜松市	2022.3.24	
	浜松城跡16		2022.3.18	
	令和2年度 浜松市文化財年報	浜松市教育委員会	2022.3.18	
	浜松の文化財 5 県指定有形文化財(工芸品)鰐口		2022.3	
	桓武西宮遺跡7		2022.11.30	
	増築遺跡		2023.3.24	
	令和3年度 浜松市文化財年報		2023.3.24	
	浜松市博物館報 第34号		2022.3.25	
	浜松市博物館情報 No.343		2021.4.15	
	No.344		2021.6.15	
	No.345		2021.8.15	
	No.346		2021.10.15	
	No.347	2021.12.15		
	No.348	2022.2.15		
	浜松市博物館だより Vol.40 No.1 通巻146号	浜松市博物館	2021.7.31	
	Vol.40 No.2 通巻147号		2021.10.29	
	Vol.40 No.3 通巻148号		2022.3.4	
	浜松市楽器博物館年報 令和2年度	浜松市楽器博物館	2022.3.1	
	遠江 四十五号	一般社団法人浜松史蹟調査顕彰会	2022.3.31	
	桶田遺跡第4地点	パル文化財研究所	2022.9.30	
	歴史論叢 第八号	静岡県歴史研究会	2022.6	
	考古学研究室調査研究集報2021	静岡大学人文社会科学部考古学研究室	2022.3.31	
	リニューアル5周年記「無冠の仏像(伊豆・静岡東部の無指定文化財)」	上原美術館	2022.12.1	
	静清信用金庫百年史	静清信用金庫	2023.2	
	阿吽 2021	株式会社墨仁堂	2022.12	
	全史協会報 2022	全国史跡整備市町村協議会事務局	2022.3.31	
	静岡市歴史博物館公式ガイドブック しずおか歴史探検	静岡市歴史博物館	2023.1.13	
	静岡市美術館年報 No.12 令和3年度	静岡市美術館	2023.2	
	静岡市東海道広重美術館年報 令和2年度	静岡市東海道広重美術館	2021.10.15	
	令和3年度		2022.11.15	
	研究紀要 第23号	公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター	2022.5	
	愛知県埋蔵文化財センター年報 令和4年度		2023.3	
	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第217集 石原遺跡		2023.3.31	
	第219集 マサノ沢遺跡 本文編 図版編		2023.3.31	
	第220集 一色城跡		2023.3.31	
	第221集 胡桃窪遺跡 大名倉丸山遺跡 添沢遺跡		2023.3.31	
	愛知県埋蔵文化財 試掘・確認調査報告書 ー令和3年度ー		愛知県埋蔵文化財センター	2023.3.15
	豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第150集 下五井館址(Ⅱ)		豊橋市教育委員会	2019.3.29
	第154集 吉田城址(XVⅡ)			2020.3.23
	第156集 市内埋蔵文化財発掘調査Ⅳ ー平成26～28年度ー			2022.3.24
第157集 市内遺跡発掘調査 ー令和元年度ー	2022.3.24			
大垣戸狐塚古墳	春日井市教育委員会	2018.3.31		
高座山第一号墳 ー高座山第一号墳発掘調査報告書ー		2019.3.31		
神領第一号墳 ー神領第一号墳第1次～第3次発掘調査報告書ー		2019.3.31		
令和3年度 市内遺跡調査概要報告書		2022.3.31		
春日井市遺跡解説パンフレット その8 高蔵寺古墳群・高座山古墳群 ー高座山周辺の古墳と出土遺物ー		2022.3.31		
白鳥遺跡(三河国府跡)発掘調査報告書 ー第14次～第16次・第18次調査ー		豊川市教育委員会	2022.11.30	
太佐山高射砲陣地跡確認調査報告		東海市教育委員会	2021.3.31	
太佐山高射砲陣地跡確認調査報告2			2022.3.31	
石丸遺跡I		株式会社アコード名古屋営業所	2022.7.15	
令和4年度公益財団法人瀬戸市文化振興財団企画展 「戦時下のせとやき ー近代後期の瀬戸窯と美濃窯ー」		公益財団法人瀬戸市文化振興財団	2022.11.5	
愛知学院大学考古学発掘調査報告 33 北町遺跡 ー2018/2019の発掘調査概要報告書ー	愛知学院大学文学部歴史学科	2022.3.31		
34 広久手C3窯跡		2022.3.31		
南山大学人類学博物館紀要 第41号	南山大学人類学博物館	2022.12.20		

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日
三重	磐城山遺跡(第11・12次)発掘調査報告書	鈴鹿市	2022.3.31
	伊勢国府24		2022.3.31
	鈴鹿市考古博物館年報 第23号 令和2年度版	鈴鹿市考古博物館	2022.3.31
	伊勢国分寺跡史跡指定100周年記念 秋季特別展「国分寺」		2022.10.8
	津市文化財年報16 ー令和2年度ー		2022.2.28
	津市埋蔵文化財調査報告書 55 蔵田遺跡(第7次)発掘調査報告	津市教育委員会	2022.3.25
	史跡斎宮跡 令和2年度発掘調査概報 斎宮跡発掘調査報告Ⅳ西加座南区画の調査 遺構写真図版編	斎宮歴史博物館	2022.2.22 2022.3.18
滋賀	敏満寺遺跡		2023.3
	矢倉川遺跡		2023.3
	椿谷遺跡	滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 公益財団法人滋賀県文化財保護協会	2023.3
	番場遺跡・播沢遺跡		2023.3.24
	土田遺跡		2023.3.31
	彦根市埋蔵文化財調査報告書 第83集 山之脇遺跡第2次発掘調査報告書		2021.3.31
	第84集 福満遺跡第20次発掘調査報告書		2021.3.29
	第85集 山之脇遺跡第3次発掘調査報告書	彦根市歴史まちづくり部文化財課	2021.3.31
	第86集 彦根城下町遺跡第3次発掘調査報告書		2021.3.31
	第87集 法土南遺跡第2次発掘調査報告書		2022.3.31
	第88集 彦根市内遺跡発掘調査報告書 稲部遺跡第8次		2022.3.31
	彦根市文化財年報 平成29・30年度 「ー稲部遺跡群の発掘調査ー」	彦根市市長直轄組織文化財課 彦根市文化財課	2020.3 2021.3
	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書 71 黒橋遺跡3次発掘調査報告書		2022.3.31
	72 黒橋遺跡4次発掘調査報告書	近江八幡市	2022.3.31
	73 出町遺跡52次発掘調査報告書		2022.3.31
	74 安土城下町遺跡118次発掘調査報告書		2022.3.31
	75 金剛寺城遺跡11次発掘調査報告書		2022.3.31
	野洲市内遺跡発掘調査年報 令和4年度 令和4年度 野洲市文化財調査概要報告書 令和4年度 野洲市埋蔵文化財調査概要報告書	野洲市教育委員会	2023.3 2023.3 2023.3
	粟東市埋蔵文化財調査報告 2020(令和2)年度 年報 文化財修理報告書 VOL.20(2022)	粟東市教育委員会 公益財団法人粟東市スポーツ協会 粟浪文化財修理所	2022.3.31 2022.12.25
	京都府埋蔵文化財調査報告書 山科本願寺跡発掘調査総括報告書		2022.3.31 2022.3.31
	史跡旧二条離宮(二条城) 平安京左京三条二坊一・八町跡 堀川御池遺跡発掘調査報告書		2022.3.31
	京都市内遺跡発掘調査報告 令和3年度		2022.3.31
	京都市内遺跡試掘調査報告 令和3年度		2022.3.31
	京都市内遺跡詳細分布調査報告 令和3年度		2022.3.31
	京都府歴史の道調査報告書 第一冊 東海道(附渋谷街道)・大津街道・西国街道(附丹波街道)	京都府教育委員会	2022.3.31
	文化財ボックス 35集 こんにちは京都市電		2022.3.31
	平安京左京四三条坊四町跡・烏丸綾小路遺跡発掘調査報告書		2022.6.30
守り育てようみんなの文化財40		2022.10	
京都の文化財 第四十集		2023.1	
京都の文化財 第三十九集		2022.1	
もっと知りたい京都の遺跡 第11号		2022.12	
第12号	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター	2023.3	
京都府埋蔵文化財情報 第144号		2023.1.31	
京都府京丹後市文化財調査報告書 第24集 浜詰遺跡・東風ヶ奥遺跡発掘調査報告書	京丹後市教育委員会	2022.3.25	
文化財サービス発掘調査報告書 第21集 平安京左京三条四坊一町跡発掘調査報告書		2021.12.28	
第22集 平安京左京四三条坊十五町跡・本能寺城跡発掘調査報告書		2022.3.31	
第23集 上京遺跡・寺ノ内旧城発掘調査報告書	株式会社文化財サービス	2022.3.31	
第25集 旭山古墳群発掘調査報告書		2022.8.31	
第26集 平安京右京一条三坊四町跡・御土居跡発掘調査報告書		2022.11.30	
第27集 嵯峨野高田町遺跡発掘調査報告書		2022.12.26	
京都平安文化財発掘調査報告 第8集 伏見城跡・指月城跡 ー平成27年度発掘調査報告書ー	有限会社京都平安文化財	2021.3.29	
第9集 中臣遺跡 第93次発掘調査報告書		2020.2.25	
イビック京都市内遺跡調査報告 第25輯 平安京右京六条三坊二町跡・西院遺跡	株式会社イビック	2021.6.30	
アルケス発掘調査報告 4 平安京左京三条坊十町跡・二条殿御池城跡・烏丸御池遺跡	株式会社アルケス	2022.8.31	
文化遺産防災のための斜面評価・対策事例集 ー斜面の安定と歴史的景観の保全ー 第2号		2023.3	
歴史都市防災研究所 年報 2021(令和3)年度 2022(令和4)年度	立命館大学歴史都市防災研究所	2022.3 2023.3	
文化財保護を考えるニューズレター ー2021年度版ー	同志社大学文化財保護研究センター	2022.3.18	

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日	
大阪	大阪府教育庁文化財調査事務所年報25		2022.2.28	
	大阪府埋蔵文化財調査報告 2021-1 大町遺跡V 2021-3 太井遺跡	大阪府教育委員会	2022.3.31	
	西野々古墳群・外子遺跡・西野々遺跡発掘調査概要		2022.3.31	
	摂津における中世城館の調査		2022.3.31	
	公益財団法人大阪府文化財センター調査報告書 第316集 尾山遺跡・御所池瓦窯跡	島本町教育委員会 公益財団法人大阪府文化財センター	2022.5.31	
	第317集 黒山遺跡・太井遺跡		2022.5.31	
	第318集 伊加賀遺跡・伊加賀古墳群	公益財団法人大阪府文化財センター	2022.6.30	
	第319集 成合3号墳・成合4号墳		2022.8.31	
	第320集 普賢寺遺跡	門真市 公益財団法人大阪府文化財センター	2022.8.31	
	第321集 金龍寺旧境内跡5		2022.8.31	
	第322集 大泉郡条里遺跡8		2022.10.28	
	第323集 梶原古墳群2	公益財団法人大阪府文化財センター	2022.10.31	
	第324集 目俵遺跡・吹田操車場遺跡17		2023.3.31	
	研究紀要 第23号		2022.3.31	
	大阪市文化財情報 葦火 206号 207号	一般財団法人大阪市文化財協会	2022.7.1	
	大阪中心部における5～17世紀の治水・水防遺構と都市形成過程の研究		2022.10.1	
	浪速東遺跡発掘調査報告		2023.3.31	
	津守庵寺発掘調査報告		2023.3.31	
	八尾市文化財調査報告 86 郡川西塚古墳発掘調査概要報告書	八尾市教育委員会	2021.3.31	
	史跡由義寺跡保存活用計画		2021.3.31	
	令和3年度国庫補助事業発掘調査報告書		2022.3.31	
	堺市文化財調査報告 第53冊 陶器城跡(木村砦跡)第3・4・5次発掘調査報告	堺市	2022.3.31	
	第54冊 片蔵遺跡第7次発掘調査報告		2022.3.31	
	第55冊 鶴田池東遺跡第7次発掘調査報告	堺市文化観光局文化部文化財課	2022.3.31	
	新修ハンドブック堺の文化財 史跡名勝天然記念物編		2022.3.31	
	山之内遺跡発掘調査報告IX		2023.3.24	
	大阪城跡X X	大阪府文化財協会	2023.3.31	
	大阪大学埋蔵文化財調査室 年報6	大阪大学埋蔵文化財調査委員会	2022.3	
	大手前大学史学研究所紀要 第16号	大手前大学史学研究所	2021	
	奈良	奈良研究論叢 第3号		2022.3.18
		奈良文化財研究所紀要2022	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	2022.6.30
		奈良文化財研究所七十年の軌跡 創立七十周年記念		2022.11.30
		大和郡山市文化財調査報告書 第25集 郡山城跡の研究Ⅰ 天守台展望施設整備事業に伴う調査報告	大和郡山市	2021.11.30
		第26集 郡山城跡の研究Ⅱ 郡山城跡総合調査報告		2022.2.28
		平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町 ～郡山の歴史と文化～		2022.3.31
		大和郡山市文化財調査年報 令和2年度		2022.3.31
		公益財団法人元興寺文化財研究所要覧		2021.7.1
		元興寺文化財研究所研究報告 2021		2022.3.31
		平城京左京四条六坊八坪奈良町遺跡(HJG11次) 令和2年度発掘調査報告書	公益財団法人元興寺文化財研究所	2022.3.31
		平城京左京三条六坊十二坪奈良町遺跡(HJG12次) 令和2年度発掘調査報告書		2022.3.31
		平城京左京三条六坊十二坪奈良町遺跡(HJG10次) 令和2年度発掘調査報告書		2022.3.31
		令和元年秋季特別展「考古学者藤澤一夫コレクションから 瓦仙人の世界」 文全協ニュース No.232	文化財保存全国協議会	2022.4.30
		No.233		2022.7.30
		奈良大学考古学研究調査報告書 第27冊 甲塚古墳発掘調査報告書Ⅳ	奈良大学文学部文化財学科	2022.3
		関根俊一先生退職記念論集 文化財学報 第四十集		2022.3.31
		天理大学考古学・民俗学研究室紀要 第26冊 古事	天理大学文学部歴史文化学科考古学 ・民俗学研究コース	2022.3.31
		帝塚山大学考古学研究所研究報告 X XIV	帝塚山大学考古学研究所	2022.3.31
日本古代尼寺の考古学的研究		帝塚山大学文学部(研究代表者 清水昭博)	2022.3	
特別展示パンフレット 第38号 古瓦との出会いⅢ ～百済の古瓦～		帝塚山大学付属博物館	2022.5.28	
和歌山	和歌山県埋蔵文化財調査年報 令和2年度一	和歌山県教育委員会	2022.3.31	
	和歌山市内遺跡発掘調査概報 令和2年度一	和歌山市	2022.3.31	
	和歌山市文化スポーツ振興財団発掘調査報告書 第16集 秋月遺跡第25・26次発掘調査報告書		2023.3.24	
	第23集 津秦遺跡 第15次発掘調査報告書	公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	2022.3.31	
	第24集 岩橋Ⅱ遺跡 第11次発掘調査報告書		2022.3.31	
	和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 令和2年度(2020年度)一		2023.3.27	
	和歌山市埋蔵文化財発掘調査情報2022 「木のクニわかやま 一鷺ノ森遺跡でみつかった安土桃山時代の漆器」	公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター	2022.6	
	紀の川市文化財調査報告書 第17集 紀の川市内遺跡発掘調査概要報告書 令和2年度一	紀の川市教育委員会	2022.3.31	
御坊祭総合調査報告書	御坊市教育委員会	2022.3.31		

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日	
兵庫	ひょうごの遺跡 106号	公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター	2022.7.14	
	107号		2023.1.16	
	兵庫県立考古博物館 NEWS Vol.30	兵庫県立考古博物館	2022.8.31	
	Vol.31		2023.3.15	
	姫路市埋蔵文化財センター調査報告 第115集 豆腐町遺跡(本文編)(図版編)	姫路市教育委員会	2022.3.31	
	第116集 姫路城城下町跡 -姫路城跡第436次発掘調査報告書-		2022.3.31	
	第117集 姫路城城下町跡 -姫路城跡第437次発掘調査報告書-		2022.3.31	
	第118集 小幡方遺跡 -第3次発掘調査報告書-		2022.3.31	
	第119集 播磨国分寺跡 -第27次発掘調査報告書-		2022.3.31	
	第120集 姫路城城下町跡 -姫路城跡第444次発掘調査報告書-		2022.3.31	
	第121集 姫路城城下町跡 -姫路城跡第445次発掘調査報告書-		2022.3.31	
	姫路市埋蔵文化財調査年報 2022	姫路市埋蔵文化財センター	2022.4.29	
	城郭研究室年報 Vol.32	姫路市立城郭研究室	2023	
	伝統的建造物群保存地区 地区指定40年記念 北野町山本通 令和3年度神戸市埋蔵文化財センター冬季企画展 「神戸・うつりかわる町とくらし2 ～昭和ノスタルジー～」	神戸市文化スポーツ局文化財課	2021.3	
	雪御所遺跡第5次調査発掘調査報告書		2022.1.15	
	岡本東遺跡第3次発掘調査報告書		2022.3.31	
	平成30年度 神戸市埋蔵文化財年報		2022.3.31	
	神戸市指定文化財調査報告書 令和元・2年度		2022.3	
	南あわじ市文化財調査報告書 第20集 松帆銅鐸調査報告書Ⅱ -調査研究編-	南あわじ市教育委員会	2021.3.31	
	第21集 南あわじ市埋蔵文化財調査年報Ⅻ 2015・2016年度埋蔵文化財調査		2022.3.31	
	赤穂市文化財調査報告書 98 みかんのへた山古墳群発掘調査報告書	赤穂市教育委員会	2023.3.31	
	99 有年考古 第10号 -赤穂市立有年考古館年報(令和3年度)-		2023.3.31	
	豊岡市文化財調査報告書 第15集 マシム谷古墳群発掘調査報告書	豊岡市	2022.3.31	
	岡山	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 256 矢知遺跡 岡山城内堀跡ほか 津山城外堀跡	岡山県教育委員会	2023.3.17
		261 百間川原尾島遺跡		2023.3.17
		262 勝負峠遺跡 桑山遺跡 桑山古墳群		2023.3.17
		263 南方遺跡		2023.3.17
264 絵図遺跡2 原尾島遺跡		2023.3.17		
266 史跡こうもり塚古墳		2023.3.15		
紀要 第2号		岡山県古代吉備文化財センター	2022.3.18	
岡山県古代吉備文化財センター 年報1 <令和3年度>			2022.9.30	
所報吉備 73			2022.9.30	
74			2023.3	
おかやま☆遺跡探訪 津山市西部と鏡野町周辺		津山市教育委員会	2023.1	
岡山城三之外曲輪跡			2022.3.31	
岡山市埋蔵文化財センター年報21 2020(令和2)年度		岡山市教育委員会	2022.3.31	
岡山市埋蔵文化財センター研究紀要 第14号		新庄村教育委員会	2022.3.31	
中ノ谷横穴墓	2023.3.15			
島根	森原下ノ原遺跡1~3区 2. 縄文~古墳時代編	島根県教育委員会	2022.7	
	朝酌矢田Ⅱ遺跡(A~D区)		2022.8.31	
	森原下ノ原遺跡4区		2023.3.1	
	下和田遺跡・高丸遺跡		2023.3.31	
	城乃内遺跡		2023.3.31	
	風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書 27 史跡出雲国府跡 -11-		2023.3.24	
鳥取市文化財調査報告書 第32集 令和3(2021)年度 鳥取市内遺跡発掘調査概要報告書 布勢遺跡	鳥取市教育委員会	2022.3.31		
第33集 史跡鳥取城跡附太閤ヶ平発掘調査報告書Ⅵ -第41~53次発掘調査-		2022.3.31		
鳥取城調査研究年報 第15号		2022.3.31		
香川	高松市埋蔵文化財調査報告 第237集 太田下・須川遺跡(第6次調査)	株式会社穴吹工務店 高松市教育委員会	2022.7.31	
	第238集 史跡高松城跡 既往調査報告書①(天守関係調査)	高松市 高松市教育委員会	2023.1.20	
	第239集 勝賀城跡Ⅲ -総括報告書(調査編)(考察編)(史料編)-	高松市教育委員会	2022.11.30	
	第240集 史跡高松城跡(桜の馬場旭橋北川石垣整備)		2023.3.31	
	第241集 史集高松 第3号		2023.3.31	
	第242集 史跡高松城跡(桜御門復元整備工事)		2023.3.31	
	第243集 高松市内遺跡発掘調査概報 -令和4年度国庫補助事業-		2023.3.31	
	第244集 高松松平家歴史資料 近代資料群調査報告書(写真・地図)		2023.3.31	
	第245集 松ノ内遺跡2	株式会社はローズ 高松市教育委員会	2023.3.31	
第246集 史跡天然記念物屋島Ⅳ -石材産地としての屋島-	高松市教育委員会	2023.3.24		
史跡丸亀城跡保存活用計画	丸亀市教育委員会	2021.3.31		
徳島	徳島県埋蔵文化財年報 Vol.33 2021年度	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	2022.6.20	
	紀要4 2022	国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室	2022.11.30	

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日	
福岡	福岡市文化財保存活用地域計画	福岡市	2022.7	
	福岡市埋蔵文化財調査報告書	福岡市教育委員会	2022.3.24	
	第1438集 井尻 B 遺跡28 - 井尻 B 遺跡第45次調査報告-		2022.3.24	
	第1439集 井尻 B 遺跡29 - 井尻 B 遺跡第47次調査報告-		2022.3.24	
	第1440集 クエゾノ遺跡3 - 第5次調査報告-		2022.3.24	
	第1441集 田村20 - 第28次調査報告-		2022.3.24	
	第1442集 那珂84 - 那珂遺跡群第177・180次調査報告-		2022.3.24	
	第1443集 那珂85 - 那珂遺跡群第178次調査報告-		2022.3.24	
	第1444集 那珂86 - 那珂遺跡群第181次調査報告-		2022.3.24	
	第1445集 名古遺跡2 - 名古遺跡第5次調査報告-		2022.3.24	
	第1446集 野芥遺跡7 - 野芥遺跡第18次調査報告-		2022.3.24	
	第1447集 野芥遺跡8 - 野芥遺跡第19次調査報告-		2022.3.24	
	第1448集 博多181 - 博多遺跡第224次調査報告-		2022.3.24	
	第1449集 博多182 - 博多遺跡第225次調査報告-		2022.3.24	
	第1450集 博多183 - 博多遺跡第228次調査報告-		2022.3.24	
	第1451集 博多184 - 博多遺跡第231次調査報告-		2022.3.24	
	第1452集 博多185 - 博多遺跡第234次調査報告-		2022.3.24	
	第1453集 博多186 - 博多遺跡第235・236次調査報告-		2022.3.24	
	第1454集 博多187 - 博多遺跡第238次調査報告-		2022.3.24	
	第1455集 博多188 - 博多遺跡第242次調査報告-		2022.3.24	
	第1456集 博多189 - 博多遺跡第243次調査報告-		2022.3.24	
	第1457集 箱崎64 - 第92次・第102次・第108次調査報告-		2022.3.24	
	第1458集 箱崎65 - 第96次調査報告-		2022.3.24	
	第1459集 箱崎65 - 第110次調査報告-		2022.3.24	
	第1460集 比恵90 - 第157次調査報告-		2022.3.24	
	第1461集 東入部遺跡5 - 第13次調査報告-		2022.3.24	
	第1462集 福岡城下町3 - 福岡城下町遺跡第3次調査報告-		2022.3.24	
	第1463集 藤崎遺跡22 - 藤崎遺跡第39次調査報告-		2022.3.24	
	第1464集 麦野 C 遺跡11 - 麦野 C 遺跡第18次調査報告-		2022.3.24	
	第1465集 麦野 C 遺跡12 - 第19次調査報告-		2022.3.25	
	第1466集 弥永原10 - 弥永原遺跡第18次調査報告-		2022.3.24	
	福岡市埋蔵文化財年報 Vol.35 - 令和2(2020)年度版-		2022.3.24	
	令和2(2020)年度 福岡市埋蔵文化財センター年報 第40号		2021.12.24	
	福岡市文化財叢書		2022.3.25	
	第八集 浄土真宗松源寺資料 福岡市内寺社資料調査報告書三			
	市史研究ふくおか		福岡市博物館市史編さん室	2022.3.28
	第17号			
	大野城市文化財調査報告書		大野城市教育委員会	2021.3.31
	第189集 葉師の森遺跡5 ~第2次調査~			2021.3.31
	第190集 御供田遺跡5 ~第3・4・5調査~			2021.3.31
	第191集 雑餉隈遺跡2 - 第3次・第1次調査-			2022.3.31
	第192集 上唐山遺跡1 - 第1次調査-			2022.3.31
	第193集 上園遺跡9 ~第16次調査~			2022.3.31
	第194集 後原遺跡6 - 第25次調査-			2022.3.31
	第195集 松葉園遺跡2 - 第5次調査-			2022.3.31
	第196集 松葉園遺跡3 - 第4次調査- 石勺遺跡9 - P地点の調査-			2022.3.31
	第197集 水城跡4 ~第64次調査~			2022.3.31
第198集 上園遺跡10 ~第3・4次調査~	2022.3.31			
第199集 松葉園遺跡4 - 第2・3次調査-	2022.3.31			
第200集 瑞穂遺跡5 ~第3・4・7・8・10次調査~	2022.3.31			
第201集 仲島本間尺遺跡3 - 第2・3次調査-	2022.3.31			
大野城市の文化財		2022.3.31		
第52集 かつて、大野の町にアメリカがあった。				
北九州市文化財調査報告書	北九州市教育委員会	2022.3.31		
第170集 重住遺跡第6・7・8地点 重留遺跡第16地点		2022.3.31		
第171集 黒崎宿跡 森屋敷遺跡第3地点		2022.3.31		
北九州市埋蔵文化財調査報告書	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室	2022.3.31		
第612集 左近田遺跡2(2、3、4区の調査)		2022.3.31		
第613集 宮ノ谷石棺群		2022.3.31		
埋蔵文化財調査室年報38 令和2年度		2022.3.31		
研究紀要 - 第36号-		2022.3.31		
八女市文化財調査報告書	八女市教育委員会	2022.3.31		
第132集 八女市内遺跡群22 (東堀田遺跡第1次調査・富茂瀬遺跡第1次調査)		2022.3.31		
第133集 本村・溝狭間遺跡(第2~5次調査) 平田・僧津町遺跡(第2次調査) 矢原遺跡群		2022.3.31		
第134集 弥五郎遺跡2		2022.3.31		
第135集 祈祷院・小石原遺跡1		2022.3.31		
第136集 上小野遺跡第1次調査		2022.3.31		
第137集 本村・溝狭間遺跡第6次調査		2022.3.31		
第138集 本村・杉町遺跡1		2022.3.31		
朝倉市文化財調査報告書	朝倉市教育委員会	2021.3.22		
第39集 林田篠原垣遺跡		2021.3.31		
第40集 立間遺跡		2021.3.31		
第41集 長光寺遺跡第6地点		2021.3.31		
第42集 朝倉市文化財年報(令和元年度)		2021.3.31		

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日
福岡	福津市文化財調査報告書 第39集 香葉遺跡	福津市教育委員会	2021.3.31
	第40集 宮司大ヒタイ遺跡第5次調査		2021.3.31
	第41集 原遺跡		2021.3.31
	第43集 大裏遺跡第2地点 上西郷タナカ遺跡第2地点 上西郷タナカ遺跡第3地点 上西郷リウス遺跡		2022.3.31
	第44集 手光牟多田遺跡調査 在自西ノ後遺跡第4次調査		2022.3.31
	第45集 国指定史跡津屋崎古墳群整備事業1		2022.3.31
	第46集 四角遺跡第1地点 大裏遺跡第4地点		2022.3.31
	第47集 八竜遺跡第4地点		2022.3.31
	第48集 大在自遺跡		2022.3.31
	久留米入定400年記念「発掘でよみがえる久留米城下町展」 久留米市文化財調査報告書	久留米市教育委員会	2021.8.21
	第432集 令和3年度 久留米市内遺跡群		2022.3.31
	第433集 国指定史跡 筑後國府跡 一 国司館地区1-		2022.3.31
	第434集 ヘボノ木遺跡 一 第74時発掘調査報告書一		2022.3.31
	第435集 筑後國府跡 一 第245・246・296次発掘調査報告一		2022.3.31
	第436集 久留米市埋蔵文化財調査集報22 筑後國府跡第305・307・309次調査		2022.3.31
	史跡筑豊炭田遺跡群保存活用計画 一 日尾炭鉱跡編一	飯塚市教育委員会	2021.3.31
	飯塚市文化財調査報告書 第57集 内野宿御茶屋跡	飯塚市教育委員会	2022.3.31
	新修宗像市史 海の道・陸の道	宗像市	2022.3.31
	新修宗像市史 いくさと人びと		2022.3.31
柳川市文化財調査報告書 第17集 矢加部町屋敷遺跡	柳川市教育委員会	2023.3.31	
嘉麻市文化財年報16 令和3年度事業の報告	嘉麻市教育委員会	2023.3.10	
千年遺跡(第3次調査) 今丸古墳	うきは市教育委員会	2022.3.31	
苅田町文化財調査報告書 第48集 等覚寺の松会・綱打ち調査報告書 一 町内無形民俗文化財伝承状況調査一	苅田町養育委員会	2022.3.31	
第49集 本町遺跡群		2022.3.31	
平成31年度苅田町文化財事業年報 まちの歴史6 苅田町の文化財		2022.3.31	
小郡市文化財調査報告書 第344集 小郡若山遺跡9	小郡市教育委員会	2022.3.31	
第345集 大保龍頭遺跡7		2022.3.31	
第348集 小坂井屋敷遺跡9		2022.3.31	
第349集 松崎六本松遺跡4		2022.3.31	
宇美町文化財調査報告書 第24集 川原田・供田遺跡群Ⅲ 一 川原田・供田遺跡群第3次発掘調査報告書一	宇美町教育委員会	2022.3.17	
福岡県文化財調査報告書 第279集 三次遺跡	九州歴史資料館	2022.3.31	
下唐原東屋敷遺跡		2022.3.31	
研究論集47		2022.3	
九歴だより No.55		2022.4	
No.56		2022.10	
九州大学埋蔵文化財調査室報告 第7集 箱崎キャンパス地区元寇防塁調査総括報告書	九州大学埋蔵文化財調査室	2022.3.31	
第8集 九州大学大橋キャンパス発掘調査報告 塩原遺跡		2022.3.31	
佐賀県文化財調査報告書 第23集 佐賀県内遺跡確認調査報告書32	佐賀県	2023.3.27	
歴史の道調査報告書 第四集 伊万里への道Ⅰ		2023.3	
佐賀県立名護屋城博物館調査報告書 第19集 名護屋城跡埋蔵文化財発掘調査(基礎調査)総括報告書Ⅰ	佐賀県立名護屋城博物館	2022.3.30	
第20集 名護屋城跡 一本丸多門櫓跡・南西隅櫓跡・新石垣櫓台保存整備報告書一		2022.3.30	
唐津市文化財調査報告書 第180集 唐津城跡本丸3	唐津市教育委員会	2019.3.29	
第188集 芳谷炭鉱跡(1)		2022.3.10	
第189集 唐津市内遺跡確認調査(38)		2022.3.31	
上峰町文化財調査報告書 第54集 上峰町内遺跡確認調査XⅢ	上峰町教育委員会	2022.3.31	
第55集 鎮西山城跡Ⅰ		2022.10.31	
基山町文化財調査報告書 第36集 古寺遺跡 一 第6次調査一	基山町教育委員会	2022.3.31	
長崎県埋蔵文化財センター調査報告書 第45号 長崎県埋蔵文化財調査年報30〔令和3年度調査分〕	長崎県教育委員会	2022.9.30	
第46集 津吹遺跡 原口B遺跡 上新高野遺跡 大高野遺跡		2023.3.23	
第47集 岩屋洞穴		2023.3.24	
長崎県埋蔵文化財センター研究紀要 第13号	長崎県埋蔵文化財センター	2023.3	
佐世保市文化財調査報告書 第20集 前原遺跡	佐世保市教育委員会	2022.3.31	
誠信交隣21 緑地連だより No.25	NPO法人朝鮮通信使緑地連絡協議会	2022.3.31	

都道府県名	図書名	発行者	発行年月日
大分	大分県立埋蔵文化財センター調査報告書 第22集 大肥吉竹遺跡	大分県立埋蔵文化財センター	2022.3.31
	第23集 宮ノ下遺跡・岡山遺跡		2022.3.31
	大分県内遺跡発掘調査概報25		2022.3.31
	大分県立埋蔵文化財センター 研究紀要5		2022.3.31
	令和3年度特別展(第39回)「源氏物語と大友吉統」	大分市歴史資料館	2021.11.6
府内城基礎調査報告書 第二集 府内城文献調査報告書(二) 第三集 府内城文献調査報告書(三)	大分市教育委員会	2021.3.19	
		2022.3.18	
		2022.3.10	
熊本	鞠智城文化財調査報告 第12集 鞠智城跡 -第37次調査報告- 深迫門跡の調査	熊本県教育委員会	2023.3.10
	令和四年度鞠智城跡「特別研究」論文集 鞠智城と古代社会 -第十一号-		2023.3.20
	熊本県文化財調査報告 第346集 宮園 A 遺跡 3		2023.3.24
	第347集 玉名平野遺跡群 2		2023.3.24
	鞠智城シンポジウム2022成果報告書 渡来系技術から見た古代山城・鞠智城 特別史跡熊本城跡総括報告書 調査研究編 第3分冊 第4分冊	熊本市	2023.3.31
	熊本市の文化財 第105集 熊本市埋蔵文化財調査年報 第24号 -令和2年度-	熊本市教育委員会	2022.7
	第106集 北中尾遺跡 -北中尾遺跡第1次調査区発掘調査報告書-		2022.3.31
	第107集 上代町遺跡群IV -上代町遺跡群第5次調査区発掘調査報告書-		2022.3
	第108集 二本木遺跡群32 -二本木遺跡群第110次調査区発掘調査報告書-		2022.3
	第109集 熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 -令和3年度- 第1分冊		2022.9
	第110集 熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 -令和3年度- 第2分冊		2022.10
	復興熊本城 Vol. 6 石垣被害研究編 令和4年度上半期まで	熊本市 熊本日日新聞社	2022.12.12
	熊本城調査研究センター年報7 令和2年度	熊本市熊本城調査研究センター	2021.11
	熊本城調査研究センター年報8 令和3年度		2022.12.12
	天草、このお城がおもしろい!	天草市 天草市教育委員会	2022.3.3
天草市文化財調査報告 第12集 天草市内遺跡発掘調査報告書 平成29~令和元年度	天草市教育委員会	2022.3.31	
天草市遺跡地図 第2分冊(天草・新和・河浦・牛深)		2022.3.31	
八代市文化財調査報告書 第53集 西片乙津南遺跡II	八代市教育委員会	2023.3.10	
第54集 上日置女夫木遺跡II		2023.3.10	
合志市文化財調査報告 第6集 国泰寺跡	合志市教育委員会	2023.2	
嘉島町文化財調査報告書 第8集 西光寺遺跡 2001地点	嘉島町教育委員会	2021.11.30	
第9集 町内遺跡調査報告書		2022.3.25	
御船町文化財調査報告 第8集 堤の本遺跡	御船町教育委員会	2022.3.31	
永青文庫研究 第5号	熊本大学永青文庫研究センター	2022.3.28	
特別史跡西都原古墳群発掘調査・保存整備概要報告書(XIV)	宮崎県教育委員会	2022.3.31	
宮崎	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第263集 湯之宮遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	2023.2.7
	第264集 羽子場遺跡		2023.3.8
	第265集 上平遺跡		2023.3.24
	第266集 西南戦争関連遺跡総合調査成果報告書		2023.3.10
	ひむか 24号		2022.3.9
	25号		2023.3.24
	研究紀要 第18号	宮崎県立西都原考古博物館	2022.3.31
鹿児島	鹿児島錫山鉾山遺構目録	南日本新聞開発センター	2022.8.8
沖縄	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 第113集 鏡水原遺跡	沖縄県立埋蔵文化財センター	2023.3.17
	第114集 中城御殿跡 -県営首里城公園 中城御殿跡総括報告書-		2023.3.20
	第115集 基地内文化財10 -確認調査報告書-		2023.3.31
	宜野湾市文化財調査報告書 第59集 安仁屋・新城インジャー流域古墳群 喜友名山川原給料古墳群	宜野湾市教育委員会	2022.9.30
	第60集 佐真下屋取古集落遺跡		2023.2.28
	第61集 赤道渡呂寒原古墳群 神山後原給料古墳群 宜野湾シリガール流域古墳群 宜野湾後原遺物散布地		2023.2.28
	第62集 西普天間住宅地埋蔵文化財発掘調査報告書I		2023.3.31
	第63集 安仁屋・新城インジャー流域古墳群		2023.2.28
	宜野湾市文化財保護資料 第81集 宜野湾市内遺跡発掘調査の概要 -令和2・3年度発掘調査記録(図録集)-		2023.3.31
	宮古島市文化財調査報告書 第29集 宮古島市内戦争遺跡分布調査報告書(3) -平良地区-	宮古島市教育委員会	2022.3.31
	宮古島市 neo 歴史文化ロード 綾道 下地南・上野野原コース		2022.3
	沖縄県南城市文化財調査報告書 第21集 根石クスク周辺遺跡	南城市教育委員会	2023.2.17
国指定史跡斎場御嶽 名勝アマミクスムイ斎場御嶽(斎場御嶽)整備基本計画書 名護市文化財調査報告書 第30集 安和与那川原遺跡2	名護市教育委員会	2023.3	
東アジアにおける木彫像の樹種と用材観に関する調査研究 伽耶馬具特別展「馬に乗った伽耶」	研究代表者岩佐光晴 国立金海博物館	2022.7 2022.12.16	

ふちゅ〜る No.32

令和4年度 静岡市文化財年報

令和5年7月19日

編 集
発 行

静岡市教育委員会
(文化財課)

静岡市葵区追手町5番1号
(054)-254-2111(代)

印 刷

株式会社 三 創
